岩手県農林水産部所管公共施設個別施設計画

令和３年３月

（令和７年 12 月改定）

岩手県農林水産部

岩手県農林水産部所管公共施設個別施設計画

目次

１　はじめに
（1）　個別施設計画の必要性・目的　…１
（2）　対象施設　…２
（3）　計画期間　…２

２　基本的な取組方針
（1）　基本的な取組事項　…２
（2）　重点的な取組事項　…２

３　施設の長寿命化対策の優先順位の考え方
（1）　施設評価（一次評価（定量評価））　…４
（2）　施設評価（二次評価（定性評価））　…８
（3）　今後の方向性　…８

４　対象施設の現況把握　…10

５　施設保有の最適化に向けた取組　…11
（1）　社会経済情勢等の変化への対応　…11
（2）　公共施設の有効活用　…11
（3）　対象施設の方向性

６　施設の長寿命化と経費負担の平準化に向けた取組
（1）　長寿命化対策の概要　…14
（2）　施設の目標使用年数　…14

７　施設利用者等の安全・安心の確保に向けた取組　…14

８　長寿命化等対策の方向性と概算経費等
（1）　計画期間中における施設の方向性と対策の内容　…15
（2）　計画期間中の概算経費　…15

1　はじめに

(1)　個別施設計画の必要性・目的

岩手県では、高度経済成長期から昭和 50 年代を中心に、社会情勢や県民ニーズの変化に対応して、数多くの公共施設等を建設し、各種の公共サービスを提供してきたが、現在、これら公共施設等の老朽化が進んでおり、今後一斉に、大規模修繕・更新の時期を迎え、多額の経費が必要となることが見込まれています。

人口減少・少子高齢化の進行等により、公共施設等の利用需要も大きく変化しつつあり、また、財政面では社会保障関係費の増加や公債費の高水準での推移等により、今後とも厳しい財政状況が続くものと見込まれています。

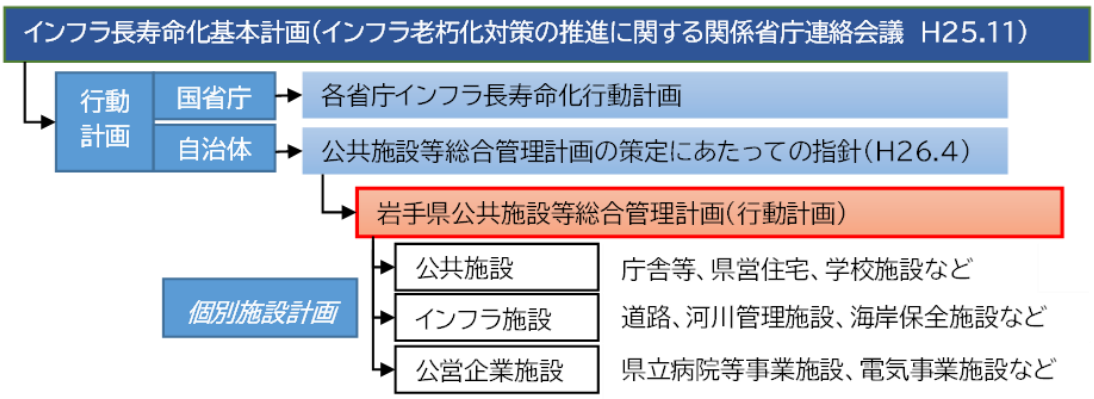
こうした状況を踏まえ、早急に公共施設等の全体状況を把握し、計画的な更新や長寿命化、施設配置の最適化により、財政負担の軽減、平準化を図るなど長期的な視点に立った公共施設マネジメントを推進するため、県では平成 28 年３月に「岩手県公共施設等総合管理計画」を策定し、令和７年 12 月には「第２期岩手県公共施設等総合管理計画」（以下「総合管理計画」という。）を策定しました。

岩手県農林水産部所管公共施設個別施設計画は、農林水産部が所管する公共施設の状況を把握し、長期的な視点をもって、更新、統廃合、長寿命化などを計画的に行い、個々の公共施設に係る具体の対応方針を定める計画として位置付けるものです。

この計画では、施設の利用状況や建物性能、維持管理コストなどの定量的な情報による一次評価、また、施策上の必要性や代替可能性といった定性的な情報による二次評価を行い、その結果に基づき施設の必要性や大規模施設等整備事業の優先度などを定め、戦略的な維持管理・更新等を推進し、実効的な対策の取組を推進するものです。

なお、これらの評価結果をもって直ちに当該施設の取扱いを定めるものではなく、施設をめぐる社会情勢及び本県の財政状況を考慮し、総合管理計画の趣旨を踏まえて実行していくものです。

■本県における個別施設計画の位置付け■



(2)　対象施設

令和７年４月１日現在における農林水産部が所管する公共施設を対象とし、対象施設数、建築面積は次のとおりです。

・庁舎等　　19 施設 462 棟　　123,393.05 ㎡

・県民利用施設　10 施設 192 棟　　52,797.61 ㎡

(3)　計画期間

計画期間は、令和２年度から令和 16 年度までとし、施設ごとの具体的な対策は、今後５年間（令和７年度～令和 11 年度）で取り組むものとします。

また、社会情勢の変化や計画の進捗状況を勘案し、概ね５年間を目安に計画を更新することとします。これにかかわらず見直しが必要な場合は、適宜更新を行うものとします。

２　基本的な取組方針

(1)　基本的な取組事項

建築基準法に基づく定期点検の実施や、施設の耐震化により、県民や来庁者、施設利用者等の安全・安心の確保に努めます。

今後は、老朽化に伴う維持管理や修繕、更新等に要する経費の増大が懸念されることから、施設の利用状況、人口減少による施設利用需要の変化等を見据えた施設規模・総量等の適正化を図り、計画的な維持管理・長寿命化を推進します。

(2)　重点的な取組事項

ア　施設保有の最適化に向けた取組

社会情勢の変化に対応し、縮小可能な施設の統合や廃止について検討するなど、情勢の変化に合わせた施設保有の最適化に向けて取り組みます。

施設保有の最適化の検討にあたっては、計画的な公共施設マネジメントに取り組む市町村や類似サービスを提供する民間事業者との役割分担や連携についても検討するとともに、人口動態に対応した公共施設の施設規模や配置、機能等の適正化に取り組みます。

イ　施設の長寿命化と経費負担の平準化に向けた取組

建物性能・劣化度など老朽化の状況や利用状況などを総合的に勘案しつつ、今後とも長期間にわたり、県が保有し行政サービスを提供することが適当な施設を選別して計画的に長寿命化を実施し、財政負担の軽減を図ります。

計画的な維持管理と長寿命化の推進により、公共施設の維持管理や修繕、更新等に係る中長期的なコストの縮減・財政負担の平準化に取り組みます。

ウ　環境負荷低減とユニバーサルデザイン化への取組

施設の改修や更新にあたっては、再生可能エネルギー導入の検討や環境に配慮した材料選定、施設の長寿命化による建設廃棄物の発生抑制、照明器具のＬＥＤ化など環境負荷の低減に取り組むとともに、全ての人が安全で快適に利用できるようユニバーサルデザインに対応した施設の改修･更新に取り組みます。

エ　施設利用者等の安全・安心の確保に向けた取組

計画的な耐震化の推進や定期・日常的な点検・診断結果を受けた適時適切な修繕により、公共施設に求められる機能を維持・強化し、県民、施設利用者等の安全・安心の確保に取り組みます。

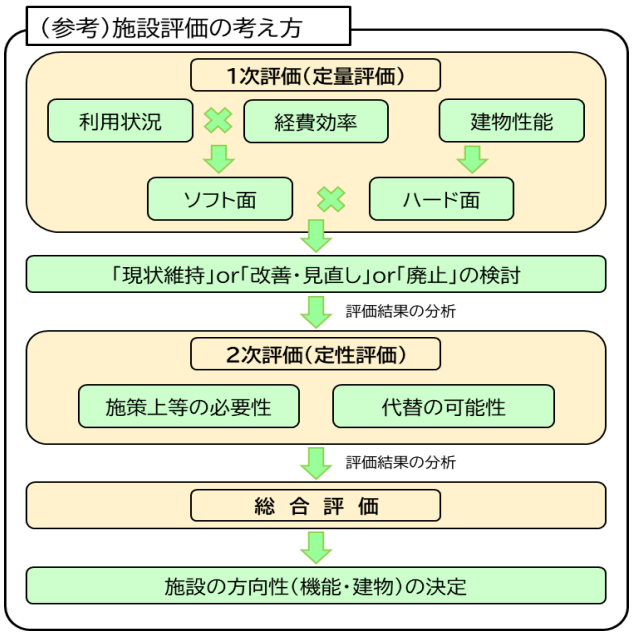
3　施設の長寿命化対策の優先順位の考え方

将来の人口減少や今後の財政見通しを踏まえた、公共施設の維持管理及び行政サービスの提供を持続可能なものとしていくため、公共施設の施設規模・総量の適正化に向けた取組・検討を進めていきます。

当該検討に当たって、施設の基本情報や利用状況、維持管理コストなどを把握・整理する必要があることから、施設ごとに「公共施設カルテ」を作成の上、利用状況や建物性能等に関する評価（定量評価）と、施策上の必要性や代替可能性に関する評価（定性評価）をした上で、建物の更新や複合化、長寿命化改修などの対策の優先付けを総合的に評価します。

ただし、小規模な施設（概ね 200 ㎡未満の施設）については、公共施設カルテ作成の対象外とします。

■施設評価のイメージ



(1)　施設評価（一次評価（定量評価））

一次評価（定量評価）は、利用状況及び経費効率のソフト面と、建物性能のハード面との２軸を用いて評価します。

ア　「利用状況」及び「経費効率」（ソフト面）の評価

(ｱ)　次の評価基準等に従い評価し、評価点数を集計します。

■利用状況に関する評価（令和５年度実績値による評価）

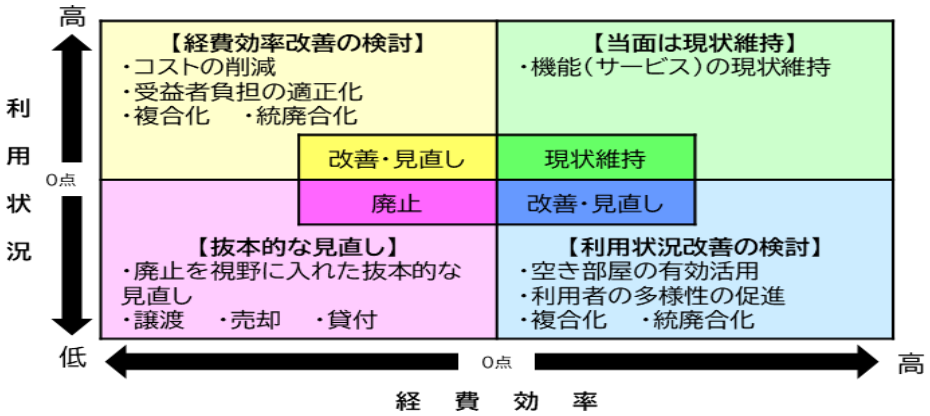
No.	評価項目	評価点数	評価基準
1	年間利用者数	2	過去３か年平均と比較して、増えた
		1	過去３か年平均と比較して、同等・やや増えた
		-1	過去３か年平均と比較して、やや減った
		-2	過去３か年平均と比較して、減った
2	利用状況	1	有効的・効果的に活用され、遊休設備や空き部屋はない
		-1	遊休設備や空き部屋がある 稼働率が２割に満たない部屋が２つ以上ある
3	防災関連施設	1	災害時の「緊急避難場所」「避難所」に指定されている施設 災害時に防災拠点として使用する施設

■経費効率に関する評価（令和５年度実績値による評価）

No.	評価項目	評価点数	評価基準
1	年間コスト	1	過去２か年平均と比較して、改善した
		-1	過去２か年平均と比較して、悪化した
2	１㎡当たりの維持管理費	2	他施設と比較してかなり少ない
		1	他施設と比較して少ない
		-1	他施設と比較して多い
		-2	他施設と比較してかなり多い
3	利用者1人当たりの県負担額	2	他施設と比較してかなり少ない
		1	他施設と比較して少ない
		-1	他施設と比較して多い
		-2	他施設と比較してかなり多い
4	支出に対する直接的収入の割合	2	かなり多い
		1	多い
		-1	少ない
		-2	かなり少ない

(ｲ)　点数化した利用状況及び経費効率の２軸で類型化し、課題と対応策について整理します。

■施設評価（一次評価・ソフト面）概念図



(ｳ)　利用状況及び経費効率の集計点を合計し、ソフト面の評価点数とします。

イ　建物性能（ハード面）の評価

次の評価基準等に従い評価し、評価点数を集計します。

■建物性能に関する評価（令和５年度実績値による評価）

No.	評価項目	評価点数	評価基準
1	耐震性	2	新耐震基準施設（昭和 57 年以降に建設された施設）
		2	耐震改修不要（昭和 56 年以前に建設された施設で、耐震診断の結果耐震改修不要）
		2	耐震改修済（昭和 56 年以前に建設された施設で、耐震改修済）
		-2	耐震診断未実施、耐震改修未実施（昭和 56 年以前に建設された施設で、耐震診断・耐震改修未実施）
2	老朽化（日常点検）	2	点検結果 修繕の必要性低い（危険度：低い）
		1	点検結果 経過観察（危険度：やや低い）
		-1	点検結果 経過観察（危険度：やや高い）
		-2	点検結果 修繕の必要性あり（危険度：高い）
3	老朽化（改修コスト）	2	修繕・改修の必要がない
		1	軽微な修繕・改修が必要
		-1	中規模な修繕・改修が必要
		-2	大規模な修繕・改修が必要
4	有形固定資産減価償却率	2	他施設と比較して低い
		-2	他施設と比較して高い

老朽化の判定方法

日常点検による老朽化の判定については、岩手県公共施設点検マニュアルの「日常点検チェックシート」に従い、毎年職員が実施する点検結果により判定された危険度を用いて評価します。

ア　危険度の判定

危険度は、下記９項目ごとに「劣化度」と「重要度」により判定します。

■劣化度の判定項目・部位

項目	主な部位
No.1 外構等	①　舗装、側溝
	②　塀、擁壁、門、フェンス
No.2 屋上・屋根	③　屋根葺き材、防水層
	④　屋上金物類（手すり、タラップ、雨樋、看板等）
No.3 外壁	⑤　外壁
	⑥　屋外階段、給排気口
No.4 外部建具 他	⑦　外部建具、外部金物類
	⑧　外部階段、バルコニー
No.5 内部	⑨　天井、内壁
	⑩　階段、手すり
No.6 電気設備	⑪　受変電設備、自家用発電設備
	⑫　分電盤設備、照明設備
No.7 給排水設備	⑬　給水設備、排水設備
	⑭　ガス設備
No.8 空調設備	⑮　暖房・空調・換気設備
No.9 防災設備	⑯　防火戸、自動火災報知設備
	⑰　消火設備、排煙設備

９つの項目ごとに異常の有無等（Ａ～Ｃ）による点数で、その項目の危険度を判定します。

項目の危険度　＝　劣化度　＋　重要度

※劣化度・・・施設の劣化状況を点検し、判断します。

※重要度・・・建物全体の安全性・機能性の確保に及ぼす影響

イ　危険度の算定

危険度　100 点　＝　劣化度（60 点）　＋　重要度（40 点）

劣化度　重み付け（12 点）　×　劣化度（5.3.1 点）　＝　60～12 点

重要度　重み付け（10 点）　×　重要度　（4.3.2.1 点）　＝　40～10 点

※　重み付けとは、評価する項目ごとに、それぞれの重要度に応じて重みを付け、集計して評価する方法です。

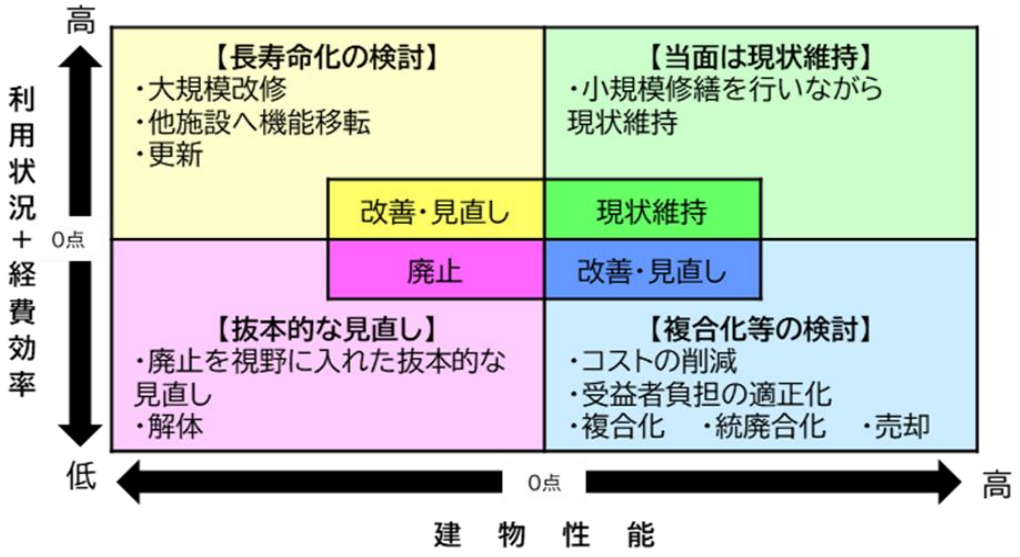
■劣化度・重要度の判定基準等

項目	配点	判断基準
劣化度	5点	著しく劣化が進んだ状態
	3点	少し劣化が進んだ状態
	1点	健全な状態
重要度	4点	特に安全性に関わる
	3点	計画保全にすべき
	2点	計画保全が望ましい
	1点	適正維持管理

９つの項目ごとに危険度を算定し、それらの平均値を「老朽化（日常点検）」の評価点数とします。

ウ　「ソフト面」と「ハード面」の２軸評価

利用状況及び経費効率によるソフト面の評価と、建物性能によるハード面の評価を２軸で類型化し、一次評価（定量評価）の結果とします。



(2)　施設評価（二次評価（定性評価））

二次評価（定性評価）は、一次評価の結果を踏まえて「施策上等の必要性」及び「代替の可能性」の観点について、次の評価基準等により評価を行い、それぞれの評価を分析し、二次評価の結果とします。

■施策上等の必要性に関する評価

No.	評価項目	評価	評価基準
1	設置目的の有効性	高	施設の設置目的と現在の利用状況が合致している
		低	施設の設置目的と現在の利用状況が合致していない
2	法令等の設置義務	高	施設の設置が法律により義務付けられている
		低	施設の設置が法律により義務付けられていない
3	施策上の必要性	高	施策の目的を達成するための必要性が高い
		低	施策の目的を達成するための必要性が低い
4	建物の必要性	高	施設の機能（目的）を提供するために建物が必要不可欠
		低	施設の機能（目的）を提供するために建物が必要とは言い難い

■代替の可能性に関する評価

No.	評価項目	評価	評価基準
1	市町村・民間移管の可能性	高	市町村・民間事業者に当該施設を移管することができない
		低	市町村・民間事業者に当該施設を移管することができる
2	他の県有施設との 集約化等の可能性	高	他の県有施設との集約化等ができない
		低	他の県有施設との集約化等ができる
3	近隣類似施設による代替の可能性	高	近隣の類似施設へ当該施設の機能を移転することができない
		低	近隣の類似施設へ当該施設の機能を移転することができる

(3)　今後の方向性

一次評価（定量評価）及び二次評価（定性評価）の結果を勘案し、総合的に個別施設の「今後の方向性」を判定します。

「今後の方向性」は、機能と建物の観点から、それぞれ次のとおり整理します。

■機能の方向性

区分	判断基準
現状維持	現在の機能を現在の場所で維持する
機能移転	現在の機能を他の公共施設又は別の場所に移転する
複合化	現在の機能を異なる機能を有する建物とまとめる
集約化	現在の機能を同じ機能を有する建物とまとめる
廃　止	現在の機能を廃止する

■建物の方向性

区分	判断基準
現状維持	現在の建物を適正な日常補修を実施し、維持する
更　新	現在の建物を更新する（建て替え）
長寿命化改修	現在の建物を築後概ね45年経過時に劣化状況等を総合的に判断し、長寿命化改修（大規模改修）を実施する
耐震診断	現在の建物が耐震診断未実施であるため、耐震診断を実施する
耐震改修	現在の建物が耐震改修未実施であるため、耐震診断を実施する
貸　付	現在の建物を民間事業者等へ貸し付ける
解　体	現在の建物を解体し、解体後の土地を活用する
売却・移管	現在の建物を土地と併せ市町村や民間事業者等に売却・移管する

■長寿命化対策の優先度評価

機能の方向性と建物の方向性による評価を組み合わせて、更新・長寿命化対策に係る対象経費の平準化を図るための優先順位づけの指標として活用します。

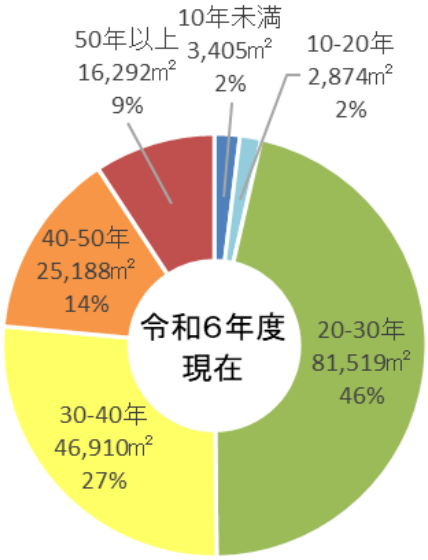
4　対象施設の現況把握

＜所管施設の概況及び老朽化等の状況＞

１(2)記載の対象施設について、岩手県公共施設個別施設計画策定指針（令和６年12月。以下「指針」という。）に基づき、対象施設の利用状況や維持管理コスト等及び建物、電気・機械設備等の概要や定期点検の実施状況等について確認し、今後の方向性等の検討を行います。

また、所管施設における老朽化等の状況は、劣化度調査等の実施状況や定期点検、修繕工事の実施履歴等により確認し検討を行います。

■農林水産部所管の経過年数別延床面積の割合

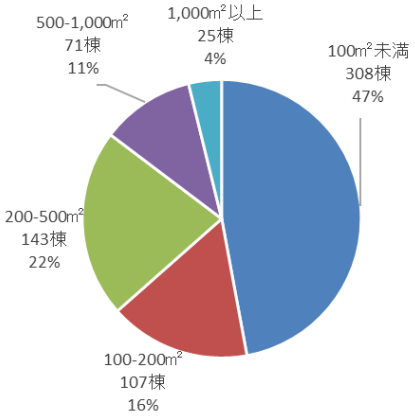


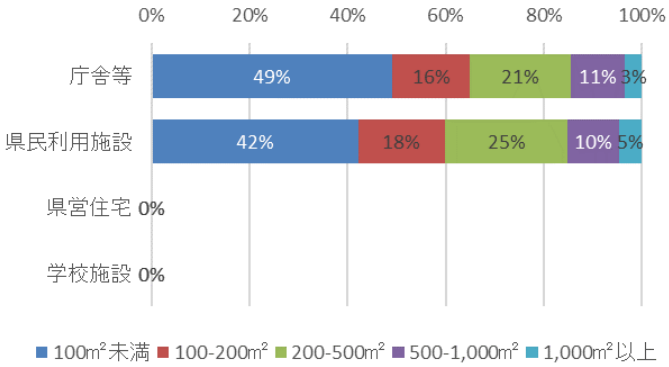
■農林水産部保有の公共施設（令和７年４月１日時点）

施設類型（用途）		施設数（棟数）	延床面積	
				１棟あたり
庁舎等	庁舎、試験研究機関等	462 棟	123,393.05 ㎡	267
県民利用施設	博物館、科学館等	192 棟	52,797.61 ㎡	274
県営住宅	住宅、集会所等	0 棟	0.00 ㎡	0
学校施設	校舎、実習棟等	0 棟	0.00 ㎡	0
合計		654 棟	176,190.66 ㎡	

※公共施設カルテ対象外の小規模（延床面積 200 ㎡以下）の施設も含む。

■農林水産部所管公共施設　延床面積別の施設数割合





			庁舎等	県民利用施設	県営住宅	学校施設	計
0	100	100㎡未満	227棟	81棟	0棟	0棟	308棟
100	200	100-200㎡	73棟	34棟	0棟	0棟	107棟
200	500	200-500㎡	95棟	48棟	0棟	0棟	143棟
500	1,000	500-1,000㎡	51棟	20棟	0棟	0棟	71棟
1,000	99,999	1,000㎡以上	16棟	9棟	0棟	0棟	25棟
		計	462棟	192棟	0棟	0棟	654棟

現在述べ面積(m2)
11,770
16,025
46,086
51,610
50,699
176,190

5　施設保有の最適化に向けた取組

(1)　社会経済情勢等の変化への対応

家畜保健衛生所をはじめとする庁舎については、社会情勢等の変化に対応し県施策を遂行していく上で重要な施設であり、当面、現有施設のうち必要な施設は、行政機能が発揮できるよう施設を維持していきます。

一方で、職員公舎、県民利用施設については、人口減少が進む中にあって、需要の変化等も踏まえた施設規模や配置等の見直しについて、検討を進めていきます。

(2)　公共施設の有効活用

施設保有の最適化に向けた取組により発生する県として活用の見込みがない用途廃止施設については、「県有未利用資産等活用・処分方針」に基づく売却、貸付その他の有効活用を進めます。

(3)　対象施設の方向性

庁舎等については、県の施策を遂行する上で重要な施設であるとともに、本県における農林水産業の推進に重要な役割を持つ施設であることから、耐震性能を確保し、長寿命化を図りながら、その機能を維持していきます。

県民利用施設については、県民からの需要等に鑑み、必要な施設を維持するとともに適時適切な維持修繕に努めていきます。

＜公共施設カルテ対象施設[令和７年４月１日現在]＞※原則、延床面積 200 ㎡以上

ア　庁舎等（庁舎）

17 施設　147 棟　延床面積　95,047.07 ㎡

NO	施設名	所在地	建築年度	築年数	延床面積	今後の方向性（たたき台） 機能/建物【優先度】
1	中央家畜保健衛生所	滝沢	2002 年	23 年	2,469.85	現状維持／現状維持 【優先度 － 】
2	旧盛岡家畜保健衛生所	滝沢	1972 年	53 年	1,442.05	現状維持／貸付 【優先度 4 】
3	県南家畜保健衛生所	奥州	2000 年	25 年	1,624.00	現状維持／長寿命化改修 【優先度 2 】
4	県北家畜保健衛生所	軽米	2003 年	22 年	779.50	現状維持／現状維持 【優先度 － 】
5	岩手県生物工学研究所	北上	1992 年	32 年	4,306.63	現状維持／長寿命化改修 【優先度 2 】
6	農業研究センター	北上	1997 年	28 年	19,136.37	現状維持／現状維持 【優先度 － 】
7	農業研究センター 南部園芸研究室	陸前高田	2013 年	11 年	716.97	現状維持／現状維持 【優先度 － 】
8	農業研究センター 県北農業研究所	軽米	1997 年	28 年	6,868.56	現状維持／現状維持 【優先度 － 】
9	畜産研究所	滝沢	1998 年	26 年	19,315.26	現状維持／長寿命化改修 【優先度 2 】
10	畜産研究所外山畜産研究室	盛岡	1968 年	56 年	4,885.39	現状維持／長寿命化改修 【優先度 2 】
11	畜産研究所種山畜産研究室	住田	1988 年	37 年	6,892.95	現状維持／長寿命化改修 【優先度 2 】
12	林業技術センター	矢巾	1992 年	32 年	5,700.35	現状維持／現状維持 【優先度 － 】
13	水産技術センター	釜石	1994 年	31 年	8,708.27	現状維持／長寿命化改修 【優先度 2 】
14	水産技術センター 大船渡研究室	大船渡	1979 年	46 年	5,989.80	現状維持／長寿命化改修 【優先度 2 】
15	水産技術センター 種市研究室	洋野	1987 年	38 年	2,506.00	現状維持／長寿命化改修 【優先度 2 】

16	内水面水産技術センター	八幡平	1970 年	54 年	3,252.86	複合化／長寿命化改修 【優先度 4 】
17	西和賀普及サブセンター	西和賀	1991 年	34 年	452.26	現状維持／現状維持 【優先度 － 】

イ　庁舎等（職員公舎）

２施設　２棟　延床面積　1,662.32 ㎡

NO	施設名	所在地	建築年度	築年数	延床面積	今後の方向性（たたき台） 機能/建物【優先度】
18	県北農業研究所公舎	軽米	1998 年	27 年	1,366.32	集約化／現状維持 【優先度 － 】
19	西和賀普及サブセンター公舎	西和賀	2002 年	21 年	296.00	集約化／現状維持 【優先度 － 】

ウ　県民利用施設

10 施設　77 棟　延床面積　44,379.17 ㎡

NO	施設名	所在地	建築年度	築年数	延床面積	今後の方向性（たたき台） 機能/建物【優先度】
20	岩手県県民の森	八幡平	1969 年	55 年	1,544.56	集約化／長寿命化改修 【優先度 5 】
21	岩手県滝沢森林公園	滝沢	1983 年	41 年	332.51	集約化／解体 【優先度 － 】
22	岩手県千貫石森林公園	金ケ崎	1994 年	30 年	364.48	集約化／解体 【優先度 － 】
23	岩手県大窪山森林公園	大船渡	1996 年	28 年	290.62	集約化／解体 【優先度 － 】
24	岩手県折爪岳森林公園	二戸	1994 年	30 年	304.59	集約化／解体 【優先度 － 】
25	岩手県立緑化センター	奥州	1983 年	42 年	540.00	廃止／解体 【優先度 － 】
26	岩手県立水産科学館	宮古	1986 年	39 年	1,534.30	機能移転／売却・移管 【優先度 － 】
27	農業ふれあい施設	北上	1998 年	27 年	2,761.81	複合化／解体 【優先度 － 】

28	岩手県立農業大学校	金ケ崎	1980 年	45 年	31,895.74	現状維持／更新 【優先度 1 】
29	岩手県花きセンター	金ケ崎	1988 年	37 年	4,810.56	機能移転／解体 【優先度 － 】

6　施設の長寿命化と経費負担の平準化に向けた取組

(1)　長寿命化対策の概要

建物性能・劣化度など老朽化の状況や利用状況などを総合的に勘案し、施設の長寿命化を図りつつ、以下のような対策を計画的に行います。

ア　修繕（更新）

部位・部材の耐用年数を考慮して定期的に実施するとともに、発注に当たっては、仮設コストの縮減や工期の短縮等のため工事の一括発注についても考慮します。

【参考】目標修繕（更新）周期

20年	40年	60年
屋上防水・外壁塗装空調熱源 ポンプ類	躯体以外の建築全般 電気設備（機材のみ） 機械設備全般	屋上防水 電気設備（機材のみ） 機械設備全般

イ　大規模改修（リノベーション）

社会経済情勢の変化等により高まる要求性能に対応する必要がある施設について、適切な時期を設定し効率的に実施します。

(2)　施設の目標使用年数

施設の目標使用年数は、計画的な長寿命化対策の実施を前提として、日本建築学会による鉄筋コンクリート構造体の総合的耐久性を基に、供用限界期間の 100 年とし、鉄筋コンクリート以外の構造体については、法定耐用年数を最低限の目標使用年数として、利用状況に応じた計画的な長寿命化対策を実施することで、できるだけ使用年数を延ばしながら施設を取り巻く状況に応じて柔軟に対応します。

7　施設利用者等の安全・安心の確保に向けた取組

県民・利用者の安全確保を最重要事項とし、「岩手県公共施設点検マニュアル」に基づく点検を実施し、危険性の有無を適切に把握するとともに、その他法定点検等により高度の危険性が認められた場合は、速やかに安全確保のための措置を行います。

老朽化等により用途廃止され、かつ今後も利用見込みのない施設は、危険性が生じることがないよう適切に処分・除却を進めていきます

8　長寿命化等対策の方向性と概算経費等

(1)　計画期間中における施設の方向性と対策の内容

各施設の公共施設カルテ（個票）のとおり。

(2)　計画期間中の概算経費

ア　令和７年度から令和 11 年度（具体の対策が計画されている期間）までの必要対策費の概算は、約 48 億円です。

（単位：億円）

施設分類	件数	対策費
庁舎	17	6.91
職員公舎	2	0.04
県民利用施設	12	41.00
計	29	47.94

イ　令和７年度から令和 36 年度までの 30 年間の必要対策費の概算は、約 175 億円です。

（単位：億円）

施設分類	件数	対策費
庁舎	17	110.34
職員公舎	2	2.64
県民利用施設	12	61.43
計	29	174.40

岩手県公共施設カルテ（個表：庁舎等用）

No. 1

1 施設概要

1	施設名称	中央家畜保健衛生所	策定年月	R3.3	最終更新	R7.12
2	所在地	滝沢市砂込390-5	施設類型	庁舎等	財産区分	行政財産
3	所管課	農林水産企画室	運営形態	直営	防災施設等指定	非該当
4	都市計画区域	都市計画区域外	防火地域	指定なし	用途地域	指定なし
5	敷地面積	6,427.25 ㎡	建築面積	2,453.85 ㎡	延床面積	2,469.85 ㎡
6	竣工年度（建築年月）	2002年3月	経過年数（R7.4.1現在）	23 年	施設内棟数	5 棟
7	設置根拠	有　家畜保健衛生所法				
8	設置目的	家畜の防疫対策、生産性向上対策を推進するほか、動物用医薬品、資料の適正使用等について監視・指導することで、畜産経営の安定と発展並びに消費者への安全・安心な畜産物の安定供給に寄与することを目的として設置。				
9	施設の概況	平成14年（2022年）3月に竣工され、令和7年（2025年）4月で建築から23年を迎える。 中央家畜保健衛生所は管内の家畜衛生対策指導や防疫活動のほか、県内全体の防疫対策及び生産性向上のため、病性鑑定や防疫資材の備蓄拠点等として機能している。				
10	未利用設備	無	大規模改修	無		
10	使用許可等の有無	有　岩手県中央家畜保健衛生協議会				

12	主要棟	名称	庁舎・事務所		現況写真	
13		構造	RC造	種目	事務所建	
14		階数	地上 2階	地下	0階	
15		建築面積	2,229.85 ㎡	延床面積	2,229.85 ㎡	
16		建築年月日	2002年3月	法定耐用年数	50年	
17		耐震診断	不要	耐震改修	不要	
18		その他特記事項				

2 利用状況

20	R5利用状況	開館日	平日（年末年始を除く）		開館時間	8:30-17:15	
24		職員数	43 人		（職員数のうち団体等職員数）	2 人	
		職員数の推移（直近5年間）	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	増減率（R5/過去5年平均）
25			37人	35人	40人	41人	43人	9.7%
26		施設利用対象者マクロデータ※振興局管内人口	開設当時【A】（H14年10月時点）	491,910人	現　在【B】（R7年4月時点）	443,798人	増減率（マクロデータ）	▲ 9.8%

3 維持・管理費の状況（改修、大規模修繕などに含まれるものは除く）

（単位：千円）

行政コスト計算書	令和3年度	構成比	令和4年度	構成比	令和5年度	構成比
経常費用	**276,556**	**100.0%**	**253,050**	**100.0%**	**236,946**	**100.0%**
人件費	243,423	88.0%	218,529	86.4%	199,761	84.3%
物件費等	21,273	7.7%	21,335	8.4%	24,735	10.4%
維持修繕費	1,174	0.4%	2,500	1.0%	1,800	0.8%
減価償却費	10,686	3.9%	10,686	4.2%	10,650	4.5%
支払利息		0.0%		0.0%		0.0%
臨時損失	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**
災害復旧事業費		0.0%		0.0%		0.0%
その他		0.0%		0.0%		0.0%
28 **支出合計**	**276,556**	**100.0%**	**253,050**	**100.0%**	**236,946**	**100.0%**
経常収益（直接的収入）	**26**	**100.0%**	**26**	**100.0%**	**26**	**100.0%**
使用料・手数料		0.0%		0.0%		0.0%
その他	26	100.0%	26	100.0%	26	100.0%
臨時利益（直接的収入）	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**
資産売却益		0.0%		0.0%		0.0%
その他		0.0%		0.0%		0.0%
補助金等（間接的収入）	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**
国庫補助金		0.0%		0.0%		0.0%
その他		0.0%		0.0%		0.0%
収入合計	**26**	**100.0%**	**26**	**100.0%**	**26**	**100.0%**
年間コスト	**▲ 276,530**		**▲ 253,024**		**▲ 236,920**	

29	年間利用者数	41	人	43	人	43	人
30	延床面積当たりコスト	111,962	円/㎡	102,445	円/㎡	95,925	円/㎡
31	利用者1人当たりコスト	6,744,634	円/人	5,884,279	円/人	5,509,767	円/人
32	（参考）県民1人当たりコスト	231	円/人	214	円/人	204	円/人
33	有形固定資産減価償却率	50.2	%	52.2	%	54.2	%

（参考）岩手県の人口

（単位：人）

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

No. 1

4 施設内建物の概要

34	番号:建物名称		1:庁舎・事務所				2:車庫					
35	構 造 / 種 目		RC造		事務所建		S造		車庫建			
36	階 数		地上	2 階	地下		地上		地下		地上	地下
37	建築面積		2,229.85 ㎡				224.00 ㎡					
38	延床面積		2,229.85 ㎡				240.00 ㎡					
39	建築年月		2002年3月		耐用年数	50年	2002年3月		耐用年数	31年		耐用年数
40	耐震診断 / 耐震改修		不要		不要		不要		不要			
41	その他特記事項											
42	主な建築・設備	建 築	屋根コンクリート金ゴテ下地、				長尺カラー鉄板 ハゼ折板葺き					
			軽歩行用塩ビ系シート防水				外壁セメント中空押出成形板金具止					
			外壁タイル貼、コンクリート打放				工法、床コンクリート金コテ押え					
		電気設備	受変電キュービクル				電灯設備					
			電話交換機設備									
			火災報知設備									
		機械設備	冷温水発生機									
			各種ポンプ類									
			各種タンク類									
43	劣化度調査	建 築	建築物本体は顕著な老朽化は認め				3年毎の法定点検で塗装剥離や植物					
			られないが、排水の詰まりなどが頻				の侵入・排水などの報告があり、計画					
			発するため、メンテナンスが必要。				的な修繕や整備が必要。					
		電気設備	耐用年数経過による故障のおそれや									
			経年劣化による動作不良が発生して									
			いるため、計画的な改修が必要。									
		機械設備	部品の劣化による故障や動作不良が									
			発生しているため、計画的かつ速やか									
			な修理の対応が必要。									
44	定期点検	建 築	屋根の変形やシーリング材の劣化、天井のしみ、機械室の壁・床の亀裂及び剥離				植物の侵入、シーリング材の劣化、金属部分の破損及び発錆、排水溝の詰まり					
		電気設備	キュービクル内各種設備の更新推奨期限超過、電話機動作不良									
		機械設備	冷温水発生機フィルター交換必要、特殊排水槽各種ポンプ動作不良									
45	改修・大規模修繕等工事履歴【百万円】	建 築	給水管修繕(R4)【0.56】									
		電気設備	引込柱区分開閉器修繕(R4)【0.66】									
		機械設備	冷蔵設備交換修繕(R6)【2】									
			冷温水機ポンプ修繕(R4)【0.45】									
			BSE検査室空調更新(H29)【0.52】									

46	直近5年の維持修繕・改修費	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計
	国庫						0百万円
	県債						0百万円
	一般財源	1百万円	1百万円	2百万円			4百万円
	その他						0百万円
	計	1百万円	1百万円	2百万円	0百万円	0百万円	4百万円

5 施設評価

	1次評価（定量評価）	評価・分析結果
47	ソフト（利用状況×経費効率）	改善・見直し（経費効率）
48	ソフト×ハード（建物性能）	改善・見直し（複合化等）

2次評価（定性評価）	評価結果
施策上の必要性	高
代替の可能性	高

6 今後の方向性（たたき台）

54 施設全体の方針	機能の方向性	現状維持	建物の方向性	現状維持
	家畜保健衛生所法に基づく施設であり、家畜防疫上の問題への対応や国の方針に即した機能維持を目的とし、適切な維持管理により施設機能を維持管理していく。 また、法令に基づく施設であることから、他用途・多目的の利用には適さない。			

7 長寿命化等対策の方向性等

56 長寿命化等対策の方向性	施設等の経年劣化が見られるほか、各設備の部品等の交換時期を経過しており、年々修繕箇所が増加している状況である。 今後も定期点検や日常点検などで施設の状態把握に努め、改革的な維持管理により長寿命化を図る。					
	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
57 主な維持修繕・改修の内容	維持補修（構内電話及びキュービクルの更新）	維持補修	維持補修	維持補修	維持補修	
58 概算費用（見込）	4 百万円	2 百万円	2 百万円	2 百万円	2 百万円	12 百万円
国庫						0 百万円
県債						0 百万円
一般財源	4 百万円	2 百万円	2 百万円	2 百万円	2 百万円	12 百万円
その他						0 百万円

※「主な維持修繕・回収の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、回収等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

岩手県公共施設カルテ（個表：庁舎等用）

No. 2

1 施設概要

1	施設名称	旧盛岡家畜保健衛生所	策定年月	R3.3	最終更新	R7.12
2	所在地	滝沢市砂込389番7号	施設類型	庁舎等	財産区分	行政財産
3	所管課	農林水産企画室	運営形態	直営	防災施設等指定	非該当
4	都市計画区域	都市計画区域外	防火地域	指定なし	用途地域	指定なし
5	敷地面積	11,651.68 ㎡	建築面積	857.04 ㎡	延床面積	1,442.05 ㎡
6	竣工年度（建築年月）	1972年3月	経過年数（R7.4.1現在）	53 年	施設内棟数	3 棟
7	設置根拠	無				
8	設置目的	県央地域を管轄として、家畜の病気（主に伝染病）未然防止、生産性の向上を目的に設置。				
9	施設の概況	昭和47年（1972年）3月に竣工され、令和7年（2025年）4月で建築から53年を迎える。 平成14年（2002年）3月に中央家畜保健衛生所が完成後、一般社団法人岩手県畜産協会及び盛岡畜産農業協同組合に使用許可し、県の業務である人工授精用精液の配布に関する事務及び牛乳検査業務を行っている。				
10	未利用設備	無	大規模改修	無		
10	使用許可等の有無	有	一般社団法人岩手県畜産協会、盛岡畜産農業協同組合			

12	主要棟	名称	庁舎		現況写真	
13		構造	RC造	種目	事務所建	
14		階数	地上 2階	地下	0階	
15		建築面積	499.14 ㎡	延床面積	926.65 ㎡	
16		建築年月日	1972年3月	法定耐用年数	50 年	
17		耐震診断	未	耐震改修	未	
18		その他特記事項				

2 利用状況

20	R5利用状況	開館日	平日（年末年始、休日を除く）		開館時間	8:30-17:15	
24		職員数	10 人		（職員数のうち団体等職員数）	10 人	
		職員数の推移（直近5年間）	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	増減率（R5/過去5年平均）
25			10人	10人	10人	10人	10人	0.0%
26		施設利用対象者マクロデータ※振興局管内人口	開設当時【A】（S47年10月時点） 365,812人		現　在【B】（R6年10月時点） 370,366人		増減率（マクロデータ）	0.0

3 維持・管理費の状況（改修、大規模修繕などに含まれるものは除く）

（単位：千円）

行政コスト計算書	令和3年度	構成比	令和4年度	構成比	令和5年度	構成比
経常費用	0	-	0	-	0	-
人件費		-		-		-
物件費等		-		-		-
維持修繕費		-		-		-
減価償却費		-		-		-
支払利息		-		-		-
臨時損失	0	-	0	-	0	-
災害復旧事業費		-		-		-
その他		-		-		-
28 支出合計	0	-	0	-	0	-
経常収益（直接的収入）	977	100.0%	980	100.0%	981	100.0%
使用料・手数料		0.0%		0.0%		0.0%
その他	977	100.0%	980	100.0%	981	100.0%
臨時利益（直接的収入）	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
資産売却益		0.0%		0.0%		0.0%
その他		0.0%		0.0%		0.0%
補助金等（間接的収入）	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
国庫補助金		0.0%		0.0%		0.0%
その他		0.0%		0.0%		0.0%
収入合計	977	100.0%	980	100.0%	981	100.0%
年間コスト	977		980		981	

29	年間利用者数	10	人	10	人	10	人
30	延床面積当たりコスト	-678	円/㎡	-680	円/㎡	-680	円/㎡
31	利用者1人当たりコスト	-97,700	円/人	-98,000	円/人	-98,100	円/人
32	（参考）県民1人当たりコスト	-1	円/人	-1	円/人	-1	円/人
33	有形固定資産減価償却率	95.4	%	95.7	%	96.1	%

（参考）岩手県の人口

（単位：人）

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

No. 2

4 施設内建物の概要

34	番号:建物名称		1:庁舎				2:飼料分析室				3:講義室・研修準備室		
35	構 造 / 種 目		RC造		事務所建		RC造		事務所建		RC造		事務所建
36	階 数		地上	2 階	地下		地上	1 階	地下		地上	2 階	地下
37	建築面積		499.14 ㎡				200.40 ㎡				157.50 ㎡		
38	延床面積		926.65 ㎡				200.40 ㎡				315.00 ㎡		
39	建築年月		1972年3月		耐用年数	50年	1985年3月		耐用年数	50年	1978年3月		耐用年数 50年
40	耐震診断 / 耐震改修		未		未		不要		不要		未		未
41	その他特記事項												
42	主な建築・設備	建 築	屋根シート防水								屋根シート防水		
			屋根塗膜防水								屋根塗膜防水		
			外壁コンクリート打放								外壁コンクリート打放		
			天井石こうボード								天井石こうボード		
		電気設備	受変電設備(屋外型:ｷｭｰﾋﾞｸﾙ式)								受変電設備(屋外型:ｷｭｰﾋﾞｸﾙ式)		
			電灯設備(電灯一般形)								電灯設備(電灯一般形)		
			電子交換機								電子交換機		
			防犯・入退室管理設備								防犯・入退室管理設備		
		機械設備	局所暖房方式				冷暖房設備(FFｽﾄｰﾌﾞ、ｴｱｺﾝ等)				局所暖房方式		
			局所冷房方式				熱源設備(その他)				局所連某方式		
			三種換気(排気扇)				給水設備(加圧送水方式)				三種換気(排気扇)		
			液化石油ガス				排水設備(浄化槽)				液化石油ガス		
43	劣化度調査	建 築	建物破損・浸水								建物破損・浸水		
		電気設備	照明点灯不良、受水槽破損他								照明点灯不良、受水槽破損他		
		機械設備	受水槽破損								受水槽破損		
44	定期点検	建 築											
		電気設備											
		機械設備											
45	改修・大規模修繕等工事履歴【百万円】	建 築	本館外壁劣化部塗装修繕工事(R2)【163】										
			玄関ポーチ屋根防水修繕工事(R4)【0.5】										
		電気設備											
		機械設備											
46	直近5年の維持修繕・改修費		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		合計
	国庫												0百万円
	県債												0百万円
	一般財源												0百万円
	その他												0百万円
	計		0百万円		0百万円		0百万円		0百万円		0百万円		0百万円

5 施設評価

	1次評価(定量評価)	評価・分析結果
47	ソフト(利用状況×経費効率)	現状維持
48	ソフト×ハード(建物性能)	改善・見直し(長寿命化)

2次評価(定性評価)	評価結果
施策上の必要性	高
代替の可能性	高

6 今後の方向性(たたき台)

54	施設全体の方針	機能の方向性	現状維持	建物の方向性	貸付
		庁舎は建築から40年以上経過し劣化が著しいが、使用許可している物件であるため、許可先との協議を踏まえながら、必要な維持管理を行う。			

7 長寿命化等対策の方向性等

56	長寿命化等対策の方向性	庁舎は建築から40年以上経過し劣化が著しいが、使用許可している物件であるため、許可先との協議を踏まえながら、必要な維持管理を行う。					
57	主な維持修繕・改修の内容	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
58	概算費用(見込)	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円
	国庫						0 百万円
	県債						0 百万円
	一般財源						0 百万円
	その他						0 百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

岩手県公共施設カルテ（個表：庁舎等用）

No. 3

1 施設概要

1	施設名称	県南家畜保健衛生所	策定年月	R3.3	最終更新	R7.12
2	所在地	奥州市水沢佐倉河字東舘41番1	施設類型	庁舎等	財産区分	行政財産
3	所管課	農林水産企画室	運営形態	直営	防災施設等指定	非該当
4	都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	指定なし
5	敷地面積	5,725.79 ㎡	建築面積	1,116.11 ㎡	延床面積	1,640.98 ㎡
6	竣工年度（建築年月）	2000年3月	経過年数（R7.4.1現在）	25 年	施設内棟数	3 棟
7	設置根拠	有　家畜保健衛生所法				
8	設置目的	家畜の防疫対策、生産性向上を推進するほか、動物用医薬品、飼料の適正使用等について監視・指導することで、畜産経営の安定と発展並びに消費者への安全・安心な畜産物の安定供給に寄与することを目的として設置。				
9	施設の概況	平成12年（2000年）3月に竣工され、令和7年（2025年）4月で建築から25年を迎える。 県南家畜保健衛生所は、管内の家畜衛生対策指導や家畜伝染病の発生予防及びまん延防止を行うほか、防疫活動の拠点として機能している。				
10	未利用設備	無	大規模改修	無		
10	使用許可等の有無	有　岩手県南家畜衛生推進協議会				

12	主要棟	名称	庁舎			
13		構造	RC造	種目	事務所建	
14		階数	地上 2階	地下	なし	
15		建築面積	836.63 ㎡	延床面積	1,361.50 ㎡	
16		建築年月日	2000年3月	法定耐用年数	50 年	
17		耐震診断	不要	耐震改修	不要	
18		その他特記事項				

現況写真

2 利用状況

20	R5利用状況	開館日	平日（年末年始、休日を除く）		開館時間	8:30-17:15	
24		職員数	23 人		（職員数のうち団体等職員数）	3 人	
		職員数の推移（直近5年間）	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	増減率（R5/過去5年平均）
25			21人	21人	22人	22人	23人	5.5%
26		施設利用対象者マクロデータ※管内人口	開設当時【A】（H12年10月時点）	686,849人	現　在【B】（R7年4月時点）	577,849人	増減率（マクロデータ）	▲ 15.9%

3 維持・管理費の状況（改修、大規模修繕などに含まれるものは除く）

（単位：千円）

行政コスト計算書	令和3年度	構成比	令和4年度	構成比	令和5年度	構成比
経常費用	**213,136**	**100.0%**	**205,054**	**100.0%**	**193,715**	**100.0%**
人件費	162,134	76.1%	162,837	79.4%	143,101	73.9%
物件費等	35,745	16.8%	33,452	16.3%	34,952	18.0%
維持修繕費	7,555	3.5%	1,063	0.5%	7,960	4.1%
減価償却費	7,702	3.6%	7,702	3.8%	7,702	4.0%
支払利息		0.0%		0.0%		0.0%
臨時損失	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**
災害復旧事業費		0.0%		0.0%		0.0%
その他		0.0%		0.0%		0.0%
28 **支出合計**	**213,136**	**100.0%**	**205,054**	**100.0%**	**193,715**	**100.0%**
経常収益（直接的収入）	**30**	**100.0%**	**30**	**100.0%**	**30**	**100.0%**
使用料・手数料		0.0%		0.0%		0.0%
その他	30	100.0%	30	100.0%	30	100.0%
臨時利益（直接的収入）	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**
資産売却益		0.0%		0.0%		0.0%
その他		0.0%		0.0%		0.0%
補助金等（間接的収入）	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**
国庫補助金		0.0%		0.0%		0.0%
その他		0.0%		0.0%		0.0%
収入合計	**30**	**100.0%**	**30**	**100.0%**	**30**	**100.0%**
年間コスト	**▲ 213,106**		**▲ 205,024**		**▲ 193,685**	

29	年間利用者数	22	人	23	人	23	人
30	延床面積当たりコスト	129,865	円/㎡	124,940	円/㎡	118,030	円/㎡
31	利用者1人当たりコスト	9,686,636	円/人	8,914,087	円/人	8,421,087	円/人
32	（参考）県民1人当たりコスト	178	円/人	174	円/人	167	円/人
33	有形固定資産減価償却率	67.8	%	69.8	%	55.1	%

（参考）岩手県の人口

（単位：人）

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

No. 3

4 施設内建物の概要

34	番号:建物名称		1:庁舎				2:車庫					
35	構 造 / 種 目		RC造		事務所建		RC造		事務所建			
36	階 数		地上	2 階	地下		地上	1 階	地下		地上	地下
37	建築面積		836.63 ㎡				262.50 ㎡					
38	延床面積		1,361.50 ㎡				262.50 ㎡					
39	建築年月		2000年3月		耐用年数	50年	2001年3月		耐用年数	50年		耐用年数
40	耐震診断 / 耐震改修		不要		不要		不要		不要			
41	その他特記事項											
42	主な建築・設備	建 築	屋根:亜鉛メッキ鋼板葺				屋根:亜鉛メッキ鋼板葺					
			外壁:鉄筋コンクリート									
		電気設備	受変電キュービクル				電灯設備					
			電話交換機設備									
			火災報知設備									
			トイレ用呼出設備									
		機械設備	冷温水発生機									
			各種ポンプ、配管類									
			排水処理槽									
43	劣化度調査	建 築	建築物に顕著な老朽化は認められない				柱に錆等による剥離が発生、処置済					
			が、排水設備等の機能低下により修繕									
			を実施している。									
		電気設備	耐用年数経過により故障の恐れがある									
			ため、計画的な改修が必要。									
		機械設備	経年劣化等による機能低下や動作									
			不良が発生しており、計画的及び総合									
			的な修理又は改修が必要である。									
44	定期点検	建 築	壁の剥離、天井・壁のしみ				柱の剥離					
		電気設備	キュービクル内各種設備の更新推奨期間の超過									
		機械設備	冷温水発生機について稼働停止の恐れがあることから、定期的な薬品洗浄及び部品交換が必要(点検業者指摘)									
45	改修・大規模修繕等工事履歴【百万円】	建 築	庁舎玄関ポーチ屋根防水工事(R6)【2】									
		電気設備										
		機械設備	冷温水発生機分解整備(R5)【6】									
			吸収冷温水機チューブ等修繕(R6)【2】									

46	直近5年の維持修繕・改修費	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計
	国庫						0百万円
	県債						0百万円
	一般財源	0.6百万円	2.1百万円	0.8百万円	6.7百万円	5.9百万円	16.1百万円
	その他						0百万円
	計	0.6百万円	2.1百万円	0.8百万円	6.7百万円	5.9百万円	16.1百万円

5 施設評価

	1次評価(定量評価)	評価・分析結果
47	ソフト(利用状況×経費効率)	改善・見直し(経費効率)
48	ソフト×ハード(建物性能)	改善・見直し(複合化等)
49		

2次評価(定性評価)	評価結果
施策上の必要性	高
代替の可能性	高

6 今後の方向性(たたき台)

54	施設全体の方針	機能の方向性	現状維持	建物の方向性	長寿命化改修
		家畜保健衛生所法に基づく施設であり、家畜防疫上の問題への対応や国の方針に即した機能維持を目的とし、適切な維持管理により施設機能を維持管理していく。 また、法令に基づく施設であることから、他用途・多目的の利用には適さない。			

7 長寿命化等対策の方向性等

56	長寿命化等対策の方向性	施設等の経年劣化がみられるほか、各設備の部品等の交換時期を経過している等により、年々修繕箇所が増加している状況である。 今後も定期点検や日常点検等で施設の状況把握を行いながら、計画的に改修(電気設備等)を実施し、長寿命化を図っていく。					
57	主な維持修繕・改修の内容	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
58	概算費用(見込)	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円
	国庫						0 百万円
	県債						0 百万円
	一般財源						0 百万円
	その他						0 百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

岩手県公共施設カルテ（個表：庁舎等用）

No. 4

1 施設概要

1	施設名称	県北家畜保健衛生所	策定年月	R3.3	最終更新	R7.12
2	所在地	軽米町大字山内23地割9番1	施設類型	庁舎等	財産区分	行政財産
3	所管課	農林水産企画室	運営形態	直営	防災施設等指定	非該当
4	都市計画区域	都市計画区域外	防火地域	指定なし	用途地域	指定なし
5	敷地面積	6,411.96 ㎡	建築面積	604.79 ㎡	延床面積	952.00 ㎡
6	竣工年度（建築年月）	2003年3月	経過年数（R7.4.1現在）	22 年	施設内棟数	3棟
7	設置根拠	有　家畜保健衛生所法				
8	設置目的	県北地域の畜産経営体が安全で高品質な畜産物の生産により安定した経営が展開できるよう、最新の家畜衛生の知識と専門技術を駆使し、家畜の伝染性疾病予防と生産性向上対策を支援する。				
9	施設の概況	平成15年（2003年）3月に県北家畜保健衛生所（地上2階建て）、解剖室（地上1階）、車庫が竣工され、令和7年（2025年）4月で建築から22年を迎える。 県北家畜保健衛生所は、獣医学的な専門知識と検査結果を踏まえた家畜の衛生対策指導を行うほか、高病原性鳥インフルエンザ等の家畜伝染病が発生した場合の防疫活動の拠点として機能している。				
10	未利用設備	無		大規模改修	無	
10	使用許可等の有無	有	県北家畜衛生協議会			

	主要棟						現況写真
12	名称	庁舎					
13	構造	RC造		種目	事務所建		
14	階数	地上	2階	地下	なし		
15	建築面積	432.33 ㎡		延床面積	779.50 ㎡		
16	建築年月日	2003年3月		法定耐用年数	50年		
17	耐震診断	不要		耐震改修	不要		
18	その他特記事項	LED化改修、水道配管（水漏れ）修繕					

2 利用状況

20	R5利用状況	開館日	平日（年末年始、休日を除く）		開館時間	8:30～17:15	
24		職員数	16 人		（職員数のうち団体等職員数）	1 人	
		職員数の推移（直近5年間）	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	増減率（R5/過去5年平均）
25			15人	15人	15人	15人	17人	3.9%
26		施設利用対象者マクロデータ ※振興局管内人口	開設当時【A】（H15年4月時点）	135,454人	現　在【B】（R6年10月時点）	95,811人	増減率（マクロデータ）	▲ 29.3%

3 維持・管理費の状況（改修、大規模修繕などに含まれるものは除く）

（単位：千円）

行政コスト計算書	令和3年度	構成比	令和4年度	構成比	令和5年度	構成比
経常費用	**36,992**	**100.0%**	**38,575**	**100.0%**	**37,286**	**100.0%**
人件費	18,603	50.3%	18,227	47.3%	18,352	49.2%
物件費等	12,489	33.8%	14,381	37.3%	13,316	35.7%
維持修繕費	1,869	5.1%	1,936	5.0%	1,641	4.4%
減価償却費	4,031	10.9%	4,031	10.4%	3,977	10.7%
支払利息		0.0%		0.0%		0.0%
臨時損失	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**
災害復旧事業費		0.0%		0.0%		0.0%
その他		0.0%		0.0%		0.0%
28 **支出合計**	**36,992**	**100.0%**	**38,575**	**100.0%**	**37,286**	**100.0%**
経常収益（直接的収入）	**25**	**100.0%**	**31**	**100.0%**	**32**	**100.0%**
使用料・手数料		0.0%		0.0%		0.0%
その他	25	100.0%	31	100.0%	32	100.0%
臨時利益（直接的収入）	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**
資産売却益		0.0%		0.0%		0.0%
その他		0.0%		0.0%		0.0%
補助金等（間接的収入）	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**
国庫補助金		0.0%		0.0%		0.0%
その他		0.0%		0.0%		0.0%
収入合計	**25**	**100.0%**	**31**	**100.0%**	**32**	**100.0%**
年間コスト	**▲ 36,967**		**▲ 38,544**		**▲ 37,254**	

29	年間利用者数	15	人	17	人	16	人
30	延床面積当たりコスト	38,831	円/㎡	40,487	円/㎡	39,132	円/㎡
31	利用者1人当たりコスト	2,464,467	円/人	2,267,294	円/人	2,328,375	円/人
32	（参考）県民1人当たりコスト	31	円/人	33	円/人	32	円/人
33	有形固定資産減価償却率	59.3	%	60.9	%	62.4	%

（参考）岩手県の人口

（単位：人）

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

4 施設内建物の概要

		① 建 築	② 電気設備	③ 機械設備
33	主な建築・設備	屋根：長尺金属板葦	受変電キュービクル	冷温水発生機
		外壁：コンクリート打放エポキシ材吹付	※農業研究センターと共用	各種配管類
			電話交換機設備	排水処理槽
			トイレ用呼出設備	
34	劣化度調査	躯体は概ね健全。	目視による劣化具合の確認はできないが	経年劣化により機能低下が進行しており、
			経年による総合的な改修が必要	総合的な改修が必要
35	定期点検	外壁クラック、モルタル剥離		冷温水発生機定期点検（委託業務）により
				制御盤の改修を指摘
36	改修・大規模修繕等 工事履歴 【百万円】			

47	直近5年改修・大規模修繕費	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計
	国庫						0百万円
	県債						0百万円
	一般財源						0百万円
	その他						0百万円
	計	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円

5 施設評価

	1次評価（定量評価）	評価・分析結果
48	ソフト（利用状況×経費効率）	改善・見直し（経費効率）
49	ソフト×ハード（建物性能）	現状維持

2次評価（定性評価）	評価結果
施策上の必要性	高
代替の可能性	高

6 今後の方向性（たたき台）

50	施設の方向性	機能の方向性	現状維持	建物の方向性	現状維持
51		県北家畜保健衛生所は、家畜保健衛生所法に基づき設置されており、獣医学的な専門知識と検査結果を踏まえた家畜の衛生対策指導を行うほか、高病原性鳥インフルエンザ等の家畜伝染病が発生した場合の防疫活動の拠点として機能している施設である。 他に代替のない施設であるため、専門業者による点検結果等を踏まえ、更新や修繕を計画的に実施しながら施設の機能を維持していく必要がある。		

7 長寿命化等対策の方向性等

52	長寿命化等対策の方向性	計画的な大規模改修等（電気・機械設備優先）により長寿命化を図り、現施設での行政サービスを維持する。

		令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
53	主な維持修繕・改修の内容		・オイルタンク配管修繕 ・電話設備交換修繕 ・その他維持修繕	・その他維持修繕（屋根防水、外壁塗膜、火災報知設備、埋設配管など）	・その他維持修繕（屋根防水、外壁塗膜、火災報知設備、埋設配管など）	・その他維持修繕（屋根防水、外壁塗膜、火災報知設備、埋設配管など）	
54	概算費用（見込）	0 百万円	7 百万円	5 百万円	2 百万円	2 百万円	16 百万円
	国庫						0 百万円
	県債						0 百万円
	一般財源		7 百万円	5 百万円	2 百万円	2 百万円	16 百万円
	その他						0 百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

b

岩手県公共施設カルテ（個表：庁舎等用）

No. 5

1 施設概要

1	施設名称	岩手県生物工学研究所	策定年月	R3.3	最終更新	R7.12
2	所在地	北上市成田22地割174番地	施設類型	庁舎等	財産区分	行政財産
3	所管課	岩手県生物工学研究所	運営形態	直営	防災施設等指定	非該当
4	都市計画区域	都市計画区域外	防火地域	指定なし	用途地域	指定なし
5	敷地面積	48,120.64 ㎡	建築面積	1,938.75 ㎡	延床面積	4,742.96 ㎡
6	竣工年度（建築年月）	1992年12月	経過年数（R7.4.1現在）	32 年	施設内棟数	11 棟
7	設置根拠	無				
8	設置目的	バイオテクノロジー研究に関する事務を処理する。（研究の実施は公益財団岩手生物工学研究センターに委託。）				
9	施設の概況	平成4年（1992年）12月に本館（地上2階）、RI動力棟、温室棟、ガラス温室、菌茸培養実験棟、車庫棟が竣工され、令和7年（2025年）4月で建築から32年を迎える。 生物工学研究所は公益財団岩手生物工学研究センターの設置目的「岩手県設置の試験研究機関のバイオテクノロジー応用化研究を支援促進するためのバイオテクノロジー基礎的研究を行い、もって岩手県の農林水産業、食品工業の振興に寄与する」を達成するために研究施設、研究備品等を整備・管理している。				
10	未利用設備	無	大規模改修	有	電気設備更新工事、冷温水発生機更新工事等	
10	使用許可等の有無	有	自動販売機の行政財産使用許可、公益財団岩手生物工学研究センターの行政財産使用許可			

12	主要棟	名称	本館			
13		構造	RC造	種目	事務所建	
14		階数	地上 2階	地下	0階	
15		建築面積	1,532.50 ㎡	延床面積	2,941.13 ㎡	
16		建築年月日	1992年12月	法定耐用年数	50 年	
17		耐震診断	不要	耐震改修	不要	
18		その他特記事項				

現況写真

2 利用状況

20	R5利用状況	開館日	平日（年末年始、休日を除く）		開館時間	8:30-17:15	
24		職員数	54 人		（職員数のうち団体等職員数）	47 人	
		職員数の推移（直近5年間）	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	増減率（R5/過去5年平均）
25			61人	60人	58人	61人	55人	▲ 8.5%
26		施設利用対象者マクロデータ ※県内人口	開設当時【A】（H4年10月時点）	1,415,153人	現　在【B】（R6年10月時点）	1,114,407人	増減率（マクロデータ）	▲ 21.3%

3 維持・管理費の状況（改修、大規模修繕などに含まれるものは除く）

（単位：千円）

行政コスト計算書	令和3年度	構成比	令和4年度	構成比	令和5年度	構成比
経常費用	**130,715**	**100.0%**	**145,464**	**100.0%**	**167,910**	**100.0%**
人件費	7,193	5.5%	7,124	4.9%	7,213	4.3%
物件費等	73,793	56.5%	76,074	52.3%	94,108	56.0%
維持修繕費	16,079	12.3%	28,617	19.7%	34,758	20.7%
減価償却費	33,650	25.7%	33,650	23.1%	31,831	19.0%
支払利息	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
臨時損失	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**
災害復旧事業費		0.0%		0.0%		0.0%
その他		0.0%		0.0%		0.0%
28 **支出合計**	**130,715**	**100.0%**	**145,464**	**100.0%**	**167,910**	**100.0%**
経常収益（直接的収入）	**138**	**100.0%**	**147**	**100.0%**	**151**	**100.0%**
使用料・手数料		0.0%		0.0%		0.0%
その他	138	100.0%	147	100.0%	151	100.0%
臨時利益（直接的収入）	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**
資産売却益		0.0%		0.0%		0.0%
その他		0.0%		0.0%		0.0%
補助金等（間接的収入）	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**
国庫補助金		0.0%		0.0%		0.0%
その他		0.0%		0.0%		0.0%
収入合計	**138**	**100.0%**	**147**	**100.0%**	**151**	**100.0%**
年間コスト	**▲ 130,577**		**▲ 145,317**		**▲ 167,759**	

29	年間利用者数	61	人	55	人	54	人
30	延床面積当たりコスト	27,531	円/㎡	30,639	円/㎡	35,370	円/㎡
31	利用者1人当たりコスト	2,140,607	円/人	2,642,134	円/人	3,106,650	円/人
32	（参考）県民1人当たりコスト	109	円/人	123	円/人	144	円/人
33	有形固定資産減価償却率	75.8	%	77.2	%	78.5	%

（参考）岩手県の人口

（単位：人）

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

4 施設内建物の概要

34	番号:建物名称		1:本館				2:動力・RI処理棟				3:ガラス温室		
35	構 造 / 種 目		RC造		事務所建		RC造		雑屋建		S造		雑屋建
36	階 数		地上	2 階	地下	0 階	地上	1 階	地下	0 階	地上	1 階	地下	0 階
37	建築面積		1,532.50 ㎡				406.25 ㎡				240.00 ㎡		
38	延床面積		2,941.13 ㎡				406.25 ㎡				240.00 ㎡		
39	建築年月		1992年12月		耐用年数	50年	1992年12月		耐用年数	50年	1995年3月		耐用年数	31年
40	耐震診断 / 耐震改修		不要		不要		不要		不要		不要		不要
41	その他特記事項												
42	主な建築・設備	建 築	屋根仕上:金属、シート防水				屋根仕上:金属、シート防水				屋根:金属、ガラス		
			外壁仕上:ｺﾝｸﾘｰﾄ打放(+吹付)、ﾀｲﾙ貼				外壁仕上:ｺﾝｸﾘｰﾄ打放(+吹付)、ﾀｲﾙ貼				床仕上:ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し等		
			床仕上:コンクリート直均し等				床仕上:コンクリート直均し等				壁:ケイカル板、その他		
			壁仕上:コンクリート打放し等				壁仕上:コンクリート打放し等				天井仕上:石こうボード		
		電気設備	業務用電力Ⅱ				業務用電力Ⅱ				配電盤:キュービクル式		
			電灯設備:一般形、一部LED				受変電設備:配電盤屋内型、キュービクル式				電灯設備:一般形(一部LED)		
			警報設備:自動火災報知機P形、非常ベル				発電設備:屋内型、ディーゼル				防犯サービス(閉鎖系温室6)		
			構内交換設備:電子交換機				電灯設備:一般形						
		機械設備	冷暖房設備:冷温水方式、エアコン、チリングユニット				熱源設備:直吸収冷温水機2基、チラー1基				冷暖房:温水式、エアコン		
			自動制御設備:中央式監視制御				冷却塔2基				熱源機器:小型貫流ボイラー		
			給水設備:加圧送水方式、ガス給湯器				給水設備:加圧送水方式、温水発生機				燃料:灯油		
			エレベータ設備、消火栓				オイルタンク				消火器		
43	劣化度調査	建 築	天井に空調機器結露によるシミ多数								非閉鎖系2:屋根にコケ、雨漏り		
			コーキングの劣化に伴う窓からの雨漏り								前室天井のゆがみ、温室壁床亀裂あり		
			門扉、扉等にサビ、機械室3前軒裏の剥離										
			屋上防水シートに穴や劣化あり、修繕必要										
		電気設備											
		機械設備	機械室2給気ファン故障				井水ポンプ故障						
			純水製造装置ポンプ故障										
			実験室の加湿器一部故障										
44	定期点検	建 築											
		電気設備					変圧器のモールド、高圧コンデンサ等 多数更新の指導あり。 非常発電機更新						
		機械設備	エレベータ設備、自動制御装置、共用実験室系統の エアコン更新。 クリーンベンチ吸気性能不足。機械室1送風機腐食。										
45	改修・ 大規模修繕等 工事履歴 【百万円】	建 築	本館空調ドレン配管修繕及び天井修繕(R4)【1】								ガラス温室雨漏り修繕(R1)【1】		
			本館吹抜ロビー屋上階サッシガラス修繕(R5)【1】								閉鎖系6遮光施設修繕(R7-8)【3.5】		
			実験室雨漏り修繕(R7)【0.1】										
		電気設備					電気設備更新工事(R2)【19】						
							電気設備更新工事設計(R3)【3】						
							蓄電池ほか更新工事(R4)【20】						
		機械設備	高圧蒸気滅菌乾燥装置用ボイラー更新(R5)【3】								非閉鎖系2ボイラー更新(R4)【1】		
			冷温水発生機更新工事設計(R5)【1】								閉鎖系6エアコン修繕(R6)【14】		
			冷温水発生機更新工事及び監理業務委託(R6-7)【134】										

34	番号:建物名称		4:実験棟				5:ガラス温室					
35	構 造 / 種 目		RC造		雑屋建		S造		雑屋建			
36	階 数		地上	1 階	地下	0 階	地上	1 階	地下	0 階	地上	地下
37	建築面積		479.25 ㎡				240.00 ㎡					
38	延床面積		479.25 ㎡				240.00 ㎡					
39	建築年月		1996年3月		耐用年数	38年	1996年3月		耐用年数	31年		耐用年数
40	耐震診断 / 耐震改修		不要		不要		不要		不要			
41	その他特記事項											
42	主な建築・設備	建 築	屋根仕上:シート防水				屋根:金属、ガラス					
			外壁仕上:タイル貼				床仕上:ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し等					
			床仕上:ビニル床タイル類、タイル・石貼				壁:ケイカル板、その他					
			壁仕上:コンクリート打放、吹き付け、塗装、壁紙				天井仕上:石こうボード					
		電気設備	業務用電力Ⅱ				配電盤:キュービクル式					
			電灯設備:一般形(一部LED)				電灯設備:一般形(一部LED)					
			警報設備:P型、非常ベル									
			防犯・入退室管理設備									
		機械設備	冷温水方式(中央式暖房)、エアコン				冷暖房:温水式、エアコン					
			真空式温水発生機、燃料:灯油				熱源機器:小型貫流ボイラー					
			空調機:ユニット型、パッケージ形				燃料:灯油					
			一種換気、空調ポンプ、オイルポンプ				消火器					
43	劣化度調査	建 築	廊下:雨漏り				温室壁床亀裂あり					
			天井:シミ									
		電気設備										
		機械設備	管理室・閉鎖系温室空調:経年劣化による力不足									
44	定期点検	建 築										
		電気設備										
		機械設備										
45	改修・大規模修繕等工事履歴【百万円】	建 築	閉鎖系温室排水処理装置更新(R3)【7】				非閉鎖系4屋根修繕(R7)【0.7】					
			実験棟屋上防水シート修繕(R7)【11】									
		電気設備										
		機械設備	閉鎖系温室恒温恒湿修理(R2)【2】									
			実験棟環境制御装置更新(R5)【26】									
			閉鎖系温室空調更新設計(R5)【1】									
			閉鎖系温室空調更新工事(R7-8)【156】									

46	直近5年の維持修繕・改修費	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計
	国庫						0百万円
	県債			18百万円	1百万円		19百万円
	一般財源	21百万円	10百万円	4百万円	31百万円		66百万円
	その他						0百万円
	計	21百万円	10百万円	22百万円	32百万円	0百万円	85百万円

5 施設評価

	1次評価(定量評価)	評価・分析結果
47		
48	ソフト(利用状況×経費効率)	廃止(抜本的見直し)
49	ソフト×ハード(建物性能)	廃止(抜本的見直し)

2次評価(定性評価)	評価結果
施策上の必要性	高
代替の可能性	高

6 今後の方向性(たたき台)

54	施設全体の方針	機能の方向性	現状維持	建物の方向性	長寿命化改修
		建物性能は高いが、専門業者による点検において多数の設備について修繕・更新を指摘されている。他に代替えのない施設であり、早急に修繕が必要である。			

7 長寿命化等対策の方向性等

56	長寿命化等対策の方向性	建物の耐用年数に見合った設備に更新整備することにより、施設全体としての長寿命化を図り、安全かつ安定的に施設を運営する。					
		令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
57	主な維持修繕・改修の内容	・本館冷温水発生機更新工事及び監理業務委託(R6-7) ・閉鎖系温室空調更新工事及び監理業務委託(R7-8)	・閉鎖系温室空調更新工事及び監理業務委託(R7-8) ・変圧器ほか受変電設備更新工事再設計業務委託	・変圧器ほか受変電設備更新工事及び監理業務委託(R9-10) ・本館屋上防水シート全面改修工事 ・共用実験室系統マルチエアコン更新	・変圧器ほか受変電設備更新工事及び監理業務委託(R9-10) ・純水製造装置更新 ・空調中央監視盤更新 ・電灯盤機器更新設計	・電灯盤機器更新 ・動力盤機器更新設計	
58	概算費用(見込)	134 百万円	159 百万円	31 百万円	122 百万円	30 百万円	476 百万円
	国庫						0 百万円
	県債	128 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	128 百万円
	一般財源	6 百万円	159 百万円	31 百万円	122 百万円	30 百万円	348 百万円
	その他						0 百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

岩手県公共施設カルテ（個表：庁舎等用）

No. 6

1 施設概要

1	施設名称	農業研究センター	策定年月	R3.3	最終更新	R7.12
2	所在地	北上市成田20地割1番	施設類型	庁舎等	財産区分	行政財産
3	所管課	岩手県農業研究センター	運営形態	直営	防災施設等指定	非該当
4	都市計画区域	都市計画区域外	防火地域	指定なし	用途地域	指定なし
5	敷地面積	1,000,554.10 ㎡	建築面積	15,609.04 ㎡	延床面積	19,845.52 ㎡
6	竣工年度（建築年月）	1997年3月	経過年数（R7.4.1現在）	28 年	施設内棟数	33 棟
7	設置根拠	無				
8	設置目的	新たな試験研究に対する要望や地域課題への適切な対応、試験研究の効率化とともに、時代を先取りした試験研究を推進し、岩手県農業を確立していくための先進的役割を果たすために再編整備された施設である。				
9	施設の概況	農業研究センターは、平成9年（1997年）3月に竣工され、令和7年（2025年）4月で建築から28年を迎える。				
10	未利用設備	無		大規模改修	無	
10	使用許可等の有無	有	ほ場の行政財産使用許可			

	主要棟					現況写真
12	名称	管理棟				
13	構造	RC造	種目	事務所建		
14	階数	地上 2階	地下	-		
15	建築面積	1,801.21 ㎡	延床面積	2,911.17 ㎡		
16	建築年月日	1997年3月	法定耐用年数	50 年		
17	耐震診断	不要	耐震改修	不要		
18	その他特記事項					

2 利用状況

20	R5利用状況	開館日	平日（年末年始、休日を除く）		開館時間	8:30-17:15	
24		職員数	131 人		（職員数のうち団体等職員数）	0 人	
		職員数の推移（直近5年間）	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	増減率（R5/過去5年平均）
25			88人	89人	146人	141人	141人	8.3%
26		施設利用対象者マクロデータ ※県内人口	開設当時【A】（H9年10月時点） 1,419,161人	現　在【B】（R6年10月時点） 1,114,407人	増減率（マクロデータ） ▲ 21.5%			

3 維持・管理費の状況（改修、大規模修繕などに含まれるものは除く）

（単位：千円）

行政コスト計算書	令和3年度	構成比	令和4年度	構成比	令和5年度	構成比
経常費用	**263,449**	**100.0%**	**268,432**	**100.0%**	**289,964**	**100.0%**
人件費	18,917	7.2%	19,309	7.2%	20,685	7.1%
物件費等	82,612	31.4%	76,454	28.5%	101,912	35.1%
維持修繕費	15,920	6.0%	26,908	10.0%	21,658	7.5%
減価償却費	146,000	55.4%	145,761	54.3%	145,709	50.3%
支払利息	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
臨時損失	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**
災害復旧事業費		0.0%		0.0%		0.0%
その他		0.0%		0.0%		0.0%
28 **支出合計**	**263,449**	**100.0%**	**268,432**	**100.0%**	**289,964**	**100.0%**
経常収益（直接的収入）	**99**	**100.0%**	**122**	**100.0%**	**118**	**100.0%**
使用料・手数料	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	99	100.0%	122	100.0%	118	100.0%
臨時利益（直接的収入）	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**
資産売却益		0.0%		0.0%		0.0%
その他		0.0%		0.0%		0.0%
補助金等（間接的収入）	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**
国庫補助金		0.0%		0.0%		0.0%
その他		0.0%		0.0%		0.0%
収入合計	**99**	**100.0%**	**122**	**100.0%**	**118**	**100.0%**
年間コスト	**▲ 263,350**		**▲ 268,310**		**▲ 289,846**	

29	年間利用者数	141	人	141	人	131	人
30	延床面積当たりコスト	13,270	円/㎡	13,520	円/㎡	14,605	円/㎡
31	利用者1人当たりコスト	1,867,730	円/人	1,902,908	円/人	2,212,565	円/人
32	（参考）県民1人当たりコスト	220	円/人	227	円/人	249	円/人
33	有形固定資産減価償却率	61.7	%	63.7	%	66.3	%

（参考）岩手県の人口

（単位：人）

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

No. 6

4 施設内建物の概要

34	番号:建物名称		1:管理棟			2:実験研究棟			3:機械棟			
35	構 造 / 種 目		RC造		事務所建	RC造		事務所建	RC造		雑屋建	
36	階 数		地上	2 階	地下	地上	3 階	地下	地上	1 階	地下	
37	建築面積		1,801.21 ㎡			1,730.25 ㎡			412.18 ㎡			
38	延床面積		2,911.17 ㎡			5,056.92 ㎡			412.18 ㎡			
39	建築年月		1997年3月		耐用年数 50年	1996年12月		耐用年数 50年	1996年12月		耐用年数 38年	
40	耐震診断 / 耐震改修		不要		不要	不要		不要	不要		不要	
41	その他特記事項											
42	主な建築・設備	建 築	屋根(ｺﾝｸﾘｰﾄ金ゴテ・発泡ｳﾚﾀﾝ吹付)			屋根(ｺﾝｸﾘｰﾄ金ゴテ)			屋根(ｺﾝｸﾘｰﾄ金ゴテ)			
			外壁(ｺﾝｸﾘｰﾄ打放(＋吹付))			外壁(ｺﾝｸﾘｰﾄ打放(＋吹付))			外壁(ｺﾝｸﾘｰﾄ打放(＋吹付))			
			外壁(タイル貼)			外壁(タイル貼)			外壁(タイル貼)			
		電気設備	受変電設備(屋内形)			受変電設備(屋内形)			受変電設備(屋内形)			
			複合防災盤(自火報、非常警報)			構内交換設備			自動火災報知設備			
			構内交換設備			弱電設備			非常用発電設備			
			弱電設備									
		機械設備	冷暖房設備(中央式冷暖房)			冷暖房設備(中央式冷暖房)			吸収式冷温水機			
			空調機器(ファンコイルユニット)			給水設備(水道直結方式)			冷暖房設備(中央式冷暖房)			
			自動制御設備(中央式監視制御)			排水設備(浄化槽)			給水設備(水道直結方式)			
			給水設備(水道直結方式)			給湯設備(中央式)			排水設備(浄化槽)			
43	劣化度調査	建 築	経年劣化による機能低下が進行			経年劣化による機能低下が進行			経年劣化による機能低下が進行			
			しており、総合的な改修が必要			しており、総合的な改修が必要			しており、総合的な改修が必要			
		電気設備	経年劣化による機能低下が進行			経年劣化による機能低下が進行			経年劣化による機能低下が進行			
			しており、総合的な改修が必要			しており、総合的な改修が必要			しており、総合的な改修が必要			
		機械設備	経年劣化による機能低下が進行			経年劣化による機能低下が進行			経年劣化による機能低下が進行			
			しており、総合的な改修が必要			しており、総合的な改修が必要			しており、総合的な改修が必要			
44	定期点検	建 築	屋上防水シート破れ、雨漏り			屋上防水シート破れ			屋上防水シート破れ			
		電気設備	照明設備、スイッチの故障			照明設備、スイッチの故障						
		機械設備	空調設備部品等劣化による故障 中央監視盤使用不可			空調設備部品等劣化による故障 中央監視盤使用不可			吸収式冷温水機部品劣化による故障 中央監視盤使用不可			
45	改修・大規模修繕等工事履歴【百万円】	建 築										
		電気設備	複合防災盤・非常防災盤更新(R5)【11			防水シート修繕(R4)【71】			受変電設備機器更新設計(R5)【1】			
			LED化工事(R5)【80】			防水シート修繕(R5)【74】			受変電設備機器更新(R5-R6)【144】			
						LED化工事(R5)【80】※再掲						
		機械設備										

34	番号:建物名称		4:農具庫兼休憩室				5:水稲育苗ファイロンハウス				6:堆肥舎1		
35	構 造 / 種 目		S造		雑屋建		S造		雑屋建		S造		雑屋建
36	階 数		地上	1 階	地下	0 階	地上	1 階	地下	0 階	地上	1 階	地下	0 階
37	建築面積		466.66 ㎡				324.00 ㎡				220.00 ㎡		
38	延床面積		389.66 ㎡				324.00 ㎡				200.00 ㎡		
39	建築年月		1997年3月		耐用年数	31年	1997年3月		耐用年数	31年	1997年3月		耐用年数	31年
40	耐震診断 / 耐震改修		不要		不要		不要		不要		不要		不要
41	その他特記事項												
42	主な建築・設備	建 築	屋根(カラー鉄板折版葺き)				屋根(長尺カラー鋼板)				屋根(カラー折板)		
			屋根(中空押出し成形板)				外壁(セメント中空押出成形)				外壁(コンクリート打法+吹付)		
		電気設備	受変電設備(キュービクル式)				受変電設備機器(キュービクル式)						
			自動火災報知設備				電灯設備機器						
			弱電設備(拡声)										
			電灯設備										
		機械設備	冷暖房設備(FFストーブ等)				給湯設備(水道直結方式)				給水設備(水道直結方式)		
			給水設備(水道直結方式)				排水設備(浄化槽)				排水設備(浄化槽)		
			排水設備(浄化槽)				自動制御機器						
			給湯設備(局所式:ガス湯沸器)										
43	劣化度調査	建 築	経年劣化による機能低下が進行				経年劣化による機能低下が進行				経年劣化による機能低下が進行		
			しており、総合的な改修が必要				しており、総合的な改修が必要				しており、総合的な改修が必要		
		電気設備	経年劣化による機能低下が進行				経年劣化による機能低下が進行						
			しており、総合的な改修が必要				しており、総合的な改修が必要						
		機械設備	経年劣化による機能低下が進行				経年劣化による機能低下が進行						
			しており、総合的な改修が必要				しており、総合的な改修が必要						
44	定期点検	建 築	屋根サビ、腐食あり				温室設備フィルムほつれ、天窓・側窓部品破損						
		電気設備											
		機械設備											
45	改修・大規模修繕等工事履歴【百万円】	建 築											
		電気設備											
		機械設備											

34	番号:建物名称		7:水稲育種調査棟				8:養蚕飼育調査棟				9:作物調査実験棟		
35	構 造 / 種 目		S造		雑屋建		S造		雑屋建		S造		雑屋建
36	階 数		地上	1 階	地下	0 階	地上	1 階	地下	0 階	地上	1 階	地下	0 階
37	建築面積		413.28 ㎡				340.20 ㎡				790.38 ㎡		
38	延床面積		413.28 ㎡				340.20 ㎡				715.91 ㎡		
39	建築年月		1997年3月		耐用年数	31年	1997年3月		耐用年数	31年	1997年3月		耐用年数	31年
40	耐震診断 / 耐震改修		不要		不要		不要		不要		不要		不要
41	その他特記事項												
42	主な建築・設備	建 築	屋根(長尺ｶﾗｰ鉄板)				屋根(長尺ｶﾗｰ鉄板)				屋根(長尺ｶﾗｰ鉄板)		
			外壁(ｾﾒﾝﾄ中空押出成型板)				外壁(中空押出成型板)				外壁(中空押出成型板)		
		電気設備	受変電設備機器(キュービクル式)				受変電設備機器(キュービクル式)				受変電設備機器(キュービクル式)		
			自動火災報知設備				自動火災報知設備				自動火災報知設備		
			弱電設備(拡声)				弱電設備(拡声)				弱電設備(拡声)		
			電灯設備				電灯設備				電灯設備		
		機械設備	冷暖房設備(FFストーブ等)				冷暖房設備(FFストーブ・エアコン等)				冷暖房設備(FFストーブ等)		
			給水設備(水道直結方式)				給水設備(水道直結方式)				給水設備(水道直結方式)		
			排水設備(浄化槽)				排水設備(浄化槽)				排水設備(浄化槽)		
			給湯設備(局所式:ガス湯沸器)				給湯設備(局所式:ガス湯沸器)				給湯設備(局所式:ガス湯沸器)		
43	劣化度調査	建 築	経年劣化による機能低下が進行				経年劣化により機能低下が進行				経年劣化による機能低下が進行		
			しており、総合的な改修が必要				している。現在使用していない。				しており、総合的な改修が必要		
		電気設備	経年劣化による機能低下が進行				経年劣化により機能低下が進行				経年劣化による機能低下が進行		
			しており、総合的な改修が必要				している。現在使用していない。				しており、総合的な改修が必要		
		機械設備	経年劣化による機能低下が進行				経年劣化により機能低下が進行				経年劣化による機能低下が進行		
			しており、総合的な改修が必要				している。現在使用していない。				しており、総合的な改修が必要		
44	定期点検	建 築	天窓枠から雨漏り、屋根サビあり								屋根損傷個所あり		
		電気設備											
		機械設備											
45	改修・大規模修繕等工事履歴【百万円】	建 築											
		電気設備											
		機械設備											

34	番号:建物名称		10:育苗ガラス温室				11:初期世代養成温室				12:穀物乾燥原種調製調査棟		
35	構 造 / 種 目		S造		雑屋建		S造		雑屋建		S造		雑屋建
36	階 数		地上	1 階	地下	0 階	地上	1 階	地下	0 階	地上	1 階	地下	0 階
37	建築面積		991.80 ㎡				658.70 ㎡				891.00 ㎡		
38	延床面積		991.80 ㎡				658.70 ㎡				860.00 ㎡		
39	建築年月		1997年3月		耐用年数	31年	1997年3月		耐用年数	31年	1997年3月		耐用年数	31年
40	耐震診断 / 耐震改修		不要		不要		不要		不要		不要		不要
41	その他特記事項												
42	主な建築・設備	建 築	屋根(長尺ｶﾗｰ鉄板)				金属(長尺ｶﾗｰ鉄板瓦棒葺き)				屋根(長尺ｶﾗｰ鉄板瓦棒葺き)		
			外壁(ｾﾒﾝﾄ中空押出成形材)				外壁(ｾﾒﾝﾄ中空押出成形板)				外壁(角波ｶﾗｰ鉄板)		
			ガラス屋根・壁				ガラス屋根・壁						
		電気設備	受変電設備機器(キュービクル式)				受変電設備機器(キュービクル式)				受変電設備機器(キュービクル式)		
			自動火災報知設備				自動火災報知設備				自動火災報知設備		
			弱電設備(拡声)				弱電設備(拡声)				弱電設備(拡声)		
			電灯設備				電灯設備				電灯設備		
		機械設備	冷暖房設備(温水方式)				冷暖房設備(温水方式)				給水設備(水道直結方式)		
			給水設備(水道直結方式)				給水設備(水道直結方式)				排水設備(その他)		
			排水設備(浄化槽)				排水設備(浄化槽)				給湯設備(局所式:ガス湯沸器)		
			自動制御機器				給湯設備(中央式:暖房ボイラ兼用)				ガス設備(液化石油ガス)		
43	劣化度調査	建 築	経年劣化による機能低下が進行				経年劣化による機能低下が進行				経年劣化による機能低下が進行		
			しており、総合的な改修が必要				しており、総合的な改修が必要				しており、総合的な改修が必要		
		電気設備	経年劣化による機能低下が進行				経年劣化による機能低下が進行				経年劣化による機能低下が進行		
			しており、総合的な改修が必要				しており、総合的な改修が必要				しており、総合的な改修が必要		
		機械設備	経年劣化による機能低下が進行				経年劣化による機能低下が進行				経年劣化による機能低下が進行		
			しており、総合的な改修が必要				しており、総合的な改修が必要				しており、総合的な改修が必要		
44	定期点検	建 築	温室設備フィルムほつれ、天窓・側窓部品破損、煙突腐食、外壁破損										
		電気設備											
		機械設備	複合環境制御装置経年劣化による故障				複合環境制御装置経年劣化による故障						
45	改修・大規模修繕等工事履歴【百万円】	建 築											
		電気設備											
		機械設備					温室設備機器交換修繕(R5)【32】						

34	番号:建物名称		13:機械格納庫1				14:機械格納庫2				15:バイテク順化育成制御温室		
35	構 造 / 種 目		S造		倉庫建		S造		倉庫建		S造		雑屋建
36	階 数		地上	1 階	地下	0 階	地上	1 階	地下	0 階	地上	1 階	地下	0 階
37	建築面積		686.40 ㎡				686.40 ㎡				213.60 ㎡		
38	延床面積		629.20 ㎡				629.20 ㎡				213.60 ㎡		
39	建築年月		1997年3月		耐用年数	31年	1997年3月		耐用年数	31年	1991年3月		耐用年数	31年
40	耐震診断 / 耐震改修		不要		不要		不要		不要		不要		不要
41	その他特記事項												
42	主な建築・設備	建 築	屋根(ｶﾗｰ鋼板)				屋根(ｶﾗｰ鋼板)				ガラス屋根・壁		
			外壁(中空押出成形板)				外壁(中空押出成形板)						
		電気設備	受変電設備機器(キュービクル式)				受変電設備機器(キュービクル式)				受変電設備機器(キュービクル式)		
			自動火災報知設備				自動火災報知設備						
			弱電設備(拡声)				電灯設備						
			電灯設備										
		機械設備	給水設備(水道直結方式)				給水設備(水道直結方式)				冷暖房設備(温風暖房機方式)		
			排水設備(浄化槽)				排水設備(浄化槽)				給水設備(水道直結方式)		
			給湯設備(局所式:ガス湯沸器)								排水設備(浄化槽)		
			ガス設備(液化石油ガス)										
43	劣化度調査	建 築	経年劣化による機能低下が進行				経年劣化による機能低下が進行				経年劣化による機能低下が進行		
			しており、総合的な改修が必要				しており、総合的な改修が必要				しており、総合的な改修が必要		
		電気設備	経年劣化による機能低下が進行				経年劣化による機能低下が進行				経年劣化による機能低下が進行		
			しており、総合的な改修が必要				しており、総合的な改修が必要				しており、総合的な改修が必要		
		機械設備	経年劣化による機能低下が進行				経年劣化による機能低下が進行				経年劣化による機能低下が進行		
			しており、総合的な改修が必要				しており、総合的な改修が必要				しており、総合的な改修が必要		
44	定期点検	建 築									屋根ガラスズレあり		
		電気設備											
		機械設備									複合環境制御装置経年劣化による故障		
45	改修・大規模修繕等工事履歴【百万円】	建 築											
		電気設備											
		機械設備											

34	番号:建物名称		16:車庫				17:園芸作物調査棟				18:収納舎		
35	構 造 / 種 目		S造		車庫建		S造		雑屋建		S造		雑屋建
36	階 数		地上	1 階	地下	0 階	地上	1 階	地下	0 階	地上	2 階	地下	0 階
37	建築面積		584.93 ㎡				612.70 ㎡				645.00 ㎡		
38	延床面積		504.25 ㎡				715.60 ㎡				774.00 ㎡		
39	建築年月		1996年7月		耐用年数	31年	1996年7月		耐用年数	31年	1996年7月		耐用年数	31年
40	耐震診断 / 耐震改修		不要		不要		不要		不要		不要		不要
41	その他特記事項												
42	主な建築・設備	建 築	屋根(ｶﾗｰ鉄板折版葺)				屋根(木毛ｾﾒﾝﾄ板)				屋根(カラー鉄板折版葺)		
			外壁(中空押出成形板)				外壁(中空押出成型板)				外壁(中空押出成形板)		
		電気設備	受変電設備機器(キュービクル式)				受変電設備機器(キュービクル式)				受変電設備機器(キュービクル式)		
			自動火災報知設備				自動火災報知設備				自動火災報知設備		
			電灯設備				弱電設備(拡声)				弱電設備(拡声)		
							電灯設備				電灯設備		
		機械設備					冷暖房設備(FFストーブ式)				冷暖房設備(FFストーブ式)		
							給水設備(水道直結方式)				給水設備(水道直結方式)		
			給水設備(水道直結方式)				排水設備(浄化槽)				排水設備(浄化槽)		
			排水設備(浄化槽)				給湯設備(局所式:ガス湯沸器)				給湯設備(局所式:ガス湯沸器)		
43	劣化度調査	建 築	経年劣化による機能低下が進行				経年劣化による機能低下が進行				経年劣化による機能低下が進行		
			しており、総合的な改修が必要				しており、総合的な改修が必要				しており、総合的な改修が必要		
		電気設備	経年劣化による機能低下が進行				経年劣化による機能低下が進行				経年劣化による機能低下が進行		
			しており、総合的な改修が必要				しており、総合的な改修が必要				しており、総合的な改修が必要		
		機械設備	経年劣化による機能低下が進行				経年劣化による機能低下が進行				経年劣化による機能低下が進行		
			しており、総合的な改修が必要				しており、総合的な改修が必要				しており、総合的な改修が必要		
44	定期点検	建 築					外壁破損				屋根鉄骨サビあり		
		電気設備	自動火災報知設備経年劣化による故障										
		機械設備											
45	改修・大規模修繕等工事履歴【百万円】	建 築											
		電気設備											
		機械設備											

34	番号:建物名称		19:流通実験、遺伝資源保存庫棟				20:病害虫隔離温室				21:生産環境調査棟		
35	構 造 / 種 目		S造		雑屋建		S造		雑屋建		RC造		雑屋建
36	階 数		地上	1 階	地下	0 階	地上	1 階	地下	0 階	地上	1 階	地下	0 階
37	建築面積		586.50 ㎡				200.70 ㎡				608.00 ㎡		
38	延床面積		552.00 ㎡				200.70 ㎡				608.00 ㎡		
39	建築年月		1996年11月		耐用年数	31年	1997年11月		耐用年数	31年	1997年12月		耐用年数	38年
40	耐震診断 / 耐震改修		不要		不要		不要		不要		不要		不要
41	その他特記事項												
42	主な建築・設備	建 築	金属(長尺カラー鉄板)				ガラス屋根・壁				金属(長尺ｶﾗｰ鉄板)		
			外壁(中空押出成形板)								外壁(ｾﾒﾝﾄ中空押出成型板)		
		電気設備	受変電設備機器(キュービクル式)				受変電設備機器(キュービクル式)				受変電設備機器(キュービクル式)		
			自動火災報知設備				自動火災報知設備				自動火災報知設備		
			弱電設備(拡声)				弱電設備(拡声)				弱電設備(拡声)		
			電灯設備				電灯設備				電灯設備		
		機械設備	冷暖房設備(FFストーブ式)				冷暖房設備(温水方式)				冷暖房設備(FFストーブ等)		
			給水設備(水道直結方式)				自動制御機器				給水設備(水道直結方式)		
			排水設備(浄化槽)								排水設備(浄化槽)		
			給湯設備(局所式:ガス湯沸器)								給湯設備(局所式:ガス湯沸器)		
43	劣化度調査	建 築	経年劣化による機能低下が進行				経年劣化による機能低下が進行				経年劣化による機能低下が進行		
			しており、総合的な改修が必要				しており、総合的な改修が必要				しており、総合的な改修が必要		
		電気設備	経年劣化による機能低下が進行				経年劣化による機能低下が進行				経年劣化による機能低下が進行		
			しており、総合的な改修が必要				しており、総合的な改修が必要				しており、総合的な改修が必要		
		機械設備	経年劣化による機能低下が進行				経年劣化による機能低下が進行				経年劣化による機能低下が進行		
			しており、総合的な改修が必要				しており、総合的な改修が必要				しており、総合的な改修が必要		
44	定期点検	建 築					屋根ガラスズレあり						
		電気設備											
		機械設備	冷蔵庫設備部品劣化による故障				冷暖房設備経年劣化による故障のため使用不可						
45	改修・大規模修繕等工事履歴【百万円】	建 築											
		電気設備											
		機械設備											

34	番号:建物名称		22:ドレンベッドハウス				23:栽培環境制御型温室					
35	構 造 / 種 目		S造		雑屋建		S造		雑屋建			
36	階 数		地上	1 階	地下	0 階	地上	1 階	地下	0 階	地上	地下
37	建築面積		388.80 ㎡				648.00 ㎡					
38	延床面積		388.00 ㎡				648.00 ㎡					
39	建築年月		2000年3月		耐用年数	31年	2018年3月		耐用年数	31年		耐用年数
40	耐震診断 / 耐震改修		不要		不要		不要		不要			
41	その他特記事項											
42	主な建築・設備	建 築										
		電気設備	受変電設備機器(キュービクル式)				受変電設備機器(キュービクル式)					
		機械設備					冷暖房設備(温風方式)					
							排水設備(浄化槽)					
43	劣化度調査	建 築										
		電気設備										
		機械設備										
44	定期点検	建 築										
		電気設備										
		機械設備										
45	改修・大規模修繕等工事履歴【百万円】	建 築										
		電気設備										
		機械設備										

46	直近5年の維持修繕・改修費	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計
	国庫						0百万円
	県債				54百万円	127百万円	181百万円
	一般財源			72百万円	105百万円	66百万円	243百万円
	その他						0百万円
	計	0百万円	0百万円	72百万円	159百万円	193百万円	424百万円

5 施設評価

	1次評価(定量評価)	評価・分析結果
47		
48	ソフト(利用状況×経費効率)	改善・見直し(経費効率)
49	ソフト×ハード(建物性能)	現状維持

2次評価(定性評価)	評価結果
施策上の必要性	高
代替の可能性	高

6 今後の方向性(たたき台)

54 施設全体の方針	機能の方向性	現状維持	建物の方向性	現状維持
	経年劣化による機能性低下が進行している。 大規模修繕を行いながら現状維持とするが、長寿命化を図りつつ、施設・設備の規模の見直しによる適正化を図っていくことが望ましい。			

7 長寿命化等対策の方向性等

56 長寿命化等対策の方向性	計画的な大規模改修等により長寿命化を図り、現施設での行政サービスを維持する。					
	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
57 主な維持修繕・改修の内容	・エレベーター修繕工事 ・温室設備機器交換修繕	・空調修繕 ・防水シート修繕 ・屋根、外壁修理等	・キュービクル設備修繕 ・複合防災盤交換修繕　等	・空調修繕 ・キュービクル設備修繕　等	・旧銘柄米開発研究室取壊 ・空調設備更新工事　等	
58 概算費用(見込)	53 百万円	190 百万円	125 百万円	361 百万円	260 百万円	989 百万円
国庫						0 百万円
県債	48 百万円					48 百万円
一般財源	5 百万円	190 百万円	125 百万円	361 百万円	260 百万円	941 百万円
その他						0 百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

岩手県公共施設カルテ（個表：庁舎等用）

No. 7

1 施設概要

1	施設名称	農業研究センター南部園芸研究室	策定年月	R3.3	最終更新	R7.12
2	所在地	陸前高田市米崎町字川崎238-4	施設類型	庁舎等	財産区分	行政財産
3	所管課	岩手県農業研究センター	運営形態	直営	防災施設等指定	非該当
4	都市計画区域	都市計画区域外	防火地域	指定なし	用途地域	指定なし
5	敷地面積	4,993.58 ㎡	建築面積	1,759.10 ㎡	延床面積	1,862.13 ㎡
6	竣工年度（建築年月）	2013年12月	経過年数（R7.4.1現在）	11 年	施設内棟数	9 棟
7	設置根拠	無				
8	設置目的	沿岸南部地域の気象条件を活用した産地育成のため、施設園芸の栽培技術の開発を目的として設置。				
9	施設の概況	平成25年（2013年）12月に竣工され、令和7年（2025年）4月で建築から11年を迎える。 東日本大震災津波により被災し、平成25年（2013年）に再建した。				
10	未利用設備	無		大規模改修	無	
10	使用許可等の有無	無				

12	主要棟	名称	本館			現況写真
13		構造	W造	種目	事務所建	
14		階数	地上 2階	地下	0階	
15		建築面積	216.13 ㎡	延床面積	329.16 ㎡	
16		建築年月日	2013年12月	法定耐用年数	24 年	
17		耐震診断	不要	耐震改修	不要	
18		その他特記事項				

2 利用状況

20	R5利用状況	開館日	平日（年末年始、休日を除く）		開館時間	8:30-17:15	
24		職員数	3 人		（職員数のうち団体等職員数）	0 人	
		職員数の推移（直近5年間）	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	増減率（R5/過去5年平均）
25			3人	3人	3人	3人	3人	0.0%
26		施設利用対象者マクロデータ ※県内人口	開設当時【A】（H25年10月時点） 1,294,453人		現　在【B】（R6年10月時点） 1,144,407人		増減率（マクロデータ）	▲ 11.6%

3 維持・管理費の状況（改修、大規模修繕などに含まれるものは除く）

（単位：千円）

行政コスト計算書	令和3年度	構成比	令和4年度	構成比	令和5年度	構成比
経常費用	**28,656**	**100.0%**	**28,736**	**100.0%**	**28,212**	**100.0%**
人件費	9,656	33.7%	9,736	33.9%	9,212	32.7%
物件費等	5,000	17.4%	5,000	17.4%	5,000	17.7%
維持修繕費	200	0.7%	200	0.7%	200	0.7%
減価償却費	13,800	48.2%	13,800	48.0%	13,800	48.9%
支払利息	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
臨時損失	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**
災害復旧事業費		0.0%		0.0%		0.0%
その他		0.0%		0.0%		0.0%
28 **支出合計**	**28,656**	**100.0%**	**28,736**	**100.0%**	**28,212**	**100.0%**
経常収益（直接的収入）	**0**	－	**0**	－	**0**	－
使用料・手数料		－		－		－
その他		－		－		－
臨時利益（直接的収入）	**0**	－	**0**	－	**0**	－
資産売却益		－		－		－
その他		－		－		－
補助金等（間接的収入）	**0**	－	**0**	－	**0**	－
国庫補助金		－		－		－
その他		－		－		－
収入合計	**0**	－	**0**	－	**0**	－
年間コスト	**▲ 28,656**		**▲ 28,736**		**▲ 28,212**	

29	年間利用者数	3	人	3	人	3	人
30	延床面積当たりコスト	15,389	円/㎡	15,432	円/㎡	15,150	円/㎡
31	利用者1人当たりコスト	9,552,000	円/人	9,578,667	円/人	9,404,000	円/人
32	（参考）県民1人当たりコスト	24	円/人	24	円/人	24	円/人
33	有形固定資産減価償却率	44.3	%	49.8	%	55.4	%

（参考）岩手県の人口

（単位：人）

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

4 施設内建物の概要

34	番号:建物名称		1:本館				2:圃場管理・農機具庫棟					
35	構 造 / 種 目		W造		事務所建		W造		倉庫建			
36	階 数		地上	2 階	地下	0 階	地上	1 階	地下	0 階	地上	地下
37	建築面積		216.13 ㎡				397.81 ㎡					
38	延床面積		329.16 ㎡				387.81 ㎡					
39	建築年月		2013年12月		耐用年数	24年	2013年12月		耐用年数	15年		耐用年数
40	耐震診断 / 耐震改修		不要		不要		不要		不要			
41	その他特記事項											
42	主な建築・設備	建 築	屋根(長尺ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板)				屋根(長尺ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板)					
			外壁(窯業系ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞ)				外壁(窯業系ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞ)					
		電気設備	受変電設備(キュービクル式)				受変電設備(キュービクル式)					
			自動火災報知設備				弱電設備(拡声)					
			弱電設備(拡声)									
		機械設備	冷暖房設備(FFストーブ・エアコン等)				冷暖房設備(FFストーブ・エアコン等)					
			空調機器(ファンコイルユニット)				空調機器(ファンコイルユニット)					
			給水設備(加圧送水方式)				給水設備(加圧送水方式)					
			排水設備(浄化槽)				排水設備(浄化槽)					
43	劣化度調査	建 築										
		電気設備										
		機械設備										
44	定期点検	建 築										
		電気設備										
		機械設備										
45	改修・大規模修繕等工事履歴【百万円】	建 築										
		電気設備										
		機械設備					水抜き栓交換修繕(R4)【1】					

46	直近5年の維持修繕・改修費	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計
	国庫						0百万円
	県債						0百万円
	一般財源			1百万円			1百万円
	その他						0百万円
	計	0百万円	0百万円	1百万円	0百万円	0百万円	1百万円

5 施設評価

	1次評価(定量評価)	評価・分析結果
47	ソフト(利用状況×経費効率)	改善・見直し(経費効率)
48	ソフト×ハード(建物性能)	現状維持

2次評価(定性評価)	評価結果
施策上の必要性	高
代替の可能性	高

6 今後の方向性(たたき台)

54	施設全体の方針	機能の方向性	現状維持	建物の方向性	現状維持
		設置から施設の使用状況は変わっておらず、現状では、小規模修繕を行いながら現状維持とするが、施設・設備の規模の見直しによる適正化を図っていくことが望ましい。			

7 長寿命化等対策の方向性等

56	長寿命化等対策の方向性	計画的な維持管理により、施設機能を維持。					
		令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
57	主な維持修繕・改修の内容		・電気設備修繕 ・機械設備修繕(ハウス設備含む)	・電気設備修繕 ・機械設備修繕(ハウス設備含む)	・電気設備修繕 ・機械設備修繕(ハウス設備含む)	・屋根、外壁修繕 ・電気設備修繕 ・機械設備修繕	
58	概算費用(見込)	0 百万円	1 百万円	1 百万円	1 百万円	1 百万円	4 百万円
	国庫						0 百万円
	県債						0 百万円
	一般財源		1 百万円	1 百万円	1 百万円	1 百万円	4 百万円
	その他						0 百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

岩手県公共施設カルテ（個表：庁舎等用）

No. 8

1 施設概要

1	施設名称	農業研究センター県北農業研究所	策定年月	R3.3	最終更新	R7.12
2	所在地	九戸郡軽米町大字山内23地割9番1号	施設類型	庁舎等	財産区分	行政財産
3	所管課	農業研究センター県北農業研究所	運営形態	直営	防災施設等指定	該当
4	都市計画区域	都市計画区域外	防火地域	指定なし	用途地域	指定なし
5	敷地面積	200,753.68 ㎡	建築面積	5,686.68 ㎡	延床面積	6,942.03 ㎡
6	竣工年度（建築年月）	1997年3月	経過年数（R7.4.1現在）	28 年	施設内棟数	16 棟
7	設置根拠	無				
8	設置目的	県北・沿岸地域等の中山間地域における生産性・収益性の高い営農の実現に向けた技術開発を行う。				
9	施設の概況	平成9（1997年）3月に竣工され、令和7年（2025年）4月で建築から28年を迎える。 岩手県農業研究センター県北農業研究所は、農業研究センターが、顧客ニーズに応えるとともに、産業としての農業への貢献を果たすことを目的として組織再編されることに伴い、県北地域の農業振興を支援する研究機関として機能している。。 当研究所では、「いわて県民計画（2019-2028）」に掲げる『収益力の高い「食料・木材供給基地」』等の実現に向け、「『農林水産技術立県いわて』技術開発基本方針」に即し、「北いわて産業・社会革新ゾーンプロジェクト」等に参画しながら、当センターが作成した具体的なアクションプラン「岩手県農業研究センター試験研究推進計画」に基づき、以下の事項に取り組んでいる。 ・水稲、雑穀の高付加価値化を図る品種育成 ・地域の立地特性に対応した果樹・野菜の安定生産技術及び県北地域に適した環境制御技術の確立 ・スマート農業技術などの活用による省力化や作業の高精度化を図る生産技術の開発 ・特産作物（大豆、小麦、雑穀等）の安定生産技術開発				
10	未利用設備	有	便所（屋外）	大規模改修	有	
10	使用許可等の有無	有	自動販売機の行政財産使用許可			

12	主要棟	名称	本館		現況写真	
13		構造	RC造	種目	事務所建	
14		階数	地上 3階	地下 —		
15		建築面積	1,448.44 ㎡	延床面積	2,795.52 ㎡	
16		建築年月日	1997年3月	法定耐用年数	50 年	
17		耐震診断	不要	耐震改修	不要	
18		その他特記事項				

2 利用状況

20	R5利用状況	開館日	平日（年末年始、休日を除く）		開館時間	8:30-17:15	
24		職員数	18 人		（職員数のうち団体等職員数）	0 人	
		職員数の推移（直近5年間）	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	増減率（R5/過去5年平均）
25			21人	18人	18人	18人	18人	▲ 3.2%
26		施設利用対象者マクロデータ ※県内人口	開設当時【A】（H9年10月時点）	1,419,161人	現　在【B】（R6年10月時点）	1,144,407人	増減率（マクロデータ）	▲ 19.4%

3 維持・管理費の状況（改修、大規模修繕などに含まれるものは除く）

（単位：千円）

行政コスト計算書	令和3年度	構成比	令和4年度	構成比	令和5年度	構成比
経常費用	**83,113**	**100.0%**	**81,759**	**100.0%**	**96,844**	**100.0%**
人件費	18,598	22.4%	19,383	23.7%	18,235	18.8%
物件費等	21,116	25.4%	17,566	21.5%	27,147	28.0%
維持修繕費		0.0%	1,566	1.9%	8,218	8.5%
減価償却費	43,399	52.2%	43,244	52.9%	43,244	44.7%
支払利息		0.0%		0.0%		0.0%
臨時損失	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**
災害復旧事業費		0.0%		0.0%		0.0%
その他		0.0%		0.0%		0.0%
28 **支出合計**	**83,113**	**100.0%**	**81,759**	**100.0%**	**96,844**	**100.0%**
経常収益（直接的収入）	**2,157**	**100.0%**	**2,297**	**100.0%**	**2,211**	**100.0%**
使用料・手数料	2,157	100.0%	2,297	100.0%	2,211	100.0%
その他		0.0%		0.0%		0.0%
臨時利益（直接的収入）	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**
資産売却益		0.0%		0.0%		0.0%
その他		0.0%		0.0%		0.0%
補助金等（間接的収入）	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**
国庫補助金		0.0%		0.0%		0.0%
その他		0.0%		0.0%		0.0%
収入合計	**2,157**	**100.0%**	**2,297**	**100.0%**	**2,211**	**100.0%**
年間コスト	**▲ 80,956**		**▲ 79,462**		**▲ 94,633**	

29	年間利用者数	18	人	18	人	18	人
30	延床面積当たりコスト	11,662	円/㎡	11,447	円/㎡	13,632	円/㎡
31	利用者1人当たりコスト	4,497,556	円/人	4,414,556	円/人	5,257,389	円/人
32	（参考）県民1人当たりコスト	68	円/人	67	円/人	81	円/人
33	有形固定資産減価償却率	57.0	%	59.3	%	61.6	%

（参考）岩手県の人口　（単位：人）

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

4 施設内建物の概要

34	番号:建物名称		1:本館				2:車庫				3:作物収納舎	
35	構 造 / 種 目		RC造		事務所建		S造		倉庫建		S造	雑屋建
36	階 数		地上	3 階	地下		地上	1 階	地下		地上 1 階	地下
37	建築面積		1,448.44 ㎡				223.34 ㎡				693.16 ㎡	
38	延床面積		2,795.52 ㎡				223.34 ㎡				687.06 ㎡	
39	建築年月		1997年3月		耐用年数	50年	1997年3月		耐用年数	31年	1997年3月	耐用年数 31年
40	耐震診断 / 耐震改修		不要		不要		不要		不要		不要	不要
41	その他特記事項											
42	主な建築・設備	建 築	屋根金属、押えコンクリートのまま				屋根カラー鋼板折版葺				屋根カラー鉄板横葺	
			外壁コンクリート打放(＋吹付)				外壁腰壁成形セメント板				外壁腰壁成形セメント板	
							外壁腰角波カラー鉄板				外壁腰角波カラー鉄板	
		電気設備	受変電キュービクル				電灯設備				電灯設備	
			自家発電機				自動火災報知設備				自動火災報知設備	
			電話交換機設備				非常警報設備				非常警報設備	
			エレベーター				拡声設備(構内放送設備)				拡声設備(構内放送設備)	
		機械設備	直吸収冷温水機				給水設備(高置水槽方式)				冷暖房設備(FFストーブ等)	
			ファンコイルユニット				消火設備(粉末消化)				給水設備(加圧送水方式)	
			各種ポンプ、タンク類								給湯設備(局所式ガス湯沸器)	
			液化石油ガス								消火設備(粉末消化)	
43	劣化度調査	建 築	屋根経年劣化				屋根経年劣化				屋根経年劣化	
							オーバースライダー動作不良				オーバースライダー動作不良	
											壁・床ひび割れ等	
		電気設備	照明設備安定器故障				—				—	
			受変電キュービクル経年劣化									
			エレベーター更新									
		機械設備	冷却水ポンプ動作不良				—				—	
			直吸収冷温水機部品交換									
44	定期点検	建 築					折板屋根軒折れ					
		電気設備										
		機械設備					指摘なし					
45	改修・大規模修繕等工事履歴【百万円】	建 築										
		電気設備	自動火災報知設備更新(R5)【8】				自動火災報知設備更新(R5)【8】				自動火災報知設備更新(R5)【8】	
		機械設備	中央監視装置更新(R元)【5】									
			トイレ改修(R3)【1】									

34	番号:建物名称		4:園芸収納舎				5:穀物乾燥・作物調査棟				6:蚕飼育棟		
35	構 造 / 種 目		S造		雑屋建		S造		倉庫建		S造		雑屋建
36	階 数		地上	2 階	地下	0 階	地上	2 階	地下	0 階	地上	1 階	地下	0 階
37	建築面積		392.82 ㎡				740.25 ㎡				297.65 ㎡		
38	延床面積		352.82 ㎡				740.25 ㎡				297.65 ㎡		
39	建築年月		1997年3月		耐用年数	31年	1997年3月		耐用年数	31年	1997年3月		耐用年数	31年
40	耐震診断 / 耐震改修		不要		不要		不要		不要		不要		不要
41	その他特記事項												
42	主な建築・設備	建 築	屋根長尺カラー鉄板横葺				屋根長尺カラー鉄板横葺				屋根長尺カラー鉄板横葺		
			外壁腰壁成形セメント板				外壁腰壁成形セメント板				外壁腰壁成形セメント板		
			外壁腰角波カラー鉄板				外壁腰角波カラー鉄板				外壁腰角波カラー鉄板		
		電気設備	電灯設備				電灯設備				電灯設備		
			自動火災報知設備				自動火災報知設備				自動火災報知設備		
			非常警報設備				非常警報設備				非常警報設備		
			拡声設備(構内放送設備)				拡声設備(構内放送設備)				拡声設備(構内放送設備)		
		機械設備	冷暖房設備(FFストーブ等)				冷暖房設備(FFストーブ等)				冷暖房設備(FFストーブ等)		
			給水設備(加圧送水方式)				給水設備(加圧送水方式)				給水設備(加圧送水方式)		
			給湯設備(局所式)				消火設備(粉末消化)				給湯設備(局所式ガス湯沸器)		
			消火設備(粉末消化)								消火設備(粉末消化)		
43	劣化度調査	建 築	屋根経年劣化				屋根経年劣化				屋根経年劣化		
			オーバースライダー動作不良				オーバースライダー動作不良				壁・床ひび割れ他		
			壁・床ひび割れ他				雨樋一部破損						
		電気設備											
		機械設備											
44	定期点検	建 築					外壁破損、シーリング劣化、階段錆、樋破損						
		電気設備											
		機械設備					指摘なし						
45	改修・大規模修繕等工事履歴【百万円】	建 築											
		電気設備	自動火災報知設備更新(R5)【8】				自動火災報知設備更新(R5)【8】				自動火災報知設備更新(R5)【8】		
		機械設備											

34	番号:建物名称		7:肥料・農薬・農具庫				8:機械格納庫				9:種苗ハウス		
35	構 造 / 種 目		S造		倉庫建		S造		倉庫建		S造		雑屋建
36	階 数		地上	1 階	地下	0 階	地上	1 階	地下	0 階	地上	1 階	地下	0 階
37	建築面積		273.68 ㎡				732.63 ㎡				206.88 ㎡		
38	延床面積		253.68 ㎡				732.63 ㎡				206.88 ㎡		
39	建築年月		1997年3月		耐用年数	31年	1997年3月		耐用年数	31年	1997年3月		耐用年数	31年
40	耐震診断 / 耐震改修		不要		不要		不要		不要		不要		不要
41	その他特記事項												
42	主な建築・設備	建 築	屋根長尺カラー鉄板横葺				屋根カラー鉄板				屋根長尺カラー鋼板		
			外壁腰壁成形セメント板				外壁腰壁成形セメント板				外壁角波カラー鋼板		
			外壁腰角波カラー鉄板				外壁腰角波カラー鉄板						
		電気設備	電灯設備				電灯設備				電灯設備		
			自動火災報知設備				自動火災報知設備						
			非常警報設備				非常警報設備						
			拡声設備(構内放送設備)				拡声設備(構内放送設備)						
		機械設備	給水設備(加圧送水方式)				給水設備(加圧送水方式)				給水設備(加圧送水方式)		
			消火設備(粉末消化)				消火設備(粉末消化)						
43	劣化度調査	建 築	屋根経年劣化				屋根経年劣化				屋根経年劣化		
			オーバースライダー動作不良				オーバースライダー動作不良				壁ひび割れ		
			壁・床ひび割れ他				壁・床ひび割れ他						
		電気設備											
		機械設備											
44	定期点検	建 築	鉄骨柱錆				外壁破損、軒先カバー脱落						
		電気設備											
		機械設備											
45	改修・大規模修繕等工事履歴【百万円】	建 築											
		電気設備	自動火災報知設備更新(R5)【8】				自動火災報知設備更新(R5)【8】						
		機械設備											

34	番号:建物名称		11:堆肥舎				12:環境制御型園芸温室					
35	構 造 / 種 目		W造		雑屋建		S造		雑屋建			
36	階 数		地上	1 階	地下		地上	1 階	地下		地上	地下
37	建築面積		254.73 ㎡				324.00 ㎡					
38	延床面積		254.73 ㎡				324.00 ㎡					
39	建築年月		2011年12月		耐用年数	15年	2021年2月		耐用年数	31年		耐用年数
40	耐震診断 / 耐震改修		不要		不要		不要		不要			
41	その他特記事項											
42	主な建築・設備	建 築	屋根ポリカーボネート小波葺				屋根フッソフィルム					
			外壁腰壁コンクリート打放し				外壁POフィルム					
			外壁東面、南面ポリカーボネート小波葺									
		電気設備					電灯設備					
		機械設備					冷暖房設備(FFストーブ等)					
							熱源設備(チップボイラー)					
							給水設備(加圧送水方式)					
							消火設備(粉末消化)					
43	劣化度調査	建 築	内外壁クラック									
		電気設備										
		機械設備										
44	定期点検	建 築										
		電気設備										
		機械設備										
45	改修・大規模修繕等工事履歴【百万円】	建 築										
		電気設備										
		機械設備										
46	直近5年の維持修繕・改修費		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	合計
	国庫											0百万円
	県債											0百万円
	一般財源		1百万円		1百万円		1百万円		14百万円		4百万円	21百万円
	その他											0百万円
	計		1百万円		1百万円		1百万円		14百万円		4百万円	21百万円

5 施設評価

	1次評価(定量評価)	評価・分析結果
47	ソフト(利用状況×経費効率)	改善・見直し(経費効率)
48	ソフト×ハード(建物性能)	改善・見直し(複合化等)

2次評価(定性評価)	評価結果
施策上の必要性	高
代替の可能性	高

6 今後の方向性(たたき台)

54 施設全体の方針	機能の方向性	現状維持	建物の方向性	現状維持
	県北地域の特性を生かした本県農業の持続的な発展を図るため、当所を拠点に、研究体制の整備と農業実践者の育成を進めていることから現施設での行政サービスの維持は必要であり、計画的な大規模修繕等により施設機能を維持する。			

7 長寿命化等対策の方向性等

56 長寿命化等対策の方向性	建築後25年以上が経過していることから、定期点検や日常点検等により施設の劣化状況の把握に努め、計画的な維持管理により、コスト縮減・財政負担の平準化を考慮しながら長寿命化を図る。					
57 主な維持修繕・改修の内容	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
	・冷温水ポンプ取替 ・浄化槽ばっ気ブロワー取替 ・プレハブ冷蔵庫冷却ユニット修繕	屋根防水改修 電話交換機更新	キュービクル機器更新(高圧機器、高圧気中開閉器及びスコット変圧器更新)	冷温水発生機分解整備 オーバースライダー改修	照明設備改修(LED化)	
58 概算費用(見込)	3 百万円	6 百万円	8 百万円	21 百万円	137 百万円	175 百万円
国庫						0 百万円
県債						0 百万円
一般財源	3 百万円	6 百万円	8 百万円	21 百万円	137 百万円	175 百万円
その他						0 百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

岩手県公共施設カルテ（個表：庁舎等用）

No. 9

1 施設概要

1	施設名称	畜産研究所	策定年月	R3.3	最終更新	R7.12
2	所在地	滝沢市砂込737番1	施設類型	庁舎等	財産区分	行政財産
3	所管課	農業研究センター畜産研究所	運営形態	直営	防災施設等指定	非該当
4	都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	指定なし
5	敷地面積	380,666.19 ㎡	建築面積	23,318.07 ㎡	延床面積	24,052.44 ㎡
6	竣工年度（建築年月）	1998年6月	経過年数（R7.4.1現在）	26 年	施設内棟数	93 棟
7	設置根拠	無				
8	設置目的	本県の農業生産額の過半を占める畜産業の振興及び畜産農家所得向上のため、効率的な家畜飼養技術の開発に直結する試験研究を行うことを目的に設置。				
9	施設の概況	平成10年（1998年）6月に竣工され、令和7年（2025年）で建築から26年を迎える。 試験研究に用いる乳牛、肉牛、豚、鶏の飼育管理、家畜に給与する牧草サイレージ用の飼料生産、家畜糞尿の堆肥化処理を実施している。				
10	未利用設備	無	大規模改修	有		
10	使用許可等の有無	無				

12	主要棟	名称	庁舎			
13		構造	RC造	種目	事務所建	
14		階数	地上 2階	地下	0階	
15		建築面積	1,267.77 ㎡	延床面積	2,238.26 ㎡	
16		建築年月日	1998年6月	法定耐用年数	50 年	
17		耐震診断	不要	耐震改修	不要	
18		その他特記事項				

現況写真

2 利用状況

20	R5利用状況	開館日	365日		開館時間	8:30～17:15	
24		職員数	82 人		（職員数のうち団体等職員数）	0 人	
		職員数の推移（直近5年間）	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	増減率（R5/過去5年平均）
25			86人	86人	86人	81人	82人	▲ 2.6%
26		施設利用対象者マクロデータ ※振興局管内人口	開設当時【A】（S44年10月時点）	363,581人	現　在【B】（R7年4月時点）	447,193人	増減率（マクロデータ）	0.2

3 維持・管理費の状況（改修、大規模修繕などに含まれるものは除く）

（単位：千円）

行政コスト計算書	令和3年度	構成比	令和4年度	構成比	令和5年度	構成比
経常費用	**424,711**	**100.0%**	**445,315**	**100.0%**	**435,111**	**100.0%**
人件費	312,941	73.7%	334,787	75.2%	327,765	75.3%
物件費等	52,781	12.4%	38,053	8.5%	45,833	10.5%
維持修繕費	2,426	0.6%	15,029	3.4%	4,071	0.9%
減価償却費	56,563	13.3%	57,446	12.9%	57,442	13.2%
支払利息		0.0%		0.0%		0.0%
臨時損失	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**
災害復旧事業費		0.0%		0.0%		0.0%
その他		0.0%		0.0%		0.0%
28 **支出合計**	**424,711**	**100.0%**	**445,315**	**100.0%**	**435,111**	**100.0%**
経常収益（直接的収入）	**100,676**	**100.0%**	**71,768**	**100.0%**	**84,088**	**100.0%**
使用料・手数料	1,249	1.2%	1,199	1.7%	1,067	1.3%
その他	99,427	98.8%	70,569	98.3%	83,021	98.7%
臨時利益（直接的収入）	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**
資産売却益		0.0%		0.0%		0.0%
その他		0.0%		0.0%		0.0%
補助金等（間接的収入）	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**
国庫補助金		0.0%		0.0%		0.0%
その他		0.0%		0.0%		0.0%
収入合計	**100,676**	**100.0%**	**71,768**	**100.0%**	**84,088**	**100.0%**
年間コスト	**▲ 324,035**		**▲ 373,547**		**▲ 351,023**	

29	年間利用者数	81	人	82	人	82	人
30	延床面積当たりコスト	13,472	円/㎡	15,531	円/㎡	14,594	円/㎡
31	利用者1人当たりコスト	4,000,432	円/人	4,555,451	円/人	4,280,768	円/人
32	（参考）県民1人当たりコスト	271	円/人	316	円/人	302	円/人
33	有形固定資産減価償却率	84.6	%	85.9	%	87.3	%

（参考）岩手県の人口

（単位：人）

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

4 施設内建物の概要

34	番号:建物名称		1:乳牛舎				2:体外受精技術技術研究棟				3:搾乳牛舎			
35	構 造 / 種 目		W造		雑屋建		RC造		雑屋建		W造		雑屋建	
36	階 数		地上	1 階	地下	0 階	地上	1 階	地下	0 階	地上	1 階	地下	0 階
37	建築面積		661.09 ㎡				306.07 ㎡				247.32 ㎡			
38	延床面積		661.09 ㎡				285.76 ㎡				245.34 ㎡			
39	建築年月		1985年9月		耐用年数	15年	1993年3月		耐用年数	38年	1993年3月		耐用年数	15年
40	耐震診断 / 耐震改修		不要		不要		不要		不要		不要		不要	
41	その他特記事項													
42	主な建築・設備	建 築	屋根 金属				屋根 シート防水				屋根 金属			
			床 コンクリート直均し等								床 コンクリート直均し等			
		電気設備	電灯設備				電灯設備				電灯設備			
											弱電設備			
		機械設備	給水設備(加圧送水方式)				冷暖房設備(エアコン等)				給水設備(加圧送水方式)			
							給水設備(加圧送水方式)				配水設備(浄化槽)			
							排水設備(浄化槽)				消火設備(屋外消火栓)			
							給湯設備(ガス湯沸器)							
43	劣化度調査	建 築	支柱基部腐食								支柱基部腐食			
		電気設備	一部スイッチ不良								一部スイッチ不良			
		機械設備	ポンプの経年劣化による機能低下				ポンプの経年劣化による機能低下				ポンプの経年劣化による機能低下			
44	定期点検	建 築												
		電気設備												
		機械設備												
45	改修・大規模修繕等工事履歴【百万円】	建 築					屋根修理(H30)【7】							
		電気設備												
		機械設備												

34	番号:建物名称		4:フリーストール牛舎				5:フリーストール牛舎				6:種雄牛舎		
35	構 造 / 種 目		W造		雑屋建		W造		雑屋建		W造		雑屋建
36	階 数		地上	1 階	地下	0 階	地上	1 階	地下	0 階	地上	1 階	地下	0 階
37	建築面積		299.70 ㎡				299.70 ㎡				449.80 ㎡		
38	延床面積		294.52 ㎡				294.52 ㎡				430.92 ㎡		
39	建築年月		1993年3月		耐用年数	15年	1993年3月		耐用年数	15年	1995年9月		耐用年数	15年
40	耐震診断 / 耐震改修		不要		不要		不要		不要		不要		不要
41	その他特記事項												
42	主な建築・設備	建 築	屋根 金属				屋根 金属				床 コンクリート直均し等		
			床 コンクリート直均し等				床 コンクリート直均し等						
		電気設備	電灯設備				電灯設備				変電設備(屋内形)		
											電灯設備		
		機械設備	給水設備(加圧送水方式)				給水設備(加圧送水方式)				給水設備(加圧送水方式)		
			消火設備(屋外消火栓)				消火設備(屋外消火栓)				給湯設備(ガス湯沸器)		
											消火設備(屋外消火栓)		
43	劣化度調査	建 築	支柱基部腐食				支柱基部腐食				シャッター不具合		
		電気設備	一部スイッチ不良				一部スイッチ不良						
		機械設備	ポンプの経年劣化による機能低下				ポンプの経年劣化による機能低下				ポンプの経年劣化による機能低下		
44	定期点検	建 築											
		電気設備											
		機械設備											
45	改修・大規模修繕等工事履歴【百万円】	建 築	餌槽、連動スタンチョンの改修(R4)【3】				餌槽、連動スタンチョンの改修(R4)【3】						
		電気設備											
		機械設備											

34	番号:建物名称		7:隔離豚舎				8:直接検定牛舎				9:間接検定牛舎			
35	構 造 / 種 目		S造		雑屋建		W造		雑屋建		W造		雑屋建	
36	階 数		地上	1 階	地下	0 階	地上	1 階	地下	0 階	地上	1 階	地下	0 階
37	建築面積		564.24 ㎡				698.56 ㎡				805.45 ㎡			
38	延床面積		564.24 ㎡				673.92 ㎡				777.24 ㎡			
39	建築年月		1995年9月		耐用年数	31年	1995年12月		耐用年数	15年	1995年12月		耐用年数	15年
40	耐震診断 / 耐震改修		不要		不要		不要		不要		不要		不要	
41	その他特記事項													
42	主な建築・設備	建 築	床 コンクリート直均し等				床 コンクリート直均し等				床 コンクリート直均し等			
		電気設備	変電設備(屋内形)				変電設備(屋内形)				変電設備(屋内形)			
			電灯設備				電灯設備				電灯設備			
		機械設備	給水設備(加圧送水方式)				給水設備(加圧送水方式)				給水設備(加圧送水方式)			
			給油設備(ガス給湯器)											
43	劣化度調査	建 築												
		電気設備												
		機械設備	ポンプの経年劣化による機能低下				ポンプの経年劣化による機能低下				ポンプの経年劣化による機能低下			
44	定期点検	建 築												
		電気設備												
		機械設備												
45	改修・大規模修繕等工事履歴【百万円】	建 築					パドック屋根倒壊防止修理(R6)【6】							
		電気設備												
		機械設備												

34	番号:建物名称		10:多胎妊娠牛舎				11:哺育育成牛舎				12:肥育試験牛舎		
35	構 造 / 種 目		W造		雑屋建		W造		雑屋建		W造	雑屋建	
36	階 数		地上	1 階	地下	0 階	地上	1 階	地下	0 階	地上	1 階	地下	0 階
37	建築面積		412.72 ㎡				312.82 ㎡				730.24 ㎡		
38	延床面積		393.66 ㎡				296.46 ㎡				699.84 ㎡		
39	建築年月		1995年12月		耐用年数	15年	1995年12月		耐用年数	15年	1995年12月	耐用年数	15年
40	耐震診断 / 耐震改修		不要		不要		不要		不要		不要	不要	
41	その他特記事項												
42	主な建築・設備	建 築	床 コンクリート直均し等				床 コンクリート直均し等				床 コンクリート直均し等		
		電気設備	電灯設備				電灯設備				変電設備(屋内形)		
											電灯設備		
		機械設備	冷暖房設備(FFストーブ等)				給水設備(加圧送水方式)				給水設備(加圧送水方式)		
			給水設備(加圧送水方式)								給湯設備(無圧式温水発生器)		
			給湯設備(ガス湯沸器)										
43	劣化度調査	建 築									パドック屋根倒壊(H30)		
		電気設備	ポンプの経年劣化による機能低下				ポンプの経年劣化による機能低下				ポンプの経年劣化による機能低下		
		機械設備											
44	定期点検	建 築											
		電気設備											
		機械設備											
45	改修・大規模修繕等工事履歴【百万円】	建 築											
		電気設備											
		機械設備											

34	番号:建物名称		13:育成試験牛舎				14:養鶏施設管理棟				15:養鶏施設環境育種研究棟		
35	構 造 / 種 目		W造		雑屋建		S造		事務所建		S造		雑屋建
36	階 数		地上	1 階	地下	0 階	地上	1 階	地下	0 階	地上	1 階	地下	0 階
37	建築面積		695.68 ㎡				264.95 ㎡				843.96 ㎡		
38	延床面積		667.44 ㎡				257.75 ㎡				843.96 ㎡		
39	建築年月		1995年12月		耐用年数	15年	1995年12月		耐用年数	38年	1995年12月		耐用年数	31年
40	耐震診断 / 耐震改修		不要		不要		不要		不要		不要		不要
41	その他特記事項												
42	主な建築・設備	建 築	床コンクリート直均し等				床コンクリート直均し等				床コンクリート直均し等		
		電気設備	変電設備(屋内形)				変電設備(屋内形)				変電設備(屋内形)		
			電灯設備				電灯設備				電灯設備		
		機械設備	給水設備(加圧送水方式)				冷暖房設備(エアコン等)				冷暖房設備(エアコン等)		
							給水設備(加圧送水方式)				給水設備(加圧送水方式)		
							排水設備(浄化槽)						
							給湯設備(ガス湯沸器)						
43	劣化度調査	建 築											
		電気設備											
		機械設備	ポンプの経年劣化による機能低下										
44	定期点検	建 築											
		電気設備											
		機械設備											
45	改修・大規模修繕等工事履歴【百万円】	建 築									鶏舎飼育施設床面スノコ修繕(R5)【4】		
		電気設備											
		機械設備									鶏舎・豚舎施設除糞機修繕(R3)【8】		

34	番号:建物名称		16:養鶏施設育雛研究棟				17:養鶏施設種鶏研究棟				18:種豚舎		
35	構 造 / 種 目		S造		雑屋建		S造		雑屋建		S造		雑屋建
36	階 数		地上	1 階	地下	0 階	地上	1 階	地下	0 階	地上	1 階	地下	0 階
37	建築面積		764.46 ㎡				996.19 ㎡				624.91 ㎡		
38	延床面積		764.46 ㎡				996.19 ㎡				624.91 ㎡		
39	建築年月		1995年12月		耐用年数	31年	1995年12月		耐用年数	31年	1995年12月		耐用年数	31年
40	耐震診断 / 耐震改修		不要		不要		不要		不要		不要		不要
41	その他特記事項												
42	主な建築・設備	建 築	床コンクリート直均し等				床コンクリート直均し等				屋根金属		
											床コンクリート直均し等		
		電気設備	変電設備(屋内形)				変電設備(屋内形)				変電設備(屋内形)		
			電灯設備				電灯設備				電灯設備		
		機械設備	空調・放熱器(パネルヒーター)				給水設備(加圧送水方式)				給水設備(加圧送水方式)		
			給水設備(加圧送水方式)								配水設備(浄化槽)		
			給湯設備(局所式)										
43	劣化度調査	建 築									内壁ウレタン剥がれ		
		電気設備									照明器具一部故障		
		機械設備											
44	定期点検	建 築											
		電気設備											
		機械設備											
45	改修・大規模修繕等工事履歴【百万円】	建 築	鶏舎の床面スノコ修繕(R5)【2】				鶏舎の床面スノコ修繕(R5)【2】				種豚舎修繕(R3)【3】		
		電気設備											
		機械設備											

34	番号:建物名称		19:養豚施設分娩哺育舎				20:養豚施設環境哺育舎				21:交配豚舎		
35	構 造 / 種 目		S造		雑屋建		S造		雑屋建		S造		雑屋建
36	階 数		地上	1 階	地下	0 階	地上	1 階	地下	0 階	地上	1 階	地下	0 階
37	建築面積		659.36 ㎡				326.48 ㎡				318.08 ㎡		
38	延床面積		659.36 ㎡				326.48 ㎡				318.08 ㎡		
39	建築年月		1995年12月		耐用年数	31年	1995年12月		耐用年数	31年	1995年12月		耐用年数	31年
40	耐震診断 / 耐震改修		不要		不要		不要		不要		不要		不要
41	その他特記事項												
42	主な建築・設備	建 築	屋根金属				屋根金属				屋根金属		
			床コンクリート直均し等				床コンクリート直均し等				床コンクリート直均し等		
		電気設備	変電設備(屋内形)				変電設備(屋内形)				変電設備(屋内形)		
			電灯設備				電灯設備				電灯設備		
		機械設備	冷暖房設備(FFストーブ等)				冷暖房設備(FFストーブ等)				給水設備(加圧送水方式)		
			熱源設備(その他)				熱源設備(その他)				排水設備(浄化槽)		
			給水設備(加圧送水方式)				給水設備(加圧送水方式)						
			排水設備(浄化槽)				排水設備(浄化槽)						
43	劣化度調査	建 築	金属壁面腐食				金属壁面腐食				金属壁面腐食		
		電気設備	照明器具一部故障				照明器具一部故障				照明器具一部故障		
		機械設備											
44	定期点検	建 築											
		電気設備											
		機械設備											
45	改修・大規模修繕等工事履歴【百万円】	建 築	分娩舎修繕(R3)【3】										
		電気設備											
		機械設備											

34	番号:建物名称		22:養豚施設雄産肉検定舎				23:養豚施設雌検定舎				24:円形発酵槽棟		
35	構 造 / 種 目		S造		雑屋建		S造		雑屋建		S造		雑屋建
36	階 数		地上	1 階	地下	0 階	地上	1 階	地下	0 階	地上	1 階	地下	0 階
37	建築面積		856.37 ㎡				573.39 ㎡				540.00 ㎡		
38	延床面積		856.37 ㎡				573.39 ㎡				540.00 ㎡		
39	建築年月		1995年12月		耐用年数	31年	1995年12月		耐用年数	31年	1996年3月		耐用年数	31年
40	耐震診断 / 耐震改修		不要		不要		不要		不要		不要		不要
41	その他特記事項												
42	主な建築・設備	建 築	屋根金属				屋根金属				屋根金属		
			床コンクリート直均し等				床コンクリート直均し等				床コンクリート直均し等		
		電気設備	変電設備(屋内形)				変電設備(屋内形)						
			電灯設備				電灯設備						
		機械設備	冷暖房設備(FFストーブ等)				冷暖房設備(FFストーブ等)						
			熱源設備(その他)、				熱源設備(その他)、						
			給水設備(加圧送水方式)				給水設備(加圧送水方式)						
			排水設備(浄化槽)				排水設備(浄化槽)						
43	劣化度調査	建 築	金属壁面一部腐食				金属壁面一部腐食				支柱基部腐食		
		電気設備	照明器具一部故障				照明器具一部故障				一部スイッチ不良		
		機械設備											
44	定期点検	建 築											
		電気設備											
		機械設備											
45	改修・大規模修繕等工事履歴【百万円】	建 築											
		電気設備											
		機械設備									車輪、撹拌バー、チェーン・ギア		
											堆肥化処理施設修繕(R3)【10】		

34	番号:建物名称		25:堆肥熟成場				26:製品置場				27:農業機械格納庫		
35	構 造 / 種 目		S造		雑屋建		S造		雑屋建		S造		倉庫建
36	階 数		地上	1 階	地下	0 階	地上	1 階	地下	0 階	地上	1 階	地下	0 階
37	建築面積		400.00 ㎡				400.00 ㎡				567.96 ㎡		
38	延床面積		400.00 ㎡				400.00 ㎡				567.96 ㎡		
39	建築年月		1996年3月		耐用年数	31年	1996年3月		耐用年数	31年	1984年8月		耐用年数	31年
40	耐震診断 / 耐震改修		不要		不要		不要		不要		不要		不要
41	その他特記事項												
42	主な建築・設備	建 築	屋根金属				屋根金属				屋根金属		
											床コンクリート直均し等		
		電気設備									電灯設備		
		機械設備											
43	劣化度調査	建 築	支柱基部腐食				支柱基部腐食				支柱基部腐食		
		電気設備	一部スイッチ不良				一部スイッチ不良				一部スイッチ不良		
		機械設備											
44	定期点検	建 築	コンクリート柱等の欠損、水下鉄骨柱縦割れクラック等				コンクリート柱等の欠損、水下鉄骨柱縦割れクラック等				外壁の劣化等、屋根軒先先端部材破損等		
		電気設備											
		機械設備											
45	改修・大規模修繕等工事履歴【百万円】	建 築											
		電気設備											
		機械設備											

34	番号:建物名称		28:原種原々種収納舎				29:後期世代検定試験棟				30:成分育成実験棟		
35	構 造 / 種 目		S造		倉庫建		S造		雑屋建		S造		雑屋建
36	階 数		地上	2 階	地下	0 階	地上	1 階	地下	0 階	地上	1 階	地下	0 階
37	建築面積		749.00 ㎡				340.00 ㎡				202.00 ㎡		
38	延床面積		899.60 ㎡				340.00 ㎡				202.00 ㎡		
39	建築年月		1986年3月		耐用年数	31年	1993年3月		耐用年数	31年	1992年3月		耐用年数	31年
40	耐震診断 / 耐震改修		不要		不要		不要		不要		不要		不要
41	その他特記事項												
42	主な建築・設備	建 築	屋根金属				屋根金属				屋根金属		
		電気設備	電灯設備				電灯設備				電灯設備		
		機械設備											
43	劣化度調査	建 築											
		電気設備											
		機械設備											
44	定期点検	建 築	外壁基礎破損等										
		電気設備											
		機械設備											
45	改修・大規模修繕等工事履歴【百万円】	建 築											
		電気設備											
		機械設備											

34	番号:建物名称		31:乾草庫1号棟(牛)				32:乾草庫2号棟(乳)				33:休息棟		
35	構 造 / 種 目		S造		雑屋建		S造		雑屋建		W造		雑屋建
36	階 数		地上	1 階	地下	0 階	地上	1 階	地下	0 階	地上	1 階	地下	0 階
37	建築面積		448.00 ㎡				416.00 ㎡				288.00 ㎡		
38	延床面積		360.00 ㎡				360.00 ㎡				288.00 ㎡		
39	建築年月		1998年3月		耐用年数	31年	1998年3月		耐用年数	31年	1998年3月		耐用年数	15年
40	耐震診断 / 耐震改修		不要		不要		不要		不要		不要		不要
41	その他特記事項												
42	主な建築・設備	建 築	屋根金属				屋根金属				屋根金属		
			床コンクリート直均し等										
		電気設備					電灯設備				電灯設備		
		機械設備									給水設備(加圧送水方式)		
43	劣化度調査	建 築	ワイヤーほつれ・開閉不可								支柱基部腐食		
		電気設備									一部スイッチ不良		
		機械設備											
44	定期点検	建 築	シャッターレール等の一部破損				シャッターレール等の一部破損						
		電気設備											
		機械設備											
45	改修・大規模修繕等工事履歴【百万円】	建 築											
		電気設備											
		機械設備											

34	番号:建物名称		34:庁舎				35:大型機械格納庫					
35	構 造 / 種 目		RC造		事務所建		S造		雑屋建			
36	階 数		地上	2 階	地下	0 階	地上	1 階	地下	0 階	地上	地下
37	建築面積		1,267.77 ㎡				210.54 ㎡					
38	延床面積		2,238.26 ㎡				210.54 ㎡					
39	建築年月		1998年6月		耐用年数	50年	1968年12月		耐用年数	31年		耐用年数
40	耐震診断 / 耐震改修		不要		不要		未		未			
41	その他特記事項											
42	主な建築・設備	建 築	シート防水				屋根金属					
							床コンクリート直均し等					
		電気設備	受変電設備(キュービクル)				電灯設備					
			電灯設備、発電設備、警報設備									
			構内交換設備(電話交換機)									
			その他弱電設備									
		機械設備	冷暖房設備(冷温水等)、熱源設備				給水設備(水道直結方式)					
			給水設備(加圧送水方式)、空調換気									
			設備、給湯設備(ガス湯沸器)、排水									
			設備(浄化槽)									
43	劣化度調査	建 築					支柱基部腐食					
		電気設備					一部スイッチ不良					
		機械設備										
44	定期点検	建 築					壁仕上材にクラック					
		電気設備										
		機械設備										
45	改修・大規模修繕等工事履歴【百万円】	建 築	防水シート改修(R6)【34】									
		電気設備	空調設備更新(R3)【6】									
			受変電設備更新(R2)【6】、(R4)									
			【9】、(R6)【11】									
		機械設備	電話交換機更新(R5)【3】									

46	直近5年の維持修繕・改修費	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計
	国庫						0百万円
	県債						0百万円
	一般財源	6百万円	21百万円	27百万円	12百万円	59百万円	125百万円
	その他						0百万円
	計	6百万円	21百万円	27百万円	12百万円	59百万円	125百万円

5 施設評価

	1次評価(定量評価)	評価・分析結果
47		
48	ソフト(利用状況×経費効率)	廃止(抜本的見直し)
49	ソフト×ハード(建物性能)	廃止(抜本的見直し)

2次評価(定性評価)	評価結果
施策上の必要性	高
代替の可能性	高

6 今後の方向性(たたき台)

54	施設全体の方針	機能の方向性	現状維持	建物の方向性	長寿命化改修
		岩手県の畜産部門の技術開発を進めるため、家畜の飼養管理を行う実験施設であって、畜産研究所の研究業務を円滑に進めるため必要な施設であることから、計画的な維持管理により施設機能を維持する。			

7 長寿命化等対策の方向性等

56	長寿命化等対策の方向性	施設機能の計画的な維持管理により長寿命化を図る。					
57	主な維持修繕・改修の内容	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
		高圧受変電盤更新(北構内)設計	高圧受変電盤更新(北構内)工事・監理	本館冷温水機更新工事、冷凍冷蔵庫更新	低圧動力盤・低圧電灯盤(本館)、自家発電機更新	低圧動力盤・低圧電灯盤(南構内)、外山研究生寮取り壊し工事	
58	概算費用(見込)	2 百万円	29 百万円	39 百万円	30 百万円	21 百万円	121 百万円
	国庫						0 百万円
	県債	1 百万円	21 百万円	26 百万円	11 百万円	11 百万円	70 百万円
	一般財源	1 百万円	8 百万円	13 百万円	19 百万円	10 百万円	51 百万円
	その他						0 百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は、現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

岩手県公共施設カルテ（個表：庁舎等用）

No. 10

1 施設概要

1	施設名称	畜産研究所外山畜産研究室	策定年月	R3.3	最終更新	R7.12
2	所在地	盛岡市薮川字大の平40番	施設類型	庁舎等	財産区分	行政財産
3	所管課	農業研究センター畜産研究所	運営形態	直営	防災施設等指定	非該当
4	都市計画区域	都市計画区域外	防火地域	指定なし	用途地域	指定なし
5	敷地面積	5,544,428.12 ㎡	建築面積	7,212.19 ㎡	延床面積	7,171.29 ㎡
6	竣工年度（建築年月）	1968年12月	経過年数（R7.4.1現在）	56 年	施設内棟数	43 棟
7	設置根拠	無				
8	設置目的	本県の農業生産額の過半を占める畜産業の振興及び畜産農家所得向上のため、効率的な家畜飼養技術の開発に直結する試験研究を行うことを目的に設置。				
9	施設の概況	昭和43年（1968年）に竣工され、令和7年（2025年）で建築から56年を迎える。 試験研究に用いる肉用牛の飼育管理、農家から寄託された牛馬の放牧、衛生管理を実施している。				
10	未利用設備	無	大規模改修			
10	使用許可等の有無	無				

12	主要棟	名称	研修館			
13		構造	RC造	種目	事務所建	
14		階数	地上 1階	地下	0階	
15		建築面積	244.00 ㎡	延床面積	244.00 ㎡	
16		建築年月日	1980年12月	法定耐用年数	50 年	
17		耐震診断	未	耐震改修	未	
18		その他特記事項				

現況写真

2 利用状況

20	R5利用状況	開館日	365日、平日（土日祝を除く）		開館時間	8:30～17:15	
24		職員数	82 人		（職員数のうち団体等職員数）	0 人	
		職員数の推移（直近5年間）	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	増減率（R5/過去5年平均）
25			86人	86人	86人	81人	82人	▲ 2.6%
26		施設利用対象者マクロデータ ※振興局管内人口	開設当時【A】（S44年10月時点） 363,581人		現　在【B】（R7年4月時点） 447,193人		増減率（マクロデータ）	0.2

3 維持・管理費の状況（改修、大規模修繕などに含まれるものは除く）

（単位：千円）

行政コスト計算書	令和3年度	構成比	令和4年度	構成比	令和5年度	構成比
経常費用	**112,398**	**100.0%**	**117,606**	**100.0%**	**114,910**	**100.0%**
人件費	82,646	73.5%	88,416	75.2%	86,561	75.3%
物件費等	14,173	12.6%	10,050	8.5%	12,104	10.5%
維持修繕費	641	0.6%	3,969	3.4%	1,075	0.9%
減価償却費	14,938	13.3%	15,171	12.9%	15,170	13.2%
支払利息		0.0%		0.0%		0.0%
臨時損失	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**
災害復旧事業費		0.0%		0.0%		0.0%
その他		0.0%		0.0%		0.0%
28 **支出合計**	**112,398**	**100.0%**	**117,606**	**100.0%**	**114,910**	**100.0%**
経常収益（直接的収入）	**27,054**	**100.0%**	**18,954**	**100.0%**	**22,207**	**100.0%**
使用料・手数料	26,958	99.6%	317	1.7%	282	1.3%
その他	96	0.4%	18,637	98.3%	21,925	98.7%
臨時利益（直接的収入）	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**
資産売却益		0.0%		0.0%		0.0%
その他		0.0%		0.0%		0.0%
補助金等（間接的収入）	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**
国庫補助金		0.0%		0.0%		0.0%
その他		0.0%		0.0%		0.0%
収入合計	**27,054**	**100.0%**	**18,954**	**100.0%**	**22,207**	**100.0%**
年間コスト	**▲ 85,344**		**▲ 98,652**		**▲ 92,703**	

29	年間利用者数	81	人	82	人	82	人
30	延床面積当たりコスト	11,901	円/㎡	13,757	円/㎡	12,927	円/㎡
31	利用者1人当たりコスト	1,053,630	円/人	1,203,073	円/人	1,130,524	円/人
32	（参考）県民1人当たりコスト	71	円/人	84	円/人	80	円/人
33	有形固定資産減価償却率	98.6	%	98.8	%	99.0	%

（参考）岩手県の人口

（単位：人）

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

4 施設内建物の概要

34	番号:建物名称		1:化学実験室				2:研修館				3:農具庫及び肥料庫			
35	構 造 / 種 目		CB造		雑屋建		RC造		事務所建		S造		車庫建	
36	階 数		地上	1 階	地下	0 階	地上	1 階	地下	0 階	地上	1 階	地下	0 階
37	建築面積		220.68 ㎡				244.00 ㎡				283.50 ㎡			
38	延床面積		220.68 ㎡				244.00 ㎡				283.50 ㎡			
39	建築年月		1971年3月		耐用年数	34年	1971年3月		耐用年数	50年	1968年12月		耐用年数	31年
40	耐震診断 / 耐震改修		未		未		未		未		済		未	
41	その他特記事項													
42	主な建築・設備	建 築	屋根合金メッキ				屋根合金メッキ				屋根合金メッキ			
			床コンクリート直均し等								床コンクリート直均し等			
		電気設備	変電設備(屋内形)				変電設備(屋内形)				電灯設備			
			電灯設備				電灯設備							
							弱電設備							
		機械設備	冷暖房設備(FFストーブ等)				冷暖房設備(FFストーブ等)				給水設備(加圧送水方式)			
			給湯設備(ガス湯沸器)				給水設備(加圧送水方式)							
							給湯設備(ガス湯沸器)							
43	劣化度調査	建 築												
		電気設備												
		機械設備												
44	定期点検	建 築									基礎の劣化、ブレース破損、壁・天井の剥離等			
		電気設備												
		機械設備												
45	改修・大規模修繕等工事履歴【百万円】	建 築					屋根塗装(R3)【2】							
							トイレ修繕(R4)【2】							
		電気設備												
		機械設備												

34	番号:建物名称		4:乾草庫				5:畜舎				6:堆肥舎		
35	構 造 / 種 目		S造		倉庫建		W造		雑屋建		W造		雑屋建
36	階 数		地上	1 階	地下	0 階	地上	1 階	地下	0 階	地上	1 階	地下	0 階
37	建築面積		345.00 ㎡				224.95 ㎡				200.00 ㎡		
38	延床面積		345.00 ㎡				224.95 ㎡				200.00 ㎡		
39	建築年月		1981年12月		耐用年数	31年	1978年1月		耐用年数	15年	1980年12月		耐用年数	15年
40	耐震診断 / 耐震改修		未		未		未		未		未		未
41	その他特記事項												
42	主な建築・設備	建 築	屋根合金メッキ				屋根合金メッキ				屋根合金メッキ		
			床コンクリート直均し等				床コンクリート直均し等				床コンクリート直均し等		
		電気設備	電灯設備				受変電設備(屋内形)						
							電灯設備						
		機械設備											
43	劣化度調査	建 築											
		電気設備											
		機械設備											
44	定期点検	建 築	外壁破損、シャッター枠損傷										
		電気設備											
		機械設備											
45	改修・大規模修繕等工事履歴【百万円】	建 築											
		電気設備											
		機械設備											

34	番号:建物名称		7:繁殖牛舎				8:堆肥舎				9:分娩哺育舎		
35	構 造 / 種 目		W造		雑屋建		W造		雑屋建		W造		雑屋建
36	階 数		地上	1 階	地下	0 階	地上	1 階	地下	0 階	地上	1 階	地下	0 階
37	建築面積		526.50 ㎡				280.00 ㎡				447.12 ㎡		
38	延床面積		526.50 ㎡				280.00 ㎡				447.12 ㎡		
39	建築年月		1989年3月		耐用年数	15年	1989年12月		耐用年数	15年	1990年2月		耐用年数	15年
40	耐震診断 / 耐震改修		不要		不要		不要		不要		不要		不要
41	その他特記事項												
42	主な建築・設備	建 築	屋根合金メッキ				屋根合金メッキ				屋根合金メッキ		
			床コンクリート直均し等				床コンクリート直均し等				床コンクリート直均し等		
		電気設備	変電設備(屋内形)								変電設備(屋内形)		
			電灯設備								電灯設備		
		機械設備									給湯設備(ガス湯沸器)		
43	劣化度調査	建 築											
		電気設備											
		機械設備											
44	定期点検	建 築											
		電気設備											
		機械設備											
45	改修・大規模修繕等工事履歴【百万円】	建 築											
		電気設備											
		機械設備											

34	番号:建物名称		10:バンカーサイロ				11:繁殖牛舎				12:バンカーサイロ		
35	構 造 / 種 目		W造		倉庫建		W造		雑屋建		W造		雑屋建
36	階 数		地上	1 階	地下	0 階	地上	1 階	地下	0 階	地上	1 階	地下	0 階
37	建築面積		279.00 ㎡				599.88 ㎡				332.64 ㎡		
38	延床面積		279.00 ㎡				590.52 ㎡				332.64 ㎡		
39	建築年月		1990年2月		耐用年数	15年	1995年12月		耐用年数	15年	1995年12月		耐用年数	15年
40	耐震診断 / 耐震改修		不要		不要		不要		不要		不要		不要
41	その他特記事項												
42	主な建築・設備	建 築	屋根合金メッキ				床コンクリート直均し等				床コンクリート直均し等		
			床コンクリート直均し等										
		電気設備					変電設備(屋外形)				変電設備(その他)		
							電灯設備				電灯設備		
							電熱設備(その他)						
							その他弱電設備(監視カメラ)						
		機械設備					給湯設備(ガス湯沸器)						
43	劣化度調査	建 築											
		電気設備											
		機械設備											
44	定期点検	建 築											
		電気設備											
		機械設備											
45	改修・大規模修繕等工事履歴【百万円】	建 築											
		電気設備											
		機械設備											

34	番号:建物名称		13:乾草舎				14:畜舎				15:堆肥舎		
35	構 造 / 種 目		S造		雑屋建		W造		雑屋建		W造		雑屋建
36	階 数		地上	1 階	地下	0 階	地上	1 階	地下	0 階	地上	1 階	地下	0 階
37	建築面積		350.52 ㎡				303.60 ㎡				259.20 ㎡		
38	延床面積		348.68 ㎡				303.60 ㎡				259.20 ㎡		
39	建築年月		1995年12月		耐用年数	31年	1999年12月		耐用年数	15年	2000年12月		耐用年数	15年
40	耐震診断 / 耐震改修		不要		不要		不要		不要		不要		不要
41	その他特記事項												
42	主な建築・設備	建 築					屋根合金メッキ				屋根合金メッキ		
							床コンクリート直均し等				床コンクリート直均し等		
		電気設備	変電設備(その他)				電灯設備						
			電灯設備										
		機械設備					給水設備(加圧送水方式)						
43	劣化度調査	建 築											
		電気設備											
		機械設備											
44	定期点検	建 築	外壁及びシャッター枠破損										
		電気設備											
		機械設備											
45	改修・大規模修繕等工事履歴【百万円】	建 築											
		電気設備											
		機械設備											
46	直近5年の維持修繕・改修費		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		合計
	国庫												0百万円
	県債												0百万円
	一般財源				2百万円		2百万円						4百万円
	その他												0百万円
	計		0百万円		2百万円		2百万円		0百万円		0百万円		4百万円

5 施設評価

	1次評価(定量評価)	評価・分析結果
47		
48	ソフト(利用状況×経費効率)	廃止(抜本的見直し)
49	ソフト×ハード(建物性能)	廃止(抜本的見直し)

2次評価(定性評価)	評価結果
施策上の必要性	高
代替の可能性	高

6 今後の方向性(たたき台)

54	施設全体の方針	機能の方向性	現状維持	建物の方向性	長寿命化改修
		岩手県の畜産部門の技術開発を進めるため、家畜の飼養管理及び牛馬の放牧飼育を実施する施設であり、研究業務を円滑に進めるために必要な施設であることから、計画的な維持管理により施設機能を維持する。			

7 長寿命化等対策の方向性等

56	長寿命化等対策の方向性	施設機能の計画的な維持管理により、長寿化を図る。					
57	主な維持修繕・改修の内容	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
			外山関連施設屋根塗装	外山関連施設屋根塗装	外山牛舎出入口修繕		
58	概算費用(見込)	0 百万円	16 百万円	40 百万円	18 百万円	0 百万円	74 百万円
	国庫						0 百万円
	県債						0 百万円
	一般財源		16 百万円	40 百万円	18 百万円		74 百万円
	その他						0 百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

岩手県公共施設カルテ（個表：庁舎等用）

No. 11

1 施設概要

1	施設名称	畜産研究所種山畜産研究室	策定年月	R3.3	最終更新	R7.12
2	所在地	住田町世田米字子飼沢30番	施設類型	庁舎等	財産区分	行政財産
3	所管課	農業研究センター畜産研究所	運営形態	直営	防災施設等指定	非該当
4	都市計画区域	都市計画区域外	防火地域	指定なし	用途地域	指定なし
5	敷地面積	2,203,199.12 ㎡	建築面積	8,224.94 ㎡	延床面積	8,223.75 ㎡
6	竣工年度（建築年月）	1988年3月	経過年数（R7.4.1現在）	37 年	施設内棟数	28 棟
7	設置根拠	無				
8	設置目的	黒毛和種種雄牛の造成のため、1 基礎雌牛の管理（種雄牛の母として相応しい繁殖雌牛の把握と計画交配の推進）、2 直接検定（計画交配で生産された雄子牛を飼養して発育等を調査し、種雄牛候補を選抜）、3 現場後代検定（種雄牛候補の産子を肥育して枝肉格付等を調査し、基幹種雄牛を選抜）、 凍結精液の販売（基幹種雄牛の凍結精液を生産し、販売）を行う。				
9	施設の概況	昭和62年（1987年）に県産種雄牛造成事業開始に伴い、平成元年（1988年）に堆肥舎の建築を開始し、平成2年（1990年）3月に間接検定牛舎、平成5年（1993年）2月に直接検定牛舎が竣工された。平成6年（1994年）から大家畜改良増殖センター施設整備が着手され、平成7年（1995年）3月に種雄牛舎、採精場、精液処理棟等と事業の核となる施設を竣工し、平成9年（1997年）3月までに事業に関する全施設が完成し、令和7年（2025年）4月で36年を迎える。 種山畜産研究所は、本県の高品質牛肉の生産に資するため、黒毛和種の優良な県有種雄牛の選抜と凍結精液の供給事業を担っている。				
10	未利用設備	無		大規模改修	無	
10	使用許可等の有無	無				

12	主要棟	名称	事務所、衛生検査室		現況写真	
13		構造	W造	種目	事務所建	
14		階数	地上 1階	地下	0階	
15		建築面積	523.35 ㎡	延床面積	523.35 ㎡	
16		建築年月日	1995年10月	法定耐用年数	24 年	
17		耐震診断	不要	耐震改修	不要	
18		その他特記事項				

2 利用状況

20	R5利用状況	開館日	平日（年末年始、休日を除く）		開館時間	8:30-17:15	
24		職員数	18 人		（職員数のうち団体等職員数）	5 人	
		職員数の推移（直近5年間）	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	増減率（R5/過去5年平均）
25			17人	17人	17人	18人	18人	3.4%
26		施設利用対象者マクロデータ ※県内人口	開設当時【A】（H5年10月時点）	1,415,697人	現 在【B】（R6年10月時点）	1,144,407人	増減率（マクロデータ）	▲ 19.2%

3 維持・管理費の状況（改修、大規模修繕などに含まれるものは除く）

（単位：千円）

行政コスト計算書	令和3年度	構成比	令和4年度	構成比	令和5年度	構成比
経常費用	**115,995**	**100.0%**	**114,335**	**100.0%**	**106,172**	**100.0%**
人件費	7,600	6.6%	7,864	6.9%	8,286	7.8%
物件費等	99,678	85.9%	93,626	81.9%	89,992	84.8%
維持修繕費	986	0.9%	6,037	5.3%	1,112	1.0%
減価償却費	7,731	6.7%	6,808	6.0%	6,782	6.4%
支払利息		0.0%		0.0%		0.0%
臨時損失	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**
災害復旧事業費		0.0%		0.0%		0.0%
その他		0.0%		0.0%		0.0%
28 **支出合計**	**115,995**	**100.0%**	**114,335**	**100.0%**	**106,172**	**100.0%**
経常収益（直接的収入）	**58,700**	**100.0%**	**53,381**	**100.0%**	**36,779**	**100.0%**
使用料・手数料		0.0%		0.0%		0.0%
その他	58,700	100.0%	53,381	100.0%	36,779	100.0%
臨時利益（直接的収入）	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**
資産売却益		0.0%		0.0%		0.0%
その他		0.0%		0.0%		0.0%
補助金等（間接的収入）	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**
国庫補助金		0.0%		0.0%		0.0%
その他		0.0%		0.0%		0.0%
収入合計	**58,700**	**100.0%**	**53,381**	**100.0%**	**36,779**	**100.0%**
年間コスト	**▲ 57,295**		**▲ 60,954**		**▲ 69,393**	

29	年間利用者数	18	人	18	人	18	人
30	延床面積当たりコスト	6,967	円/㎡	7,412	円/㎡	8,438	円/㎡
31	利用者1人当たりコスト	3,183,056	円/人	3,386,333	円/人	3,855,167	円/人
32	（参考）県民1人当たりコスト	48	円/人	52	円/人	60	円/人
33	有形固定資産減価償却率	91.0	%	91.8	%	92.5	%

（参考）岩手県の人口

（単位：人）

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

4 施設内建物の概要

34	番号:建物名称		1:種雄牛舎				2:採精場				3:精液処理棟			
35	構 造 / 種 目		W造		雑屋建		W造		雑屋建		RC造		事務所建	
36	階 数		地上	1 階	地下	0 階	地上	1 階	地下	0 階	地上	1 階	地下	0 階
37	建築面積		483.00 ㎡				467.20 ㎡				420.00 ㎡			
38	延床面積		483.00 ㎡				467.20 ㎡				420.00 ㎡			
39	建築年月		1995年3月		耐用年数	15年	1995年3月		耐用年数	15年	1995年3月		耐用年数	50年
40	耐震診断 / 耐震改修		不要		不要		不要		不要		不要		不要	
41	その他特記事項													
42	主な建築・設備	建 築	屋根金属				屋根金属				屋根金属			
			外壁金属板貼				外壁金属板貼				外壁モルタル塗			
			床コンクリート直均し等				床タイル・石貼				床ビニル床タイル類他			
			壁木製、天井石こうボード				壁石こうボード、天井ケイカル板				壁石こうボード、天井石こうボード			
		電気設備	電灯設備(一般形蛍光ランプ)				電灯設備(一般形蛍光ランプ)				発電設備(屋内形)			
							非常警報設備				電灯設備(一般形蛍光ランプ)			
											電池別置形電灯設備			
											非常警報設備、監視カメラ			
		機械設備	浄化槽、消火ポンプユニット				局所冷暖房方式				空調機器(パッケージ形)			
			監視カメラ設備				空調機器(ユニット式)				熱交換形換気設備			
			給水設備(水道直結方式)				給水設備(水道直結方式)				給水設備(水道直結方式)			
			バーンクリーナー、ベルトコンベア				浄化槽				浄化槽			
43	劣化度調査	建 築	支柱基部腐食、高窓開閉不良				屋根雨漏り				屋根腐食、湿度調節機能停止			
			牛用給水装置の損傷											
		電気設備												
		機械設備									一部空調・クリーンルーム湿度調節機能停止			
44	定期点検	建 築	雨漏り、壁亀裂あり				室内壁の亀裂、剥離等あり							
		電気設備	一部スイッチ不良				空調機器(エアコン)不良のため使用できず							
		機械設備	バーンクリーナー摩耗											
45	改修・大規模修繕等工事履歴【百万円】	建 築	給水設備修繕工事(H26)【1.6】											
			屋根修繕(R6)【4.1】											
		電気設備												
		機械設備	バーンクリーナー(R3)【3.8】											

34	番号:建物名称		4:供卵牛舎A				5:供卵牛舎B				6:避難畜舎		
35	構 造 / 種 目		W造		雑屋建		W造		雑屋建		W造		雑屋建
36	階 数		地上	1 階	地下	0 階	地上	1 階	地下	0 階	地上	1 階	地下	0 階
37	建築面積		856.41 ㎡				533.10 ㎡				295.35 ㎡		
38	延床面積		856.41 ㎡				533.10 ㎡				295.35 ㎡		
39	建築年月		1997年3月		耐用年数	15年	1997年3月		耐用年数	15年	1981年12月		耐用年数	15年
40	耐震診断 / 耐震改修		不要		不要		不要		不要		未		未
41	その他特記事項												
42	主な建築・設備	建 築	屋根金属				屋根金属				屋根金属		
			外壁金属板貼				外壁金属板貼				外壁金属板貼		
			床コンクリート直均し等				床コンクリート直均し等				床コンクリート直均し等		
			壁木製、天井なし				壁木製、天井なし						
		電気設備	電灯設備(一般形蛍光ランプ)				電灯設備(一般形蛍光ランプ)				一般形電灯		
		機械設備	浄化槽				浄化槽				浄化槽		
			給水設備(水道直結方式)				給水設備(水道直結方式)						
							バーンクリーナー						
43	劣化度調査	建 築	電灯回路絶縁不良										
		電気設備											
		機械設備											
44	定期点検	建 築											
		電気設備											
		機械設備											
45	改修・大規模修繕等工事履歴【百万円】	建 築					排煙窓オペレーター取替え(H21)【1.1】				パドック柵取替修繕(H30)【2.4】		
		電気設備											
		機械設備	ウォーターカップ交換(H26)【2.2】										

34	番号:建物名称		7:堆肥舎A棟				8:堆肥舎B棟				9:避難舎(10号牛舎)		
35	構 造 / 種 目		W造		雑屋建		W造		雑屋建		W造	雑屋建	
36	階 数		地上	1 階	地下	0 階	地上	1 階	地下	0 階	地上	1 階	地下	0 階
37	建築面積		364.50 ㎡				364.50 ㎡				437.23 ㎡		
38	延床面積		364.50 ㎡				364.50 ㎡				437.23 ㎡		
39	建築年月		1988年3月		耐用年数	15年	1988年3月		耐用年数	15年	1988年11月	耐用年数	15年
40	耐震診断 / 耐震改修		不要		不要		不要		不要		不要	不要	
41	その他特記事項												
42	主な建築・設備	建 築	屋根金属				屋根金属				屋根金属		
			床 コンクリート均直し等				床 コンクリート均直し等				外壁金属板貼		
											床コンクリート直均し等		
											壁、天井 石こうボード		
		電気設備									電灯設備(一般形蛍光ランプ)		
		機械設備					給水設備(水道直結方式)				浄化槽		
											給水設備(水道直結方式)		
43	劣化度調査	建 築									牛房扉・床板損耗、牛用給水設備の故障個所多		
		電気設備											
		機械設備											
44	定期点検	建 築											
		電気設備											
		機械設備											
45	改修・大規模修繕等工事履歴【百万円】	建 築											
		電気設備											
		機械設備									バーンクリーナー(H27)【3.5】		

34	番号:建物名称		10:間接検定牛舎				11:直接検定牛舎				12:家畜避難舎			
35	構 造 / 種 目		W造		雑屋建		W造		雑屋建		W造		雑屋建	
36	階 数		地上	1 階	地下	0 階	地上	1 階	地下	0 階	地上	1 階	地下	0 階
37	建築面積		400.80 ㎡				545.40 ㎡				339.72 ㎡			
38	延床面積		400.80 ㎡				545.40 ㎡				339.72 ㎡			
39	建築年月		1990年3月		耐用年数	15年	1993年2月		耐用年数	15年	1994年1月		耐用年数	15年
40	耐震診断 / 耐震改修		不要		不要		不要		不要		不要		不要	
41	その他特記事項													
42	主な建築・設備	建 築	屋根金属				屋根金属				屋根金属			
			外壁金属板貼				外壁金属板貼				外壁金属板貼			
			床 コンクリート均直し等				床 コンクリート均直し等				床コンクリート直均し等			
			壁木製、天井金属製				壁木製、天井石こうボード				壁仕上げなし、天井なし			
		電気設備	電灯設備(一般形蛍光ランプ)				電灯設備(一般形、省エネ形蛍光ランプ)							
		機械設備	浄化槽				浄化槽				浄化槽			
			給水設備(水道直結方式)				貯湯式電気温水器				給水設備(高置水槽方式)			
							バーンクリーナー							
							給水設備(水道直結方式)							
43	劣化度調査	建 築	パドック柵腐食				屋根釘の脱落、雨漏り、牛房扉の破損				屋外パドック屋根劣化			
											牛用給水装置故障個所多			
		電気設備												
		機械設備												
44	定期点検	建 築												
		電気設備												
		機械設備												
45	改修・大規模修繕等工事履歴【百万円】	建 築	牛房柵修理(H30)【3.2】				パドック屋根補強等工事(H27)【1.8】							
							屋根修繕(直接検定牛舎と併せ)(H28)【2】							
							屋根補修工事(R1)【1.6】							
		電気設備												
		機械設備					バーンクリーナー交換工事(R1)【5】							

34	番号:建物名称		13:乾草舎				14:事務所、衛生検査室				15:農機具格納庫		
35	構 造 / 種 目		W造		雑屋建		W造		事務所建		S造		倉庫建
36	階 数		地上	1 階	地下	0 階	地上	1 階	地下	0 階	地上	1 階	地下	0 階
37	建築面積		491.89 ㎡				523.35 ㎡				370.50 ㎡		
38	延床面積		491.89 ㎡				523.35 ㎡				370.50 ㎡		
39	建築年月		1995年1月		耐用年数	15年	1995年10月		耐用年数	24年	1996年2月		耐用年数	31年
40	耐震診断 / 耐震改修		不要		不要		不要		不要		不要		不要
41	その他特記事項												
42	主な建築・設備	建 築	屋根金属				屋根金属				屋根金属		
			外壁金属板貼				外壁セメント板				外壁金属板貼		
			床コンクリート直均し等				床木製フローリング、タイル他				床コンクリート直均し等		
			壁仕上げなし、天井なし				壁石こうボード、天井石こうボード						
		電気設備	電灯設備(一般形蛍光ランプ)				受変電設備				電灯設備(水銀灯)		
							電灯設備(一般形蛍光ランプ)						
							非常警報設備						
		機械設備	換気設備				冷暖房設備				給水設備(水道直結方式)		
							浄化槽				浄化槽		
							給水設備						
43	劣化度調査	建 築	屋根雨漏り、垂木腐蝕				外壁塗装一部剥離、トイレ水漏れ				入口ドア窓ガラス破損		
		電気設備											
		機械設備											
44	定期点検	建 築											
		電気設備											
		機械設備											
45	改修・大規模修繕等工事履歴【百万円】	建 築	屋根修繕(直接検定牛舎と併せ)(H28)【2】								屋根修繕工事(H27)【2.4】		
			屋根修繕(R4)【5.2】										
		電気設備											
		機械設備											
46	直近5年の維持修繕・改修費		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		合計
	国庫												0百万円
	県債												0百万円
	一般財源				3.8百万円		5.2百万円				4.1百万円		13.1百万円
	その他												0百万円
	計		0百万円		3.8百万円		5.2百万円		0百万円		4.1百万円		13.1百万円

5 施設評価

	1次評価(定量評価)	評価・分析結果
47		
48	ソフト(利用状況×経費効率)	現状維持
49	ソフト×ハード(建物性能)	改善・見直し(長寿命化)

2次評価(定性評価)	評価結果
施策上の必要性	高
代替の可能性	高

6 今後の方向性(たたき台)

54	施設全体の方針	機能の方向性	現状維持	建物の方向性	長寿命化改修
		凍結精液を生産する精液処理棟、採精場及び種雄牛舎について重点的な対策を行いながら、建築後25年以上経過している家畜飼養施設は日常点検等により施設の劣化状況の把握に努め、計画的な維持管理により、コスト縮減・財政負担の平準化を図りながら現状維持に努める。		

7 長寿命化等対策の方向性等

56	長寿命化等対策の方向性	計画的な大規模改修等により長寿命化を図り、現施設での行政サービスを維持する。					
57	主な維持修繕・改修の内容	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
		精液処理棟空調設備更新工事	第2キュービクル改修	堆肥舎改修	現場後代検定牛舎(屋根等)の改修	直接検定牛舎(屋根等)の改修	
58	概算費用(見込)	14 百万円	15 百万円	6 百万円	4 百万円	4 百万円	43 百万円
	国庫						0 百万円
	県債						0 百万円
	一般財源	14 百万円	15 百万円	6 百万円	4 百万円	4 百万円	43 百万円
	その他						0 百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

岩手県公共施設カルテ（個表：庁舎等用）

No. 12

1 施設概要

1	施設名称	林業技術センター	策定年月	R3.3	最終更新	R7.12
2	所在地	紫波郡矢巾町大字煙山第3地割560番11	施設類型	庁舎等	財産区分	行政財産
3	所管課	岩手県林業技術センター	運営形態	直営	防災施設等指定	非該当
4	都市計画区域	都市計画区域外	防火地域	指定なし	用途地域	指定なし
5	敷地面積	264,320.14 ㎡	建築面積	4,927.43 ㎡	延床面積	5,700.35 ㎡
6	竣工年度（建築年月）	1992年12月	経過年数（R7.4.1現在）	32 年	施設内棟数	9 棟
7	設置根拠	有	林業技術センター条例			
8	設置目的	森林及び林業に関する研究、研修等を行い、もって森林資源の充実及び林業の振興に寄与する。				
9	施設の概況	平成4年（1992年）12月竣工、事務所棟、研究棟、講義棟、機械研修棟等によって構成されており、令和7年（2025年）4月で建築から32年を迎える。 林業試験場、林業講習所及び林木育種場を統合し林業技術センターとして設置された。				
10	未利用設備	無		大規模改修	有	屋根塗装改修工事（事務所棟、研究棟、研修宿泊棟）
10	使用許可等の有無	有	飲料自動販売機に係る県有財産貸付			

	主要棟					現況写真
12	名称	事務所棟				
13	構造	W造	種目	事務所建		
14	階数	地上 1階	地下	0階		
15	建築面積	850.90 ㎡	延床面積	850.90 ㎡		
16	建築年月日	1992年12月	法定耐用年数	24 年		
17	耐震診断	不要	耐震改修	不要		
18	その他特記事項	屋根塗装改修工事（R5）				

2 利用状況

20	R5利用状況	開館日	平日（年末年始、休日を除く）		開館時間	8:30-17:15	
24		職員数	32 人		（職員数のうち団体等職員数）	2 人	
		職員数の推移（直近5年間）	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	増減率（R5/過去5年平均）
25			36人	35人	35人	35人	35人	▲ 9.1%
26		施設利用対象者マクロデータ ※県内人口	開設当時【A】（H4年10月時点）	1,415,153人	現　在【B】（R6年10月時点）	1,144,407人	増減率（マクロデータ）	▲ 19.1%

3 維持・管理費の状況（改修、大規模修繕などに含まれるものは除く）

（単位：千円）

行政コスト計算書	令和3年度	構成比	令和4年度	構成比	令和5年度	構成比
経常費用	**70,660**	**100.0%**	**73,675**	**100.0%**	**82,398**	**100.0%**
人件費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
物件費等	46,935	66.4%	55,415	75.2%	63,130	76.6%
維持修繕費	5,422	7.7%	318	0.4%	1,281	1.6%
減価償却費	18,303	25.9%	17,942	24.4%	17,987	21.8%
支払利息		0.0%		0.0%		0.0%
臨時損失	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**
災害復旧事業費		0.0%		0.0%		0.0%
その他		0.0%		0.0%		0.0%
28 **支出合計**	**70,660**	**100.0%**	**73,675**	**100.0%**	**82,398**	**100.0%**
経常収益（直接的収入）	**2,220**	**100.0%**	**3,301**	**100.0%**	**3,157**	**100.0%**
使用料・手数料	2,105	94.8%	3,170	96.0%	3,030	96.0%
その他	115	5.2%	131	4.0%	127	4.0%
臨時利益（直接的収入）	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**
資産売却益		0.0%		0.0%		0.0%
その他		0.0%		0.0%		0.0%
補助金等（間接的収入）	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**
国庫補助金		0.0%		0.0%		0.0%
その他		0.0%		0.0%		0.0%
収入合計	**2,220**	**100.0%**	**3,301**	**100.0%**	**3,157**	**100.0%**
年間コスト	**▲ 68,440**		**▲ 70,374**		**▲ 79,241**	

29	年間利用者数	35	人	35	人	35	人
30	延床面積当たりコスト	12,006	円/㎡	12,346	円/㎡	13,901	円/㎡
31	利用者1人当たりコスト	1,955,429	円/人	2,010,686	円/人	2,264,029	円/人
32	（参考）県民1人当たりコスト	57	円/人	60	円/人	68	円/人
33	有形固定資産減価償却率	84.8	%	85.7	%	86.3	%

（参考）岩手県の人口

（単位：人）

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

4 施設内建物の概要

34	番号:建物名称		1:事務所棟				2:講義棟				3:研究棟			
35	構 造 / 種 目		W造		事務所建		W造		事務所建		RC造		事務所建	
36	階 数		地上	1 階	地下	0 階	地上	1 階	地下	0 階	地上	2 階	地下	0 階
37	建築面積		850.90 ㎡				352.87 ㎡				840.84 ㎡			
38	延床面積		850.90 ㎡				352.87 ㎡				1,442.92 ㎡			
39	建築年月		1992年12月		耐用年数	24年	1992年12月		耐用年数	24年	1992年12月		耐用年数	50年
40	耐震診断 / 耐震改修		不要		不要		不要		不要		不要		不要	
41	その他特記事項													
42	主な建築・設備	建 築	屋根:カラー鉄板段葺				屋根:カラー鉄板段葺				屋根:カラー鉄板段葺			
			外壁:手割丸太材横貼、横羽目板貼				外壁:手割丸太材横貼、横羽目板貼				外壁:超対候性フッ素樹脂塗装吹付			
			床:天然木フローリングブロックほか				床:天然木フローリングブロックほか				床:耐薬品性長尺塩ビシート			
			天井:ロックウール吸音板貼ほか				天井:ロックウール吸音板貼ほか				天井:ロックウール吸音板貼ほか			
		電気設備	設備容量:1,205kVA				設備容量:1,205kVA				設備容量:1,205kVA			
			受電電圧:6,600V				受電電圧:6,600V				受電電圧:6,600V			
			最大電力:587kW				最大電力:587kW				最大電力:587kW			
			非常用予備発電装置:400kVA				非常用予備発電装置:400kVA				非常用予備発電装置:400kVA			
		機械設備	給水方式:加圧送水方式				給水方式:加圧送水方式				給水方式:水道直結方式			
			排水方式:し尿浄化槽				排水方式:し尿浄化槽				排水方式:し尿浄化槽			
			給湯方式:局所式				給湯方式:局所式				給湯方式:局所式			
			消火設備方式:屋内消火栓				消火設備方式:屋内消火栓				消火設備方式:屋内消火栓			
43	劣化度調査	建 築												
		電気設備												
		機械設備												
44	定期点検	建 築												
		電気設備												
		機械設備												
45	改修・大規模修繕等工事履歴【百万円】	建 築	屋根塗装改修(R5)【11】								屋根塗装改修(R4)【7】			
		電気設備	受配電機器改修(R元)【4】											
			中央監視装置自動制御機器交換(R元)【2】											
			キュービクル高圧真空切換開閉器等改修(R2)【3】											
		機械設備												

34	番号:建物名称		4:木材実験棟				5:苗畑作業舎				6:研修宿泊棟		
35	構 造 / 種 目		W造		事務所建		W造		雑屋建		W造	事務所建	
36	階 数		地上	1 階	地下	0 階	地上	1 階	地下	0 階	地上	2 階	地下	0 階
37	建築面積		1,137.80 ㎡				243.01 ㎡				581.92 ㎡		
38	延床面積		1,137.80 ㎡				231.86 ㎡				837.20 ㎡		
39	建築年月		1992年12月		耐用年数	24年	1993年3月		耐用年数	15年	1994年3月	耐用年数	24年
40	耐震診断 / 耐震改修		不要		不要		不要		不要		不要	不要	
41	その他特記事項												
42	主な建築・設備	建 築	屋根:カラー鉄板横葺				屋根:カラー鉄板横葺				屋根:カラー鉄板段葺		
			外壁:箱目地下見板横貼				外壁:カラマツ羽目板				外壁:集成カラマツ羽目板貼		
			床:コンクリート金ゴテ防塵塗料				床:コンクリート金ゴテ押工				床:化粧フローリング、畳敷		
			天井:あらわし				天井:フレキシブルボード				天井:ビニールクロス、杉柾化粧石膏ボード		
		電気設備	設備容量:1,205kVA				設備容量:1,205kVA				設備容量:1,205kVA		
			受電電圧:6,600V				受電電圧:6,600V				受電電圧:6,600V		
			最大電力:587kW				最大電力:587kW				最大電力:587kW		
			非常用予備発電装置:400kVA				非常用予備発電装置:400kVA				非常用予備発電装置:400kVA		
		機械設備	給水方式:水道直結方式				給水方式:水道直結方式				給水方式:水道直結方式		
			排水方式:し尿浄化槽				排水方式:し尿浄化槽				排水方式:し尿浄化槽		
			給湯方式:局所式				給湯方式:局所式				給湯方式:局所式		
			消火設備方式:その他				消火設備方式:その他				消火設備方式:屋内消火栓		
43	劣化度調査	建 築											
		電気設備											
		機械設備											
44	定期点検	建 築											
		電気設備											
		機械設備											
45	改修・大規模修繕等工事履歴【百万円】	建 築									内窓操作装置修繕(R元)【1】		
											屋根塗装改修(R6)【10】		
		電気設備											
		機械設備											

34	番号:建物名称		7:林業機械研修棟				8:機械保管倉庫				9:作業員休憩舎		
35	構 造 / 種 目		S造		事務所建		W造		倉庫建		S造		住宅建
36	階 数		地上	1 階	地下	0 階	地上	1 階	地下	0 階	地上	1 階	地下	0 階
37	建築面積		314.28 ㎡				251.98 ㎡				353.83 ㎡		
38	延床面積		260.28 ㎡				232.69 ㎡				353.83 ㎡		
39	建築年月		1994年3月		耐用年数	38年	1995年3月		耐用年数	15年	1998年3月		耐用年数	34年
40	耐震診断 / 耐震改修		不要		不要		不要		不要		不要		不要
41	その他特記事項												
42	主な建築・設備	建 築	屋根:カラー鉄板横葺				屋根:カラー鉄板横葺				屋根:亜鉛メッキ鋼板葺		
			外壁:セメント押出成形版				外壁:セメント押出成形版						
			床:コンクリート金ゴテ押工				床:コンクリート金ゴテ押工						
			天井:あらわし				天井:あらわし						
		電気設備	設備容量:1,205kVA				設備容量:1,205kVA				契約種別:従量電灯B		
			受電電圧:6,600V				受電電圧:6,600V				契約容量:20A		
			最大電力:587kW				最大電力:587kW						
			非常用予備発電装置:400kVA				非常用予備発電装置:400kVA						
		機械設備	給水:水道直結方式				給水:なし				給水:水道直結方式		
			排水:し尿浄化槽				排水:なし				排水:し尿浄化槽		
			給湯:局所式				給湯:なし				給湯:局所式		
			消火設備方式:その他				消火設備方式:その他				消火設備方式:その他		
43	劣化度調査	建 築											
		電気設備											
		機械設備											
44	定期点検	建 築											
		電気設備											
		機械設備											
45	改修・大規模修繕等工事履歴【百万円】	建 築											
		電気設備											
		機械設備											
46	直近5年の維持修繕・改修費		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		合計
	国庫												0百万円
	県債												0百万円
	一般財源		9百万円		5百万円		8百万円		14百万円		12百万円		48百万円
	その他												0百万円
	計		9百万円		5百万円		8百万円		14百万円		12百万円		48百万円

5 施設評価

	1次評価(定量評価)	評価・分析結果
47	ソフト(利用状況×経費効率)	廃止(抜本的見直し)
48	ソフト×ハード(建物性能)	改善・見直し(複合化等)

2次評価(定性評価)	評価結果
施策上の必要性	高
代替の可能性	高

6 今後の方向性(たたき台)

54	施設全体の方針	機能の方向性	現状維持	建物の方向性	現状維持
		R12以降は、緊急性及び優先順位を考慮して、順次、建物の維持管理に必要な修繕・更新等を実施する。 本県の森林及び林業に関する研究施設として必要な施設であるため、計画的な維持管理によりその機能を維持する。			

7 長寿命化等対策の方向性等

56	長寿命化等対策の方向性	計画的な維持管理・修繕により長寿命化を図り施設機能を維持する。					
57	主な維持修繕・改修の内容	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
			・林木育種場挿し木床散水設備及び被覆施設更新 ・受電用発電室間高圧ケーブル更新(設計費) ・林木育種場(18棟)及び人工ホダ場解体撤去処分	・受電用発電室間高圧ケーブル更新(監理費、工事費) ・受電～第2キュービクル間高圧ケーブル更新(設計費) ・チップボイラー炉壁更新修繕 ・林木育種場(千貫石)労務休憩舎屋根等修繕 ・きのこ作業舎外壁補修・塗替 ・昆虫作業舎・網室外壁補修・塗替	・受電～第2キュービクル間高圧ケーブル更新(監理費、工事費) ・受電キュービクル変圧器更新(設計費)	・受電キュービクル変圧器更新(監理費、工事費) ・第2キュービクル変圧器更新(設計費) ・苗畑作業舎及び堆肥舎外壁補修・塗替	
58	概算費用(見込)	0 百万円	29 百万円	31 百万円	15 百万円	26 百万円	101 百万円
	国庫						0 百万円
	県債						0 百万円
	一般財源		29 百万円	31 百万円	15 百万円	26 百万円	101 百万円
	その他						0 百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

岩手県公共施設カルテ（個表：庁舎等用）

No. 13

1 施設概要

1	施設名称	水産技術センター	策定年月	R3.3	最終更新	R7.12
2	所在地	釜石市大字平田3地割75番地3	施設類型	庁舎等	財産区分	行政財産
3	所管課	岩手県水産技術センター	運営形態	直営	防災施設等指定	非該当
4	都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	準工業地域
5	敷地面積	39,997.18 ㎡	建築面積	6,630.50 ㎡	延床面積	8,708.27 ㎡
6	竣工年度（建築年月）	1994年3月	経過年数（R7.4.1現在）	31 年	施設内棟数	6 棟
7	設置根拠	無				
8	設置目的	平成6年に水産試験場と南部及び北部栽培漁業センターの研究部門を統合し、水産技術センターと名称を変更して開所 漁場環境から生産、加工、流通、消費に至るまでの一貫した調査研究と普及指導を実施				
9	施設の概況	平成6年（1994年）3月に①研究管理棟（地上2階）、②種苗開発棟（地上1階）、③漁具倉庫棟（地上1階）、④水産加工開放実験棟（地上1階）、⑤海水ろ過棟（地上1階）、⑥発電室等附属施設（地上1階）が竣工され、令和7年（2025年）4月で建築から31年を迎える。				
10	未利用設備	無		大規模改修	有	2014年3月：災害復旧工事
11	使用許可等の有無	有	敷地内電柱等の行政財産使用許可			

12	主要棟	名称	研究管理棟			
13		構造	RC造	種目	事務所建	
14		階数	地上 2階	地下	0階	
15		建築面積	2,138.11 ㎡	延床面積	4,215.88 ㎡	
16		建築年月日	1994年3月	法定耐用年数	50 年	
17		耐震診断	不要	耐震改修	不要	
18		その他特記事項	2014年3月：災害復旧工事			

現況写真

2 利用状況

19	R5利用状況	開館日	土・日曜日、休日及び年末年始（12/29～翌年1/3）を除く平日		開館時間	8:30-17:15	
20		職員数	61 人		（職員数のうち団体等職員数）	0 人	
		職員数の推移（直近5年間）	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	増減率（R5/過去5年平均）
21			63人	64人	62人	63人	61人	▲ 2.6%
22		施設利用対象者マクロデータ ※県内人口	開設当時【A】（H6年10月時点） 1,416,736人		現　在【B】（R6年10月時点）	1,144,407人	増減率（マクロデータ）	▲ 19.2%

3 維持・管理費の状況（改修、大規模修繕などに含まれるものは除く）

（単位：千円）

行政コスト計算書	令和3年度	構成比	令和4年度	構成比	令和5年度	構成比
経常費用	**177,462**	**100.0%**	**180,327**	**100.0%**	**197,199**	**100.0%**
人件費	24,677	13.9%	19,039	10.6%	20,635	10.5%
物件費等	54,976	31.0%	63,825	35.4%	73,561	37.3%
維持修繕費	7,113	4.0%	7,329	4.1%	12,372	6.3%
減価償却費	90,696	51.1%	90,134	50.0%	90,631	46.0%
支払利息		0.0%		0.0%		0.0%
臨時損失	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**
災害復旧事業費		0.0%		0.0%		0.0%
その他		0.0%		0.0%		0.0%
23 **支出合計**	**177,462**	**100.0%**	**180,327**	**100.0%**	**197,199**	**100.0%**
経常収益（直接的収入）	**422**	**100.0%**	**608**	**100.0%**	**1,384**	**100.0%**
使用料・手数料	8	1.9%	8	1.3%	8	0.6%
その他	414	98.1%	600	98.7%	1,376	99.4%
臨時利益（直接的収入）	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**
資産売却益		0.0%		0.0%		0.0%
その他		0.0%		0.0%		0.0%
補助金等（間接的収入）	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**
国庫補助金		0.0%		0.0%		0.0%
その他		0.0%		0.0%		0.0%
収入合計	**422**	**100.0%**	**608**	**100.0%**	**1,384**	**100.0%**
年間コスト	**▲ 177,040**		**▲ 179,719**		**▲ 195,815**	

24	年間利用者数	63	人	61	人	61	人
25	延床面積当たりコスト	20,330	円/㎡	20,638	円/㎡	22,486	円/㎡
26	利用者1人当たりコスト	2,810,159	円/人	2,946,213	円/人	3,210,082	円/人
27	（参考）県民1人当たりコスト	148	円/人	152	円/人	168	円/人
28	有形固定資産減価償却率	66.3	%	68.5	%	70.6	%

（参考）岩手県の人口

（単位：人）

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

4 施設内建物の概要

29	番号:建物名称		1:研修管理棟				2:水産加工開発実験棟				3:ろ過棟			
30	構 造 / 種 目		RC造		事務所建		RC造		雑屋建		RC造		雑屋建	
31	階 数		地上	2 階	地下	0 階	地上	1 階	地下	0 階	地上	1 階	地下	0 階
32	建築面積		2,138.11 ㎡				791.98 ㎡				201.73 ㎡			
33	延床面積		4,215.88 ㎡				791.98 ㎡				201.73 ㎡			
34	建築年月		1994年3月		耐用年数	50年	1994年3月		耐用年数	38年	1994年3月		耐用年数	38年
35	耐震診断 / 耐震改修		不要		不要		不要		不要		不要		不要	
36	その他特記事項		2014年3月:災害復旧工事				2014年3月:災害復旧工事				2014年3月:災害復旧工事			
37	主な建築・設備	建 築												
		電気設備	受変電設備(ｷｭｰﾋﾞｸﾙ式)				受変電設備(屋内形)							
			発電設備(ｶﾞｽﾀｰﾋﾞﾝ)、電灯設備				発電設備(ｶﾞｽﾀｰﾋﾞﾝ)、電灯設備							
			自動火災報知設備、非常警報設備				自動火災報知設備、非常警報設備							
			構内交換設備				構内交換設備、弱電設備(拡声)							
		機械設備	冷暖房設備(中央式冷暖房)				冷暖房設備(中央式冷暖房)、熱源設備(直吸収冷温水器)				給水設備(加圧送水方式)			
			熱源設備(直吸収冷温水器)				空調機器(ﾌｧﾝｺｲﾙﾕﾆｯﾄ)、自動制御設備(中央式監視制御)							
			空調機器(ﾌｧﾝｺｲﾙﾕﾆｯﾄ)、自動制御設備(中央式監視制御)				給水設備(加圧送水方式)、排水設備(浄化槽)							
			給水設備(加圧送水方式)、排水設備(浄化槽)				給湯設備(中央式:真空式温水発生器)、消火設備(屋内消火栓)							
38	劣化度調査	建 築					室内雨水管水漏れ				側溝に欠損、金物に錆あり			
		電気設備												
		機械設備	排水設備のセンサー不良											
39	定期点検	建 築									外壁白華、錆汁、亀裂。屋根塗膜防水劣化。配管架台腐食ほか			
		電気設備												
		機械設備												
40	改修・大規模修繕等工事履歴【百万円】	建 築	公共下水道切替工事(R2)【12】								熱感知器交換修繕工事(R元)【1】			
											ブラケット修繕工事(R元)【1】(R2)【1】			
		電気設備	高圧気中開閉器更新及び受電設備アース改修工事(R2)【4】				ガスメーター及び調整器交換修繕工事(R元)【1】				海水ろ過器ろ材交換等修繕工事(R2)【3】(R3)【3】(R6)【3】			
		機械設備	水産加工開放実験棟消火水槽等補給水系統修繕工事(R2)【1】				蒸気配管ドレン用バルブ交換(R5)【1】				バルブ修繕(R2)【1】			

41	番号:建物名称		4:種苗開発棟				5:漁具倉庫棟					
42	構 造 / 種 目		RC造		雑屋建		RC造		倉庫建			
43	階 数		地上	1 階	地下	0 階	地上	1 階	地下	0 階	地上	地下
44	建築面積		2,419.73 ㎡				1,078.95 ㎡					
45	延床面積		2,419.73 ㎡				1,078.95 ㎡					
46	建築年月		1994年3月		耐用年数	38年	1994年3月		耐用年数	38年		耐用年数
47	耐震診断 / 耐震改修		不要		不要		不要		不要			
48	その他特記事項		2014年3月:災害復旧工事				2014年3月:災害復旧工事					
49	主な建築・設備	建 築										
		電気設備	受変電設備(ｷｭｰﾋﾞｸﾙ式)、				受変電設備(ｷｭｰﾋﾞｸﾙ式)					
			発電設備(ｶﾞｽﾀｰﾋﾞﾝ)、電灯設備				発電設備(ｶﾞｽﾀｰﾋﾞﾝ)、電灯設備					
			自動火災報知設備、非常警報設備				自動火災報知設備、非常警報設備					
			弱電設備(拡声)				弱電設備(拡声)					
		機械設備	冷暖房設備(ｴｱｺﾝ等)、自動制御設備(中央式監視制御)				消火設備(粉末消火)					
			給水設備(加圧送水方式)、排水設備(浄化槽)									
			給湯設備(局所式)、ガス設備(LPG)									
			消火設備(粉末消火)									
50	劣化度調査	建 築					内装					
		電気設備	自家発電設備雨漏れ、換気扇不具合あり									
		機械設備										
51	定期点検	建 築	壁の亀裂、換気扇固定ボルトの欠損ほか				床亀裂					
		電気設備										
		機械設備										
52	改修・大規模修繕等工事履歴【百万円】	建 築	木製間仕切撤去工事(R3)【1】									
		電気設備	種苗開発棟照明器具交換修繕工事(R元)【1】									
		機械設備	培養恒温実験室空調機更新修繕工事(R3)【3】									

53	直近5年の維持修繕・改修費	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計
	国庫						0百万円
	県債						0百万円
	一般財源	9百万円	10百万円	7百万円	2百万円	2百万円	30百万円
	その他						0百万円
	計	9百万円	10百万円	7百万円	2百万円	2百万円	30百万円

5 施設評価

	1次評価(定量評価)	評価・分析結果
54		
55	ソフト(利用状況×経費効率)	廃止(抜本的見直し)
56	ソフト×ハード(建物性能)	廃止(抜本的見直し)

2次評価(定性評価)	評価結果
施策上の必要性	高
代替の可能性	高

6 今後の方向性(たたき台)

57	施設全体の方針	機能の方向性	現状維持	建物の方向性	長寿命化改修
		本県における水産業の調査研究及び普及指導を行っており、その規模等から市町村・民間等への移管は難しく、存続が望ましい施設であるため、計画的な維持管理により長寿命化を図る。			

7 長寿命化等対策の方向性等

58	長寿命化等対策の方向性	震災復旧工事で新替していない機械設備等については、設置後25年以上が経過していることから、定期点検や日常点検等により施設の劣化状況の把握に努め、計画的な維持管理により、コスト縮減・財政負担の平準化を図りながら長寿命化を図る。					
59	主な維持修繕・改修の内容	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
		海水ろ過器清掃修繕工事	海水ろ過器清掃修繕工事	海水ろ過器清掃修繕工事 取水施設新設工事(～R10)	海水ろ過器清掃修繕工事 取水施設新設工事(R9～)	海水ろ過器清掃修繕工事 FRP 製ろ過機新設工事	
60	概算費用(見込)	3 百万円	3 百万円	422 百万円	422 百万円	327 百万円	1,177 百万円
	国庫						0 百万円
	県債						0 百万円
	一般財源	3 百万円	3 百万円	422 百万円	422 百万円	327 百万円	1,177 百万円
	その他						0 百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

岩手県公共施設カルテ（個表：庁舎等用）

No. 14

1 施設概要

1	施設名称	水産技術センター大船渡研究室	策定年月	R3.3	最終更新	R7.12
2	所在地	大船渡市末崎町字鶴巻120番	施設類型	庁舎等	財産区分	行政財産
3	所管課	岩手県水産技術センター	運営形態	直営	防災施設等指定	非該当
4	都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	指定なし
5	敷地面積	28,411.00 ㎡	建築面積	5,587.14 ㎡	延床面積	5,989.80 ㎡
6	竣工年度（建築年月）	1979年3月	経過年数（R7.4.1現在）	46 年	施設内棟数	9 棟
7	設置根拠	無				
8	設置目的	昭和56年に県営栽培漁業センターとして設置。平成6年に同センターの研究部門を水産技術センターに統合し、大船渡研究室に名称変更。現在は、（一社）岩手県栽培漁業協会がアワビ、ヒラメ等の種苗生産を実施				
9	施設の概況	昭和54年（1979年）3月に①管理棟（地上1階）、昭和55年（1980年）3月に②機械棟1（地上1階）、③アワビ棟（地上1階）及び④魚類飼育棟（地上1階）、昭和56年（1981年）3月に⑤倉庫棟（地上1階）及び⑥アワビ作業棟（地上1階）、昭和57年（1982年）3月に⑦親魚棟、平成25年（2013年）10月に⑧ポンプ棟1（地上2階、地下1階）及び⑨ポンプ棟2（地上3階、地下1階）が竣工され、令和7年（2025年）4月で建築から①は46年、②～④は45年、⑤及び⑥は44年、⑦は43年、⑧及び⑨は12年を迎える。				
10	未利用設備	無	大規模改修	有	2013年9月：災害復旧工事	
11	使用許可等の有無	有	建物及び工作物を（一社）岩手県栽培漁業協会へ行政財産使用許可			

12	主要棟	名称	管理棟			
13		構造	RC造	種目	事務所建	
14		階数	地上 2階	地下	0階	
15		建築面積	458.22 ㎡	延床面積	860.88 ㎡	
16		建築年月日	1979年3月	法定耐用年数	50 年	
17		耐震診断	未	耐震改修	未	
18		その他特記事項	2013年9月：災害復旧工事			

現況写真

2 利用状況

19	R5利用状況	開館日	土・日曜日、休日及び年末年始（12/29～翌年1/3）を除く平日	開館時間	8:30-17:15		
20		職員数	31 人	（職員数のうち団体等職員数）	31 人		
		職員数の推移（直近5年間）	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	増減率（R5/過去5年平均）
21			35人	32人	31人	32人	31人	▲ 3.7%
22		施設利用対象者マクロデータ ※振興局管内人口	開設当時【A】（S54年10月時点）	1,141,799人	現　在【B】（R6年10月時点）	1,144,407人	増減率（マクロデータ）	0.0

3 維持・管理費の状況（改修、大規模修繕などに含まれるものは除く）

（単位：千円）

行政コスト計算書	令和3年度	構成比	令和4年度	構成比	令和5年度	構成比
経常費用	**68,159**	**100.0%**	**64,373**	**100.0%**	**58,018**	**100.0%**
人件費	24,677	36.2%	19,039	29.6%	20,635	35.6%
物件費等	11,226	16.5%	13,033	20.2%	5,182	8.9%
維持修繕費	1,452	2.1%	1,497	2.3%	872	1.5%
減価償却費	30,804	45.2%	30,804	47.9%	31,329	54.0%
支払利息		0.0%		0.0%		0.0%
臨時損失	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**
災害復旧事業費		0.0%		0.0%		0.0%
その他		0.0%		0.0%		0.0%
23 **支出合計**	**68,159**	**100.0%**	**64,373**	**100.0%**	**58,018**	**100.0%**
経常収益（直接的収入）	**0**	－	**0**	－	**0**	－
使用料・手数料		－		－		－
その他		－		－		－
臨時利益（直接的収入）	**0**	－	**0**	－	**0**	－
資産売却益		－		－		－
その他		－		－		－
補助金等（間接的収入）	**0**	－	**0**	－	**0**	－
国庫補助金		－		－		－
その他		－		－		－
収入合計	**0**	－	**0**	－	**0**	－
年間コスト	**▲ 68,159**		**▲ 64,373**		**▲ 58,018**	

24	年間利用者数	32	人	31	人	31	人
25	延床面積当たりコスト	11,379	円/㎡	10,747	円/㎡	9,686	円/㎡
26	利用者1人当たりコスト	2,129,969	円/人	2,076,548	円/人	1,871,548	円/人
27	（参考）県民1人当たりコスト	57	円/人	55	円/人	50	円/人
28	有形固定資産減価償却率	53.6	%	55.0	%	56.5	%

（参考）岩手県の人口

（単位：人）

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

4 施設内建物の概要

29	番号:建物名称		1:管理棟				2:アワビ棟				3:魚類飼育棟			
30	構 造 / 種 目		RC造		事務所建		RC造		雑屋建		RC造		雑屋建	
31	階 数		地上	2 階	地下	0 階	地上	1 階	地下	0 階	地上	1 階	地下	0 階
32	建築面積		458.22 ㎡				798.60 ㎡				2,715.00 ㎡			
33	延床面積		860.88 ㎡				798.60 ㎡				2,715.00 ㎡			
34	建築年月		1979年3月		耐用年数	50年	1980年3月		耐用年数	38年	1980年3月		耐用年数	38年
35	耐震診断 / 耐震改修		未		未		未		未		未		未	
36	その他特記事項		2013年9月:災害復旧工事				2013年9月:災害復旧工事				2013年9月:災害復旧工事			
37	主な建築・設備	建 築												
		電気設備	受変電設備(屋内形)				受変電設備(屋内形)				受変電設備(屋内形:ｷｭｰﾋﾞｸﾙ式)			
			電灯設備				電灯設備				電灯設備			
			自動火災報知設備、非常警報設備				非常警報設備				非常警報設備			
			弱電設備(拡声、ﾃﾚﾋﾞ共同受信)				弱電設備(ﾃﾚﾋﾞ共同受信)				弱電設備(ﾃﾚﾋﾞ共同受信)			
		機械設備	冷暖房設備(FFｽﾄｰﾌﾞ、ｴｱｺﾝ等)				冷暖房設備(ｴｱｺﾝ等)、熱源設備(真空式温水発生器)				冷暖房設備(ｴｱｺﾝ等)、熱源設備(真空式温水発生器)			
			空調機器(ﾊﾟｯｹｰｼﾞ形)、自動制御設備(中央式監視制御)				空調機器(ﾊﾟｯｹｰｼﾞ形)、自動制御設備(個別制御)				空調機器(ﾊﾟｯｹｰｼﾞ形)、自動制御設備(個別制御)			
			給水設備(加圧送水方式)、排水設備(浄化槽)				給水設備(加圧送水方式)、排水設備(浄化槽)				給水設備(加圧送水方式)、給湯設備(局所式:ｶﾞｽ湯沸器)			
			給湯設備(局所式:ｶﾞｽ湯沸器)				給湯設備(局所式:ｶﾞｽ湯沸器)、ｶﾞｽ設備(液化石油ｶﾞｽ)、消火設備(粉末消火)				ｶﾞｽ設備(液化石油ｶﾞｽ)、消火設備(粉末消火)			
38	劣化度調査	建 築									天井鉄骨の錆による腐食			
		電気設備												
		機械設備												
39	定期点検	建 築												
		電気設備												
		機械設備												
40	改修・大規模修繕等工事履歴【百万円】機	建 築												
		電気設備												
		機械設備	第1取水棟吸水管NCP内面塗装・逆洗弁弁体交換工事(R5)【14】				ルーツブロワー分解整備修繕工事(R2)【2】(R4)【2】				ルーツブロワー分解整備修繕工事(R2)【1】			

41	番号:建物名称		4:倉庫棟(旧研究棟)				5:アワビ作業棟				6:親魚棟		
42	構 造 / 種 目		S造		倉庫建		S造		雑屋建		S造		雑屋建
43	階 数		地上	1 階	地下	0 階	地上	1 階	地下	0 階	地上	1 階	地下	0 階
44	建築面積		528.60 ㎡				349.92 ㎡				736.80 ㎡		
45	延床面積		528.60 ㎡				349.92 ㎡				736.80 ㎡		
46	建築年月		1981年3月		耐用年数	31年	1981年3月		耐用年数	31年	1982年3月		耐用年数	31年
47	耐震診断 / 耐震改修		未		未		未		未		未		未
48	その他特記事項		2013年9月:災害復旧工事				2014年3月:災害復旧工事				2014年3月:災害復旧工事		
49	主な建築・設備	建 築											
		電気設備	電灯設備				受変電設備(屋内形)				受変電設備(屋内形)		
							電灯設備				電灯設備		
							非常警報設備				非常警報設備		
							弱電設備(電気時計)						
		機械設備					給水設備(加圧送水方式)				給水設備(加圧送水方式)		
							給湯設備(局所式:ｶﾞｽ湯沸器、貯湯式電気温水器)				消火設備(粉末消火)		
							消火設備(粉末消火)						
50	劣化度調査	建 築					屋根、外壁の腐食				屋根、外壁の腐食		
		電気設備											
		機械設備											
51	定期点検	建 築	梁、桁鉄骨部材錆。屋根下地材穴あき破損ほか										
		電気設備											
		機械設備											
52	改修・大規模修繕等工事履歴【百万円】	建 築											
		電気設備											
		機械設備											
53	直近5年の維持修繕・改修費		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		合計
		国庫											0百万円
		県債											0百万円
		一般財源	6百万円						14百万円				20百万円
		その他											0百万円
	計		6百万円		0百万円		0百万円		14百万円		0百万円		20百万円

5 施設評価

	1次評価(定量評価)	評価・分析結果
54		
55	ソフト(利用状況×経費効率)	改善・見直し(利用状況)
56	ソフト×ハード(建物性能)	改善・見直し(複合化等)

2次評価(定性評価)	評価結果
施策上の必要性	高
代替の可能性	高

6 今後の方向性(たたき台)

57	施設全体の方針	機能の方向性	現状維持	建物の方向性	長寿命化改修
		計画的な維持管理により長寿命化を図る。			

7 長寿命化等対策の方向性等

58	長寿命化等対策の方向性	定期点検や日常点検等により施設の劣化状況の把握に努め、計画的な維持管理により、コスト縮減・財政負担の平準化を図りながら長寿命化を図る。					
59	主な維持修繕・改修の内容	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
			屋外オイルタンク設置工事		大船渡研究室第一及び第二取水棟埋込配管改修工事	魚類飼育棟天井鉄骨及び屋根改修工事	
60	概算費用(見込)	0 百万円	52 百万円	0 百万円	40 百万円	50 百万円	142 百万円
	国庫						0 百万円
	県債						0 百万円
	一般財源		52 百万円		40 百万円	50 百万円	142 百万円
	その他						0 百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

岩手県公共施設カルテ（個表：庁舎等用）

No. 15

1 施設概要

1	施設名称	水産技術センター種市研究室	策定年月	R3.3	最終更新	R7.12
2	所在地	九戸郡洋野町種市20地割荒津内172番3	施設類型	庁舎等	財産区分	行政財産
3	所管課	岩手県水産技術センター	運営形態	直営	防災施設等指定	非該当
4	都市計画区域	都市計画区域外	防火地域	指定なし	用途地域	指定なし
5	敷地面積	26,778.00 ㎡	建築面積	2,601.60 ㎡	延床面積	2,506.00 ㎡
6	竣工年度（建築年月）	1987年3月	経過年数（R7.4.1現在）	38 年	施設内棟数	5 棟
7	設置根拠	無				
8	設置目的	昭和61年に県営北部栽培漁業センターとして設置。平成6年に同センターの研究部門を水産技術センターに統合し、種市渡研究室に名称変更。現在は（一社）岩手県栽培漁業協会がウニ、ナマコ等の種苗生産を実施				
9	施設の概況	昭和62年（1987年）3月に①採苗棟（地上1階）、②ろ過器棟（地上1階）、③管理棟（地上1階）及び④作業棟（地上1階）、昭和63年（1988年）3月に⑤倉庫棟（地上1階）が竣工され、令和7年（2025年）4月で建築から①～④は38年、⑤は37年を迎える。				
10	未利用設備	無	大規模改修	有	2013.3震災復旧工事	
10	使用許可等の有無	有	土地、建物及び工作物を（一社）岩手県栽培漁業協会へ行政財産使用許可			

	主要棟					現況写真
12	名称	管理棟				
13	構造	RC造	種目	事務所建		
14	階数	地上 1階	地下	0階		
15	建築面積	279.00 ㎡	延床面積	279.00 ㎡		
16	建築年月日	1987年3月	法定耐用年数	50 年		
17	耐震診断	不要	耐震改修	不要		
18	その他特記事項	2013.3震災復旧工事				

2 利用状況

19	R5利用状況	開館日	土・日曜日、休日及び年末年始（12/29～翌年1/3）を除く平日	開館時間	8:30-17:15		
20		職員数	15 人	（職員数のうち団体等職員数）	0 人		
		職員数の推移（直近5年間）	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	増減率（R5/過去5年平均）
21			15人	17人	17人	20人	16人	▲ 11.8%
22		施設利用対象者マクロデータ ※県内人口	開設当時【A】（S62年10月時点）	1,423,699人	現　在【B】（R6年10月時点）	1,144,407人	増減率（マクロデータ）	▲ 19.6%

3 維持・管理費の状況（改修、大規模修繕などに含まれるものは除く）

（単位：千円）

行政コスト計算書	令和3年度	構成比	令和4年度	構成比	令和5年度	構成比
経常費用	**53,101**	**100.0%**	**48,101**	**100.0%**	**41,829**	**100.0%**
人件費	24,677	46.5%	19,039	39.6%	20,635	49.3%
物件費等	3,873	7.3%	4,496	9.3%	5,182	12.4%
維持修繕費	501	0.9%	516	1.1%	872	2.1%
減価償却費	24,050	45.3%	24,050	50.0%	15,140	36.2%
支払利息		0.0%		0.0%		0.0%
臨時損失	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**
災害復旧事業費		0.0%		0.0%		0.0%
その他		0.0%		0.0%		0.0%
23 **支出合計**	**53,101**	**100.0%**	**48,101**	**100.0%**	**41,829**	**100.0%**
経常収益（直接的収入）	**0**	－	**0**	－	**0**	－
使用料・手数料		－		－		－
その他		－		－		－
臨時利益（直接的収入）	**0**	－	**0**	－	**0**	－
資産売却益		－		－		－
その他		－		－		－
補助金等（間接的収入）	**0**	－	**0**	－	**0**	－
国庫補助金		－		－		－
その他		－		－		－
収入合計	**0**	－	**0**	－	**0**	－
年間コスト	**▲ 53,101**		**▲ 48,101**		**▲ 41,829**	

24	年間利用者数	20	人	16	人	15	人
25	延床面積当たりコスト	21,190	円/㎡	19,194	円/㎡	16,692	円/㎡
26	利用者1人当たりコスト	2,655,050	円/人	3,006,313	円/人	2,788,600	円/人
27	（参考）県民1人当たりコスト	44	円/人	41	円/人	36	円/人
28	有形固定資産減価償却率	79.0	%	81.2	%	82.6	%

（参考）岩手県の人口

（単位：人）

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

4 施設内建物の概要

29	番号:建物名称		1:管理棟				2:採苗棟				3:ろ過器棟			
30	構 造 / 種 目		RC造		事務所建		RC造		雑屋建		RC造		雑屋建	
31	階 数		地上	1 階	地下	0 階	地上	1 階	地下	0 階	地上	1 階	地下	0 階
32	建築面積		279.00 ㎡				1,391.60 ㎡				340.00 ㎡			
33	延床面積		279.00 ㎡				1,296.00 ㎡				340.00 ㎡			
34	建築年月		1987年3月		耐用年数	50年	1986年3月		耐用年数	38年	1987年3月		耐用年数	38年
35	耐震診断 / 耐震改修		不要		不要		不要		不要		不要		不要	
36	その他特記事項		2013.3震災復旧工事				2013.3震災復旧工事				2013.3震災復旧工事			
37	主な建築・設備	建 築												
		電気設備	電灯設備				受変電設備(屋内形)、電灯設備				受変電設備(屋内形)			
			非常警報設備				自動火災報知設備、非常警報設備				電灯設備			
			構内交換設備				構内交換設備							
			弱電設備(拡声、ﾃﾚﾋﾞ共同受信)				弱電設備(拡声)							
		機械設備	冷暖房設備(FFｽﾄｰﾌﾞ等)				冷暖房設備(FFｽﾄｰﾌﾞ等)、空調機器(ﾕﾆｯﾄ形)				給水設備(加圧送水方式)			
			自動制御設備(中央式監視制御)				熱源設備(真空式温水発生機、ﾁﾘﾝｸﾞﾕﾆｯﾄ)				排水設備(浄化槽)			
			給水設備(加圧送水方式)、排水設備(浄化槽)				給水設備(加圧送水方式)、排水設備(浄化槽)、給湯設備(局所式:ｶﾞｽ湯沸器)				消火設備(粉末消火)			
			給湯設備(局所式:ｶﾞｽ湯沸器)				ｶﾞｽ設備(液化石油ｶﾞｽ)、消火設備(粉末消火)							
38	劣化度調査	建 築					金属屋根腐食				コンクリート劣化、埋没配管等錆			
		電気設備												
		機械設備												
39	定期点検	建 築												
		電気設備												
		機械設備												
40	改修・大規模修繕等工事履歴【百万円】	建 築												
		電気設備					気中開閉器更新工事(R5)【1】							
		機械設備	調温ポンプ分解整備工事(R2)【3】								海水ろ過器ろ材交換(R2)【5】(R3)【5】(R4)【5】(R5)【5】(R6)【6】			
			ブロワー分解整備修繕工事(R3)【2】											

41	番号:建物名称		4:作業棟				5:倉庫棟					
42	構 造 / 種 目		S造		雑屋建		S造		倉庫建			
43	階 数		地上	1 階	地下	0 階	地上	1 階	地下	0 階	地上	地下
44	建築面積		352.00 ㎡				239.00 ㎡					
45	延床面積		352.00 ㎡				239.00 ㎡					
46	建築年月		1988年3月		耐用年数	24年	1988年3月		耐用年数	24年		耐用年数
47	耐震診断 / 耐震改修		不要		不要		不要		不要			
48	その他特記事項		2013.3震災復旧工事				2013.3震災復旧工事					
49	主な建築・設備	建 築										
		電気設備	電灯設備				電灯設備					
			非常警報設備				構内交換設備					
			構内交換設備				弱電設備(拡声、ﾃﾚﾋﾞ共同受信)					
			弱電設備(拡声)									
		機械設備	給水設備(加圧送水方式)				冷暖房設備(FFｽﾄｰﾌﾞ等)					
			排水設備(浄化槽)				給水設備(加圧送水方式)、排水設備(浄化槽)					
			消火設備(粉末消火)				給湯設備(局所式:ｶﾞｽ湯沸器)					
							ｶﾞｽ設備(液化石油ｶﾞｽ)、消火設備(粉末消火)					
50	劣化度調査	建 築	屋根、外壁腐食				屋根、外壁腐食					
		電気設備										
		機械設備										
51	定期点検	建 築					屋根鼻隠し鋼板錆。樋受金物腐食、破断。ポーチ柱腰水切鋼板腐食。ベンチレーター内部鋼板腐食					
		電気設備										
		機械設備										
52	改修・大規模修繕等工事履歴【百万円】	建 築										
		電気設備										
		機械設備										

53	直近5年の維持修繕・改修費	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計
	国庫						0百万円
	県債						0百万円
	一般財源	14百万円	13百万円	11百万円	12百万円	10百万円	60百万円
	その他						0百万円
	計	14百万円	13百万円	11百万円	12百万円	10百万円	60百万円

5 施設評価

	1次評価(定量評価)	評価・分析結果
54		
55	ソフト(利用状況×経費効率)	廃止(抜本的見直し)
56	ソフト×ハード(建物性能)	廃止(抜本的見直し)

2次評価(定性評価)	評価結果
施策上の必要性	高
代替の可能性	高

6 今後の方向性(たたき台)

57	施設全体の方針	機能の方向性	現状維持	建物の方向性	長寿命化改修
		計画的な維持管理により長寿命化を図る。			

7 長寿命化等対策の方向性等

58	長寿命化等対策の方向性	定期点検や日常点検等により施設の劣化状況の把握に努め、計画的な維持管理により、コスト縮減・財政負担の平準化を図りながら長寿命化を図る。					
59	主な維持修繕・改修の内容	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
		浮標灯ｼﾝｶｰﾌﾟﾚｰﾄ及びﾎﾟﾘﾋﾟｸﾞ更新工事 海水取水設備点検修繕工事	採水ポンプ埋込配管更新工事 オイル地下タンク改修工事	採苗棟、作業棟及び倉庫棟屋根ベンチレーター改修工事			
60	概算費用(見込)	10 百万円	103 百万円	47 百万円	0 百万円	0 百万円	160 百万円
	国庫						0 百万円
	県債						0 百万円
	一般財源	10 百万円	103 百万円	47 百万円			160 百万円
	その他						0 百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

岩手県公共施設カルテ（個表：庁舎等用）

No. 16

1 施設概要

1	施設名称	内水面水産技術センター	策定年月	R3.3	最終更新	R7.12
2	所在地	八幡平市松尾寄木第1地割字沼利474番1	施設類型	庁舎等	財産区分	行政財産
3	所管課	岩手県内水面水産技術センター	運営形態	直営	防災施設等指定	非該当
4	都市計画区域	都市計画区域外	防火地域	指定なし	用途地域	指定なし
5	敷地面積	56,655.24 ㎡	建築面積	3,164.93 ㎡	延床面積	3,252.86 ㎡
6	竣工年度（建築年月）	1970年9月	経過年数（R7.4.1現在）	54 年	施設内棟数	20 棟
7	設置根拠	有	岩手県知事部局行政組織規則第67条			
8	設置目的	内水面水産技術センターの事務所として、管理運営機能を持つ施設であり、内水面漁業・養殖業振興のため岩手県知事部局行政組織規則第67条で定める事務全般に係る業務を行う。				
9	施設の概況	昭和45年（1970年）9月に庁舎・事務所として竣工し、令和7年（2025年）4月で建築から54年を越える。庁舎は内水面漁業・内水面養殖振興の中核機関として、淡水魚の種苗生産・配布及び内水面養殖技術の開発やその普及、魚類防疫指導等を行うにあたり、当該施設では事務室のほか、実験室、倉庫室、宿直室などとして活用してきた。				
10	未利用設備	無		大規模改修	無	
10	使用許可等の有無	無				

12	主要棟	名称	庁舎		現況写真	
13		構造	CB造	種目	事務所建	
14		階数	地上 1階	地下	0階	
15		建築面積	269.13 ㎡	延床面積	269.13 ㎡	
16		建築年月日	1970年9月	法定耐用年数	41 年	
17		耐震診断	未	耐震改修	未	
18		その他特記事項	令和3年度に建物劣化調査を実施。			

2 利用状況

20	R5利用状況	開館日	平日（年末年始、休日を除く）		開館時間	8:30-17:15	
24		職員数	9 人		（職員数のうち団体等職員数）	0 人	
		職員数の推移（直近5年間）	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	増減率（R5/過去5年平均）
25			9人	9人	9人	9人	9人	0.0%
26		施設利用対象者マクロデータ ※県内人口	開設当時【A】（S45年10月時点）	1,371,383人	現　在【B】（R6年10月時点）	1,144,407人	増減率（マクロデータ）	▲ 16.6%

3 維持・管理費の状況（改修、大規模修繕などに含まれるものは除く）

（単位：千円）

行政コスト計算書	令和3年度	構成比	令和4年度	構成比	令和5年度	構成比
経常費用	**56,556**	**100.0%**	**40,593**	**100.0%**	**39,914**	**100.0%**
人件費	2,435	4.3%	2,513	6.2%	2,706	6.8%
物件費等	24,941	44.1%	28,862	71.1%	26,591	66.6%
維持修繕費	16,867	29.8%	482	1.2%	3,558	8.9%
減価償却費	12,313	21.8%	8,736	21.5%	7,059	17.7%
支払利息		0.0%		0.0%		0.0%
臨時損失	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**
災害復旧事業費		0.0%		0.0%		0.0%
その他		0.0%		0.0%		0.0%
28 **支出合計**	**56,556**	**100.0%**	**40,593**	**100.0%**	**39,914**	**100.0%**
経常収益（直接的収入）	**20**	**100.0%**	**20**	**100.0%**	**20**	**100.0%**
使用料・手数料	20	100.0%	20	100.0%	20	100.0%
その他		0.0%		0.0%		0.0%
臨時利益（直接的収入）	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**
資産売却益		0.0%		0.0%		0.0%
その他		0.0%		0.0%		0.0%
補助金等（間接的収入）	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**
国庫補助金		0.0%		0.0%		0.0%
その他		0.0%		0.0%		0.0%
収入合計	**20**	**100.0%**	**20**	**100.0%**	**20**	**100.0%**
年間コスト	**▲ 56,536**		**▲ 40,573**		**▲ 39,894**	

29	年間利用者数	9	人	9	人	9	人
30	延床面積当たりコスト	17,380	円/㎡	12,473	円/㎡	12,264	円/㎡
31	利用者1人当たりコスト	6,281,778	円/人	4,508,111	円/人	4,432,667	円/人
32	（参考）県民1人当たりコスト	47	円/人	34	円/人	34	円/人
33	有形固定資産減価償却率	86.2	%	87.3	%	88.2	%

（参考）岩手県の人口

（単位：人）

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

4 施設内建物の概要

34	番号:建物名称		1:庁舎				2:魚病センター本館				3:産卵調整棟		
35	構 造 / 種 目		CB造		事務所建		RC造		事務所建		S造		雑屋建
36	階 数		地上	1 階	地下	0 階	地上	2 階	地下	0 階	地上	1 階	地下	0 階
37	建築面積		269.13 ㎡				205.12 ㎡				780.00 ㎡		
38	延床面積		269.13 ㎡				385.12 ㎡				780.00 ㎡		
39	建築年月		1970年9月		耐用年数	41年	1982年3月		耐用年数	50年	1985年3月		耐用年数	31年
40	耐震診断 / 耐震改修		未		未		未		未		不要		不要	
41	その他特記事項		令和3年度に建物劣化調査を実施										
42	主な建築・設備	建 築	屋根:長尺カラー鉄板瓦棒葺				屋根:長尺カラー鉄板瓦棒ぶき				屋根:カラーハゼ式折板長尺亜鉛鉄板		
			外壁:コンクリートブロック、モルタル塗				外壁:ベニヤ型枠コンクリート打放し				外壁:コンクリート打放		
			床:ビニールタイル貼				床:モルタル塗長尺塩ビシート				床:コンクリート金ゴテ		
			壁:パーライトブラスター				壁:石膏ボード				壁:外壁材あらわし		
		電気設備	電灯設備(照明灯)				電灯設備				電灯設備(照明灯)		
			受変電キュービクル施設								屋外電気設備(照明灯)		
		機械設備	冷暖房設備(FFストーブ等)				冷暖房設備(FFストーブ等)				パイプ類		
			給水設備				排水設備(浄化槽)						
			排水設備(浄化槽)				給湯設備(局所式:ガス湯沸器)						
			給湯設備(局所式:ガス湯沸器)				ガス設備(石油液化ガス)						
43	劣化度調査	建 築	外壁:モルタルの浮き				屋根:葺き材に腐食等あり				壁:傷みあり		
			内壁:モルタルの浮きやひび割れ				内部階段:はがれあり				床:傷みあり		
							外壁:亀裂あり				鉄骨:サビあり		
		電気設備	電気設備全般:経年劣化が見られる										
		機械設備	給排水設備:経年劣化が見られる										
			換気設備:経年劣化が見られる										
44	定期点検	建 築											
		電気設備	キュービクルに使用中の高圧ケーブルと同じケーブルが原因の停電事故が増加しているため早期更新の教示あり										
		機械設備											
45	改修・大規模修繕等工事履歴【百万円】	建 築	外壁補修工事(H9)【2.5】				鉄骨塗装工事(H8)【2.5】						
			屋根葺替工事(R5)【2.5】				外壁修繕工事(H18)【2.5】						
		電気設備	キュービクル施設更新(R2)【5.0】										
		機械設備											

34	番号:建物名称		4:ふ化室兼飼育棟				5:試験棟				6:試験棟		
35	構 造 / 種 目		S造		雑屋建		S造		雑屋建		S造		雑屋建
36	階 数		地上	1 階	地下	0 階	地上	1 階	地下	0 階	地上	1 階	地下	0 階
37	建築面積		350.40 ㎡				222.20 ㎡				257.44 ㎡		
38	延床面積		350.40 ㎡				222.20 ㎡				257.44 ㎡		
39	建築年月		1985年3月		耐用年数	31年	1991年1月		耐用年数	31年	1991年3月		耐用年数	31年
40	耐震診断 / 耐震改修		不要		不要		不要		不要		不要		不要
41	その他特記事項												
42	主な建築・設備	建 築	屋根:カラーハゼ式折板長尺亜鉛鉄板				屋根:カラーハゼ式折板長尺亜鉛鉄板				屋根:カラーハゼ式折板長尺亜鉛鉄板		
			外壁:コンクリート打放				外壁:アクリルリシン吹付				外壁腰:コンクリート打放し		
			床:コンクリート金ゴテ				床:コンクリート金ゴテ				床:コンクリート金ゴテ		
			壁:外壁材あらわし				天井:屋根あらわし				壁:外壁材あらわし		
		電気設備	電灯設備(照明灯)				電灯設備(照明灯)				電灯設備(照明灯)		
			屋外電気設備(照明灯)				屋外電気設備(照明灯)						
		機械設備	パイプ類				パイプ類				パイプ類		
43	劣化度調査	建 築	壁:傷みあり				壁:傷みあり				壁:傷みあり		
			壁:傷みあり				壁:傷みあり				壁:傷みあり		
			鉄骨:サビあり				鉄骨:サビあり				鉄骨:サビあり		
		電気設備											
		機械設備											
44	定期点検	建 築											
		電気設備											
		機械設備											
45	改修・大規模修繕等工事履歴【百万円】	建 築	外壁修繕(H18)【2.5】										
		電気設備					電灯設備修繕(R3)【1.7】						
		機械設備											

34	番号:建物名称		7:稚魚飼育棟									
35	構 造 / 種 目		S造		倉庫建							
36	階 数		地上	1 階	地下	0 階	地上		地下		地上		地下	
37	建築面積		1,080.64 ㎡									
38	延床面積		988.57 ㎡									
39	建築年月		1992年3月		耐用年数	31年			耐用年数			耐用年数	
40	耐震診断 / 耐震改修		不要		不要							
41	その他特記事項											
42	主な建築・設備	建 築	屋根:カラーハゼ式折板長尺亜鉛鉄板									
			外壁:コンクリート打放									
			床:コンクリート金ゴテ									
			天井:屋根材あらわし									
		電気設備	電灯設備(照明灯)									
		機械設備	パイプ類									
43	劣化度調査	建 築	壁:傷みあり									
			壁:傷みあり									
			鉄骨:サビあり									
		電気設備										
		機械設備										
44	定期点検	建 築										
		電気設備										
		機械設備										
45	改修・大規模修繕等工事履歴【百万円】	建 築										
		電気設備										
		機械設備										

46	直近5年の維持修繕・改修費	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計
	国庫						0百万円
	県債						0百万円
	一般財源	5百万円			2.5百万円		7.5百万円
	その他						0百万円
	計	5百万円	0百万円	0百万円	2.5百万円	0百万円	7.5百万円

5 施設評価

	1次評価(定量評価)	評価・分析結果
47	ソフト(利用状況×経費効率)	改善・見直し(経費効率)
48	ソフト×ハード(建物性能)	改善・見直し(長寿命化)

2次評価(定性評価)	評価結果
施策上の必要性	高
代替の可能性	高

6 今後の方向性(たたき台)

54	施設全体の方針	機能の方向性	複合化	建物の方向性	長寿命化改修
		内水面漁業・養殖業の試験研究及び指導に係る県内唯一の研究機関として、内水面漁業・養殖業を取り巻く社会情勢変化を踏まえながら、その時代の求めに的確に対応した研究等に取り組んでいくために、現行の建物を適正な日常補修を実施し維持していくとともに、複合化による施設の利活用も検討していく。		

7 長寿命化等対策の方向性等

56	長寿命化等対策の方向性	建物の耐用年数や経年劣化に見合った改修等により施設全体として長寿命化を図り、現施設での業務を維持する。					
57	主な維持修繕・改修の内容	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
			魚病センター改修工事設計	魚病センター改修工事			
58	概算費用(見込)	0 百万円	9 百万円	43 百万円	0 百万円	0 百万円	52 百万円
	国庫						0 百万円
	県債						0 百万円
	一般財源		9 百万円	43 百万円			52 百万円
	その他						0 百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

岩手県公共施設カルテ（個表：庁舎等用）

No. 17

1 施設概要

1	施設名称	中部農業改良普及センター 西和賀普及サブセンター	策定年月	R3.3	最終更新	R7.12
2	所在地	西和賀町川尻40地割40番235	施設類型	庁舎等	財産区分	行政財産
3	所管課	農林水産企画室	運営形態	直営	防災施設等指定	非該当
4	都市計画区域	都市計画区域外	防火地域	指定なし	用途地域	指定なし
5	敷地面積	1,246.80 ㎡	建築面積	418.17 ㎡	延床面積	748.26 ㎡
6	竣工年度 （建築年月）	1991年2月	経過年数 （R7.4.1現在）	34 年	施設内棟数	1 棟
7	設置根拠	有	農業改良助長法、農業改良普及センター条例			
8	設置目的	西和賀地域の農業振興のため、特色を生かした産地づくり並びに農業経営の発展・改善に取り組む農業者等への支援拠点として設置				
9	施設の概況	平成3年（1991年）2月に庁舎（地上3階建て）が竣工し、令和7年（2025年）2月で建築から34年を迎える。 関係機関・団体との連携のもと、西和賀地域の農業振興の拠点として中心的な役割を果たしてきた。令和6年10月からは、会議室として使用してきたスペースに県南広域振興局土木部　北上土木センター西和賀出張所が移転し、業務を開始した。				
10	未利用設備	無		大規模改修	無	
10	使用許可等の有無	無				

12	主要棟	名称	庁舎			
13		構造	W造	種目	事務所建	
14		階数	地上 3階	地下	0階	
15		建築面積	269.17 ㎡	延床面積	452.26 ㎡	
16		建築年月日	1991年2月	法定耐用年数	24 年	
17		耐震診断	不要	耐震改修	不要	
18		その他特記事項				

現況写真

2 利用状況

20	R5利用状況	開館日	平日（年末年始、休日を除く）		開館時間	8:30-17:15	
24		職員数	5 人		（職員数のうち団体等職員数）	0 人	
		職員数の推移 （直近5年間）	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	増減率 （R5/過去5年平均）
25			5人	5人	5人	5人	5人	0.0%
26		施設利用対象者 マクロデータ ※管轄区域内人口	開設当時【A】 （H3年10月時点）	8,891人	現　在【B】 （R6年10月時点）	4,460人	増減率 （マクロデータ）	▲ 49.8%

3 維持・管理費の状況（改修、大規模修繕などに含まれるものは除く）

（単位：千円）

行政コスト計算書	令和3年度	構成比	令和4年度	構成比	令和5年度	構成比
経常費用	**7,931**	**100.0%**	**7,742**	**100.0%**	**8,368**	**100.0%**
人件費	2,800	35.3%	2,800	36.2%	2,800	33.5%
物件費等	3,692	46.6%	3,491	45.1%	3,551	42.4%
維持修繕費	280	3.5%	306	4.0%	872	10.4%
減価償却費	1,159	14.6%	1,145	14.8%	1,145	13.7%
支払利息		0.0%		0.0%		0.0%
臨時損失	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**
災害復旧事業費		0.0%		0.0%		0.0%
その他		0.0%		0.0%		0.0%
28 **支出合計**	**7,931**	**100.0%**	**7,742**	**100.0%**	**8,368**	**100.0%**
経常収益（直接的収入）	**0**	－	**0**	－	**0**	－
使用料・手数料		－		－		－
その他		－		－		－
臨時利益（直接的収入）	**0**	－	**0**	－	**0**	－
資産売却益		－		－		－
その他		－		－		－
補助金等（間接的収入）	**0**	－	**0**	－	**0**	－
国庫補助金		－		－		－
その他		－		－		－
収入合計	**0**	－	**0**	－	**0**	－
年間コスト	**▲ 7,931**		**▲ 7,742**		**▲ 8,368**	

29	年間利用者数	5	人	5	人	5	人
30	延床面積当たりコスト	10,599	円/㎡	10,347	円/㎡	11,183	円/㎡
31	利用者1人当たりコスト	1,586,200	円/人	1,548,400	円/人	1,673,600	円/人
32	（参考）県民1人当たりコスト	7	円/人	7	円/人	7	円/人
33	有形固定資産減価償却率	88.4	%	89.4	%	88.2	%

（参考）岩手県の人口

（単位：人）

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

4 施設内建物の概要

		① 建 築	② 電気設備	③ 機械設備
33	主な建築・設備	屋根長尺カラー鉄板横葺き	電灯設備	冷暖房設備(温水方式)
		外壁ガラス繊維混入特殊セメント板張	非常警報設備	給水設備(加圧送水方式)
			弱電設備(テレビ共同受信)	排水設備(公共下水道)
				給湯設備(局所式:ガス湯沸器)
34	劣化度調査	構造躯体は概ね健全と考えられるが、	具体的な不具合は生じていないが	具体的な不具合は生じていないが
		屋内壁にヒビ、庇に穴が開く等、細部	経年劣化は進行していることから、	経年劣化は進行していることから、
		で劣化が進行	状況に応じて改修が必要	状況に応じて改修が必要
35	定期点検			
36	改修・大規模修繕等 工事履歴 【百万円】			トイレ修繕(R5)【0.84】

47	直近5年改修・大規模修繕費	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計
	国庫						0百万円
	県債						0百万円
	一般財源	0百万円	0百万円	0百万円	0.84百万円	0百万円	0.84百万円
	その他						0百万円
	計	0百万円	0百万円	0百万円	0.84百万円	0百万円	0.84百万円

5 施設評価

	1次評価(定量評価)	評価・分析結果
48	ソフト(利用状況×経費効率)	改善・見直し(経費効率)
49	ソフト×ハード(建物性能)	現状維持

2次評価(定性評価)	評価結果
施策上の必要性	高
代替の可能性	高

6 今後の方向性(たたき台)

50	施設の方向性	機能の方向性	現状維持	建物の方向性	現状維持
51		普及指導業務は、「いわて県民計画」に基づき、地域課題の解決等を目指して活動が展開されており、農家指導や地域の関係機関・団体と連携する場面において、迅速な対応が求められること、また、代替可能性も低いことから存続が望ましい。			

7 長寿命化等対策の方向性等

52	長寿命化等対策の方向性	現況の劣化箇所の修繕等について早期に対策していく。 また、日常点検等により施設の劣化状況の把握に努め、計画的な維持管理により、コスト縮減・財政負担の平準化を図りながら長寿命化を図る。

		令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
53	主な維持修繕・改修の内容						
54	概算費用(見込)	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円
	国庫						0 百万円
	県債						0 百万円
	一般財源						0 百万円
	その他						0 百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

岩手県公共施設カルテ（個表：職員公舎・公営住宅用）

No. 18

1 施設概要

1	施設名称	農業研究センター県北農業研究所公舎	策定年月	R3.3	最終更新	R7.12
2	所在地	九戸郡軽米町大字軽米第2地割字萩田42番1	施設類型	庁舎等	財産区分	行政財産
3	所管課	農業研究センター県北農業研究所	運営形態	直営	防災施設等指定	非該当
4	都市計画区域	都市計画区域外	防火地域	指定なし	用途地域	指定なし
5	敷地面積	4,692.00 ㎡	建築面積	699.94 ㎡	延床面積	1,465.68 ㎡
6	竣工年度（建築年月）	1998年3月	経過年数（R7.4.1現在）	27 年	施設内棟数	2 棟
7	設置根拠	無				
8	設置目的	人事異動に伴う職員の負担軽減等、県の事務や事業を円滑に運営するとともに、職員の厚生福利に資するため、県職員及びその家族を居住する宿舎を設置。				
9	施設の概況	平成10年（1998年）3月に竣工され、令和7年（2025年）4月で建築から27年を迎える。 世帯用9戸、単身用9戸をそなえている。				
	類似施設	公共：無			民間：無	
10	未利用設備	有：空室あり（2室以上）			大規模改修：無	
10	使用許可等の有無	無				
11	備考（その他特記事項）					

	主要棟					
12	名称	公舎			現況写真	
13	構造	RC造	種目	住宅建		
14	階数	地上 3階	地下	0階		
15	建築面積	600.58 ㎡	延床面積	1,366.32 ㎡		
16	建築年月日	1998年3月	法定耐用年数	47 年		
17	耐震診断	不要	耐震改修	不要		
18	その他特記事項					

2 利用状況

24	R5利用状況	入居戸数	10 戸		入居可能戸数	18 戸	
24		稼働率	55.6%		定員数		
		入居戸数の推移（直近5年間）	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	増減率（R5/過去5年平均）
25			15戸	15戸	15戸	8戸	12戸	▲ 23.1%
26		施設利用対象者マクロデータ ※職員数	開設当時【A】（H9年4月時点） 20人		現　在【B】（R6年4月時点） 16人		増減率（マクロデータ）	▲ 20.0%

3 維持・管理費の状況（改修、大規模修繕などに含まれるものは除く）

（単位：千円）

行政コスト計算書	令和3年度	構成比	令和4年度	構成比	令和5年度	構成比
経常費用	**13,138**	**100.0%**	**13,207**	**100.0%**	**14,243**	**100.0%**
人件費	6,000	45.7%	6,000	45.4%	6,000	42.1%
物件費等	25	0.2%	249	1.9%	1,285	9.0%
維持修繕費		0.0%		0.0%		0.0%
減価償却費	7,113	54.1%	6,958	52.7%	6,958	48.9%
支払利息		0.0%		0.0%		0.0%
臨時損失	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**
災害復旧事業費		0.0%		0.0%		0.0%
その他		0.0%		0.0%		0.0%
28 **支出合計**	**13,138**	**100.0%**	**13,207**	**100.0%**	**14,243**	**100.0%**
経常収益（直接的収入）	**2,125**	**100.0%**	**2,255**	**100.0%**	**2,171**	**100.0%**
使用料・手数料		0.0%		0.0%		0.0%
その他	2,125	100.0%	2,255	100.0%	2,171	100.0%
臨時利益（直接的収入）	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**
資産売却益		0.0%		0.0%		0.0%
その他		0.0%		0.0%		0.0%
補助金等（間接的収入）	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**
国庫補助金		0.0%		0.0%		0.0%
その他		0.0%		0.0%		0.0%
収入合計	**2,125**	**100.0%**	**2,255**	**100.0%**	**2,171**	**100.0%**
年間コスト	**▲ 11,013**		**▲ 10,952**		**▲ 12,072**	

29	入居戸数	8	戸	12	戸	10	戸
30	1戸当たりコスト	1,376,625	円/戸	912,667	円/戸	1,207,200	円/戸
31	（参考）県民1人当たりコスト	9	円/人	9	円/人	10	円/人
32	有形固定資産減価償却率	57.0	%	59.3	%	61.6	%

（参考）岩手県の人口

（単位：人）

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

4 施設内建物の概要

		① 建 築	② 電気設備	③ 機械設備
33	主な建築・設備	屋根シート防水他	電灯設備	給水設備(加圧送水方式)
		外壁コンクリート打放他	自動火災報知設備	給湯設備(局所式ガス湯沸器)
			テレビ共同受信設備	ガス設備(液化石油ガス)
				消火設備(粉末消化)
34	劣化度調査	側溝、フェンス一部傾斜	非常用照明蓄電池バッテリー消耗	
		ドレン付近天井・窓周り塗装剥離		
35	定期点検	屋根シート防水亀裂・穴	非常用照明蓄電池バッテリー消耗	指摘なし
		笠木シーリング劣化		
		ドレン付近天井・窓周り塗装剥離		
36	改修・大規模修繕等工事履歴【百万円】			給水ポンプ改修(R2)【2】

47	直近5年改修・大規模修繕費	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計
	国庫						0百万円
	県債						0百万円
	一般財源	2百万円					2百万円
	その他						0百万円
	計	2百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	2百万円

5 施設評価

	1次評価(定量評価)	評価・分析結果
48	ソフト(利用状況×経費効率)	廃止(抜本的見直し)
49	ソフト×ハード(建物性能)	改善・見直し(複合化等)

2次評価(定性評価)	評価結果
施策上の必要性	高
代替の可能性	低

6 今後の方向性(たたき台)

50	施設の方向性	機能の方向性	集約化	建物の方向性	現状維持
51		生活スタイルの意識変化や高速交通網の整備により入居希望者が減少傾向にあることから、他の県有施設との集約化の可能性について検討していく必要があるが、へき地勤務職員の住居確保のため当面は現施設の機能を維持し、計画的な維持管理により施設機能を維持する。			

7 長寿命化等対策の方向性等

52	長寿命化等対策の方向性	建築後25年以上が経過していることから、定期点検や日常点検等により施設の劣化状況の把握に努め、計画的な維持管理により、コスト縮減・財政負担の平準化を考慮しながら長寿命化を図る。

		令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
53	主な維持修繕・改修の内容		照明設備改修(LED化)	照明設備改修(LED化)	照明設備改修(LED化)	照明設備改修(LED化)	
54	概算費用(見込)	0 百万円	5 百万円	5 百万円	5 百万円	5 百万円	20 百万円
	国庫						0 百万円
	県債						0 百万円
	一般財源		5 百万円	5 百万円	5 百万円	5 百万円	20 百万円
	その他						0 百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

岩手県公共施設カルテ（個表：職員公舎・公営住宅用）

No. 19

1 施設概要

1	施設名称	中部農業改良普及センター 西和賀普及サブセンター公舎	策定年月	R3.3	最終更新	R7.12
2	所在地	西和賀町川尻40地割40番86	施設類型	庁舎等	財産区分	行政財産
3	所管課	農林水産企画室	運営形態	直営	防災施設等指定	非該当
4	都市計画区域	都市計画区域外	防火地域	指定なし	用途地域	指定なし
5	敷地面積	301.14 ㎡	建築面積	149.00 ㎡	延床面積	296.00 ㎡
6	竣工年度 （建築年月）	2002年3月	経過年数 （R7.4.1現在）	23 年	施設内棟数	1 棟
7	設置根拠	無				
8	設置目的	人事異動に伴う職員の負担軽減等、県の事務や事業を円滑に運営するとともに、職員の厚生福利に資するため、県職員及びその家族を居住する宿舎を設置。				
9	施設の概況	平成14年（2002年）3月に竣工され、令和7年（2025年）4月で建築から23年を迎える。 単身用3戸をそなえている。				
	類似施設	公共	無		民間	無
10	未利用設備	有	空室あり（2室以上）		大規模改修	無
10	使用許可等の有無	無				
11	備考（その他特記事項）					

12	主要棟	名称	公舎			
13		構造	S造	種目	住宅建	
14		階数	地上 2階	地下	0階	
15		建築面積	149.00 ㎡	延床面積	296.00 ㎡	
16		建築年月日	2002年3月	法定耐用年数	34 年	
17		耐震診断	不要	耐震改修	不要	
18		その他特記事項				

現況写真

2 利用状況

24	R5利用状況	入居戸数	0 戸		入居可能戸数	3 戸	
24		稼働率	0.0%		定員数		
		入居戸数の推移 （直近5年間）	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	増減率 （R5/過去5年平均）
25			2戸	2戸	1戸	1戸	0戸	▲ 100.0%
26		施設利用対象者 マクロデータ ※職員数	開設当時【A】 （H14年3月時点）	5人	現　在【B】 （R6年4月時点）	5人	増減率 （マクロデータ）	0.0

3 維持・管理費の状況（改修、大規模修繕などに含まれるものは除く）

（単位：千円）

行政コスト計算書	令和3年度	構成比	令和4年度	構成比	令和5年度	構成比
経常費用	**9,570**	**100.0%**	**9,442**	**100.0%**	**9,851**	**100.0%**
人件費	6,000	62.7%	6,000	63.5%	6,000	60.9%
物件費等	2,421	25.3%	2,289	24.2%	2,328	23.6%
維持修繕費	183	1.9%	201	2.1%	571	5.8%
減価償却費	966	10.1%	952	10.1%	952	9.7%
支払利息		0.0%		0.0%		0.0%
臨時損失	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**
災害復旧事業費		0.0%		0.0%		0.0%
その他		0.0%		0.0%		0.0%
28 **支出合計**	**9,570**	**100.0%**	**9,442**	**100.0%**	**9,851**	**100.0%**
経常収益（直接的収入）	**159**	**100.0%**	**0**	－	**0**	－
使用料・手数料		0.0%		－		－
その他	159	100.0%		－		－
臨時利益（直接的収入）	**0**	**0.0%**	**0**	－	**0**	－
資産売却益		0.0%		－		－
その他		0.0%		－		－
補助金等（間接的収入）	**0**	**0.0%**	**0**	－	**0**	－
国庫補助金		0.0%		－		－
その他		0.0%		－		－
収入合計	**159**	**100.0%**	**0**	－	**0**	－
年間コスト	**▲ 9,411**		**▲ 9,442**		**▲ 9,851**	

29	入居戸数	1	戸	0	戸	0	戸
30	1戸当たりコスト	9,411,000	円/戸	9,445,000	円/戸	9,851,000	円/戸
31	（参考）県民1人当たりコスト	8	円/人	8	円/人	8	円/人
32	有形固定資産減価償却率	88.4	%	89.4	%	90.6	%

（参考）岩手県の人口

（単位：人）

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

4 施設内建物の概要

		① 建 築	② 電気設備	③ 機械設備
33	主な建築・設備	屋根 高強度ALC板、発砲ポリエチレン	電灯設備	冷暖房設備(温風暖房機)
		外壁 鉄骨銅縁、耐水石こうボード	インターホン	給水設備(水道直結方式)
		床 フローリング	弱電設備(テレビ共同受信)	排水施設(公共下水道)
		天井 軽鉄、ビニールクロス		給湯施設(液化石油ガス)
34	劣化度調査			
35	定期点検	・屋根一部変形		・非常用照明の蛍光灯の交換要
36	改修・大規模修繕等 工事履歴 【百万円】			

47	直近5年改修・大規模修繕費	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計
	国庫						0百万円
	県債						0百万円
	一般財源						0百万円
	その他						0百万円
	計	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円

5 施設評価

	1次評価(定量評価)	評価・分析結果
48	ソフト(利用状況×経費効率)	廃止(抜本的見直し)
49	ソフト×ハード(建物性能)	改善・見直し(複合化等)

2次評価(定性評価)	評価結果
施策上の必要性	高
代替の可能性	低

6 今後の方向性(たたき台)

50	施設の方向性	機能の方向性	集約化	建物の方向性	現状維持
51		生活スタイルの意識変化や高速交通網の整備により入居希望者が減少傾向にあることから、他の県有施設との集約化の可能性について検討していく必要があるが、へき地勤務職員の住居確保のため当面は現施設の機能を維持し、計画的な維持管理により施設機能を維持する。			

7 長寿命化等対策の方向性等

52	長寿命化等対策の方向性	建築後20年以上が経過していることから、定期点検や日常点検等により施設の劣化状況の把握に努め、計画的な維持管理により、コスト縮減・財政負担の平準化を考慮しながら長寿命化を図る。

53	主な維持修繕・改修の内容	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計

54	概算費用(見込)	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円
	国庫						0 百万円
	県債						0 百万円
	一般財源						0 百万円
	その他						0 百万円

※主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

岩手県公共施設カルテ（個表：県民利用施設用）

No. 20

1 施設概要

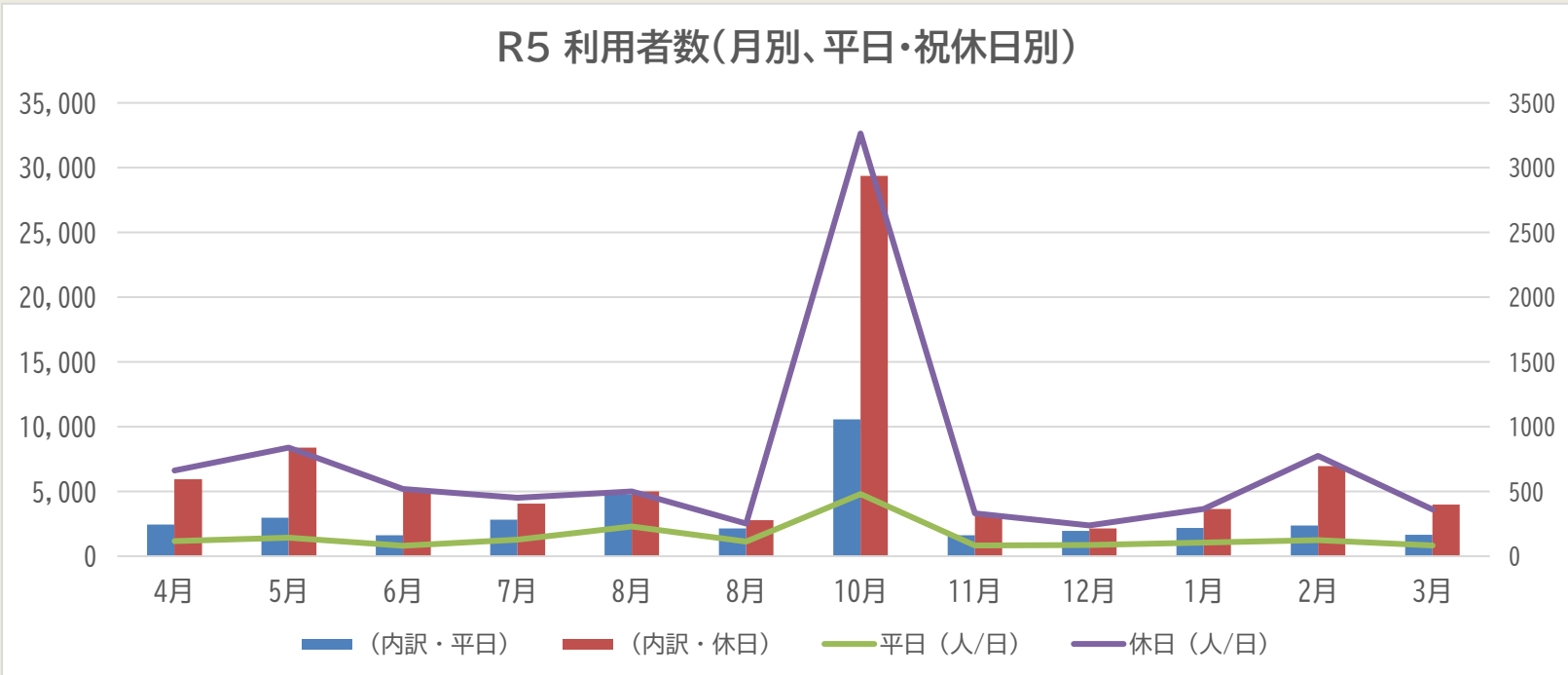
1	施設名称	岩手県県民の森	策定年月	R3.3	最終更新	R7.12
2	所在地	八幡平市松尾寄木第1地割515番5	施設類型	県民利用施設	財産区分	行政財産
3	所管課	盛岡広域振興局林務部	運営形態	指定管理	防災施設等指定	該当
4	都市計画区域	都市計画区域外	防火地域	指定なし	用途地域	指定なし
5	敷地面積	3,599,968.28 ㎡	建築面積	2,366.17 ㎡	延床面積	2,433.48 ㎡
6	竣工年度（建築年月）	1969年10月	経過年数（R7.4.1現在）	55 年	施設内棟数	12 棟
7	設置根拠	有　森林公園条例			年間目標利用者数	13万人
8	設置目的	森林公園条例に基づき、県民の保健、休養及び森林に対する知識の普及向上に資するとともに、青少年の森林に関する体験的学習による森林愛護思想の高揚を図るため設置された。				
9	施設の概況	岩手県県民の森は、昭和44年度に本県初の森林公園として設置したもので、昭和49年度の全国植樹祭及び昭和59年度の全国育樹祭の会場として使用された。その後、昭和63年度に木工教室等を実施する木材工芸センターを整備したほか、平成16年度には森林環境教育の拠点施設として森林ふれあい学習館が開館した。 園内にはキャンプ場、みんなの広場、記念の森（昭和49年全国植樹祭の会場）などがあり、森林と親しみ、木材の良さを学ぶことができる施設となっている。 春・秋の行楽シーズンにはさくらまつり及び紅葉まつりが、冬には七滝氷瀑ツアーが開催されるなど、1年を通してイベントを実施しているほか、令和4年度に設置した木育コーナーでは、未就学児を含む家族連れ等、幅広い年齢層の利用者が、気軽に木とふれあうことができる。				
	類似施設	公共　有　七ツ森森林公園（雫石町）		民間	有	
10	未利用設備	有　便所2箇所（老朽化により使用不可）、テントデッキ5台（老朽化により使用不可）		大規模改修	有	
10	使用許可等の有無	有　発電所用地、温泉引湯管敷地、公共給水管理施設及び配水池敷地、電気通信事業の設備設置等				

社会目的適合性 ※県民利用施設等のみ	①施設の設置目的	森林公園条例に基づき、県民の保健、休養及び森林に対する知識の普及向上に資するとともに、青少年の森林に関する体験的学習による森林愛護思想の高揚を図るため設置された。
	②建物が提供する機能	森林公園ふれあい学習館は岩手の自然や森林・林業・木材利用について遊びながら学べる施設であり、その建物は、構造材、フローリング、椅子などの家具に至るまで、県産材のカラマツ、アカマツなどを使用し、木材の地産地消を推進しながら利用者が木とふれあうことができる。 暖房としてチップボイラーによる床暖房を採用しており、森林資源の有効活用の一例として木質バイオマス利用を推進している。
	③設置目的の適合性	幅広い年齢層の利用者が、楽しみながら岩手県の森林や林業について学んでいるほか、森林体験学習のフィールドとしても活用されていることから、設置目的に適合している。
	④施策上の必要性	「いわて県民計画（2019～2028）」第2期アクションプランにおいて、自然環境に係る今後の方向性として示している「「第 73 回全国植樹祭いわて 2023」の開催も契機とした、本県の優れた自然環境を次世代に引き継いでいくための取組の推進」を図るため、体験活動を実施する場所等として岩手県県民の森は必要である。
	⑤建物の必要性	岩手県の森林や林業に対する知識の普及を図るためには、森林等の屋外施設のほか、屋内の展示設備や研修室等が必要であることから、建物が必要である。
	⑥類似施設への代替可能性	同一市町村内に類似施設はない。 森林公園条例に基づき県が設置し、指定管理による管理を行うこととなっているほか、これまでに八幡平市から移管に係る要望はなく、移管の可能性はないと考える。
	⑦今後の方向性	整備から50年以上が経過したことなどから施設の修繕や見直しが必要となっている。 令和3年度から岩手の森林づくり県民税を活用した森林公園機能強化事業を実施しており、令和5年度までに木育コーナーの設置や遊歩道整備、案内板整備等を実施した。 令和6年度以降も引き続き、利便性の向上や利用拡大を図るため、施設の修繕及び機能強化に向けた取組を実施する。
	⑧利用者推移の分析	施設利用者数は、令和元年度までは年間13万人程度で推移していたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症流行の影響等により、年間75,073人にまで減少した。 その後、感染症流行の沈静化や、森林公園機能強化事業の効果により、令和5年度の施設利用者数は117,994人まで増加した。
	⑨設置目的の達成に向けたKGI	コロナ禍以前（令和元年度）の施設利用者数（年間13万人）を目標値とし、今後も、施設の修繕、機能強化及び広報活動に取り組む。（達成率：91%）

12	主要棟	名称	森林ふれあい学習館			現況写真
13		構造	W造	種目	事務所建	
14		階数	地上　2階	地下	0階	
15		建築面積	1,203.70 ㎡	延床面積	1,302.79 ㎡	
16		建築年月日	2004年3月	法定耐用年数	24 年	
17		耐震診断	不要	耐震改修	不要	
18		その他特記事項				

2 利用状況

29	R5利用状況	開館日数	365 日			開館時間		公園開放時間:24時間 森林ふれあい学習館開館時間:9:00～16:00		年間利用者数	117,994 人		
		月別・利用者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
30			8,424	11,371	6,803	6,891	9,770	4,946	39,936	4,962	4,089	5,835	9,329	5,638
31		（内訳・平日）	2,463	2,984	1,622	2,820	4,784	2,155	10,563	1,632	1,946	2,193	2,366	1,662
32		（内訳・休日）	5,961	8,387	5,181	4,071	4,986	2,791	29,373	3,330	2,143	3,642	6,963	3,976
33		利用者数内訳・団体	1,119 人					利用者数内訳・個人		116,875 人				
		利用者数の推移（直近5年間）	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		増減率（R5/過去5年平均）
34			143,294人		132,141人		75,073人		85,872人		106,109人		8.8%
35		施設利用対象者マクロデータ ※県人口	開設当時【A】（S44年10月時点）		1,371,079人		現　在【B】（R6年4月時点）		1,150,784人		増減率（マクロデータ）		▲ 16.1%
36		令和5年度施設利用者推移											



3 維持・管理費の状況（改修、大規模修繕などに含まれるものは除く）

（単位:千円）

	行政コスト計算書	令和3年度	構成比	令和4年度	構成比	令和5年度	構成比
	経常費用	**58,919**	**100.0%**	**107,786**	**100.0%**	**56,012**	**100.0%**
	人件費	16,984	28.8%	16,359	15.2%	16,383	29.2%
	物件費等	16,600	28.2%	31,208	29.0%	14,053	25.1%
	維持修繕費	3,168	5.4%	38,052	35.3%	595	1.1%
	減価償却費	22,167	37.6%	22,167	20.6%	24,981	44.6%
	支払利息		0.0%		0.0%		0.0%
	臨時損失	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**
	災害復旧事業費		0.0%		0.0%		0.0%
	その他		0.0%		0.0%		0.0%
28	**支出合計**	**58,919**	**100.0%**	**107,786**	**100.0%**	**56,012**	**100.0%**
	経常収益（直接的収入）	**449**	**100.0%**	**467**	**100.0%**	**133**	**100.0%**
	使用料・手数料	154	34.2%	172	36.8%	43	32.3%
	その他	295	65.8%	295	63.2%	90	67.7%
	臨時利益（直接的収入）	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**
	資産売却益		0.0%		0.0%		0.0%
	その他		0.0%		0.0%		0.0%
	補助金等（間接的収入）	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**
	国庫補助金		0.0%		0.0%		0.0%
	その他		0.0%		0.0%		0.0%
	収入合計	**449**	**100.0%**	**467**	**100.0%**	**133**	**100.0%**
	年間コスト	**▲ 58,471**		**▲ 107,319**		**▲ 55,879**	

29	年間利用者数	85,872	人	106,109	人	117,994	人
30	延床面積当たりコスト	24,028	円/㎡	44,101	円/㎡	22,963	円/㎡
31	利用者1人当たりコスト	681	円/人	1,011	円/人	474	円/人
32	（参考）県民1人当たりコスト	49	円/人	91	円/人	48	円/人
33	有形固定資産減価償却率	81.5	%	84.5	%	87.3	%

（参考）岩手県の人口　（単位:人）

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

4 施設内建物の概要

34	番号:建物名称		森林ふれあい学習館				21世紀の森木材工芸センター					
35	構 造 / 種 目		W造		事務所建		W造		事務所建			
36	階 数		地上	2 階	地下	0 階	地上	1 階	地下	0 階	地上	地下
37	建築面積		1,203.70 ㎡				241.77 ㎡					
38	延床面積		1,302.79 ㎡				241.77 ㎡					
39	建築年月		2004年3月		耐用年数	24年	1989年2月		耐用年数	24年		耐用年数
40	耐震診断 / 耐震改修		不要		不要		不要		不要			
41	その他特記事項											
42	主な建築・設備	建 築	屋根仕上:長尺カラー鉄板t0.4				屋根仕上:カラー鉄板t0.4					
			外壁仕上:構造用パネt9				外壁仕上:アカマツ本実ドイツ下見板t15					
			床仕上:カラマツ無垢フローリングt15				床仕上:天然木フローリングボードt18					
			壁仕上:EP塗装				壁仕上:カラマツ本実ドイツ下見板t12					
		電気設備	受変電設備(屋外形ｷｭｰﾋﾞｸﾙ式)				電灯設備					
			電灯設備				非常警報設備					
			非常警報設備									
			ｴﾚﾍﾞｰﾀｰ設備(乗用EV)									
		機械設備	冷暖房設備(温水方式・ｴｱｺﾝ等)				冷暖房設備(FFｽﾄｰﾌﾞ等)					
			熱源設備(鋼製ﾎﾞｲﾗｰ)				給排水設備(水道直結方式、浄化槽)					
			空調機器(ﾊﾟｯｹｰｼﾞ形)				給湯設備(ｶﾞｽ湯沸器)					
			給排水設備(水道直結方式、浄化槽)				ｶﾞｽ設備(液化石油ｶﾞｽ)					
43	劣化度調査	建 築	一部屋根材が積雪重量によりせり出している				外壁に穴、浮き					
			外壁の一部腐食、剥がれ				外部階段、手すり一部腐れ					
			バルコニー手すり破損				鍵不良、南京錠を取り付けて対応					
		電気設備					外灯回路配線絶縁不良、電柱用キャビネット腐食					
		機械設備	温水ヘッダーの水漏れ等				給水配管の水漏れ					
			エアコンの熱交換器が一部腐食				トイレ便器からの水漏れ					
							換気扇不動作多数					
44	定期点検	建 築	R5:温水ヘッダーバルブ水漏れ等									
		電気設備	R6:電気設備 区分開閉器等の更新推奨 R6:昇降機 制御盤等劣化 R6:自動ドア センサー等交換推奨				R6:漏電遮断器テストボタンの動作不良					
		機械設備										
45	修繕等 工事履歴	建 築										
		電気設備	非常照明等修繕工事(R2)【3】									
			エレベーター制御盤更新工事(R3)【1】									
			電圧機更新工事(R3)【1】									
		機械設備	トイレ修繕工事(R2)【1】									
			チップボイラー操作盤修繕工事(R2)【1】									
			チップボイラー更新工事(R4)【47】									

46	直近5年の維持修繕・改修費	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計
	国庫						0百万円
	県債						0百万円
	一般財源	5百万円	2百万円	47百万円	0百万円	1百万円	55百万円
	その他						0百万円
	計	5百万円	2百万円	47百万円	0百万円	1百万円	55百万円

5 施設評価

	1次評価(定量評価)	評価・分析結果
47		
48	ソフト(利用状況×経費効率)	現状維持
49	ソフト×ハード(建物性能)	改善・見直し(長寿命化)

2次評価(定性評価)	評価結果
施策上の必要性	低
代替の可能性	低

6 今後の方向性(たたき台)

54	施設全体の方針	機能の方向性	集約化	建物の方向性	長寿命化改修
		森林公園全体については集約の方向性を基本とし、設置目的の有効性に鑑み、5つの森林公園の中で最も利用者が多い県民の森に、全ての森林公園を集約、長寿命化を図りつつ、施設・設備の規模や使用料の見直しによる適正化を図っていくことが望ましい。		

7 長寿命化等対策の方向性等

56	長寿命化等対策の方向性	建物性能・劣化度など老朽化の状況や利用状況などを総合的に勘案しつつ、今後とも県が保有し行政サービスを提供することが適当であることから、計画的に長寿命化を実施する。 計画的な維持管理と長寿命化の推進により、施設の維持管理や修繕、更新等に係る中長期的なコストの縮減・財政負担の平準化に取り組む。					
57	主な維持修繕・改修の内容	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
		・電気設備引込区分開閉器取替修繕 ・自動ドア修繕 ・エレベーター機能維持修繕 ・給水配管漏水修繕 ・照明リモコンスイッチ修繕 ・支障木伐採(みんなの広場シラカバ)	・除雪車更新 ・森林ふれあい学習館照明LED化 ・木材工芸センター照明LED化	・機材保管庫塗装 ・森林ふれあい学習館エレベーター安全対策 ・草刈機更新 ・支障木伐採(登山道沿い)	・希樹園東屋撤去 ・案内板撤去(3基) ・野営場整備	・駐車場砂利舗装	
58	概算費用(見込)	6 百万円	17 百万円	8 百万円	6 百万円	7 百万円	44 百万円
	国庫						0 百万円
	県債						0 百万円
	一般財源	6 百万円	17 百万円	8 百万円	6 百万円	7 百万円	44 百万円
	その他						0 百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

岩手県公共施設カルテ（個表：県民利用施設用）

No. 21

1 施設概要

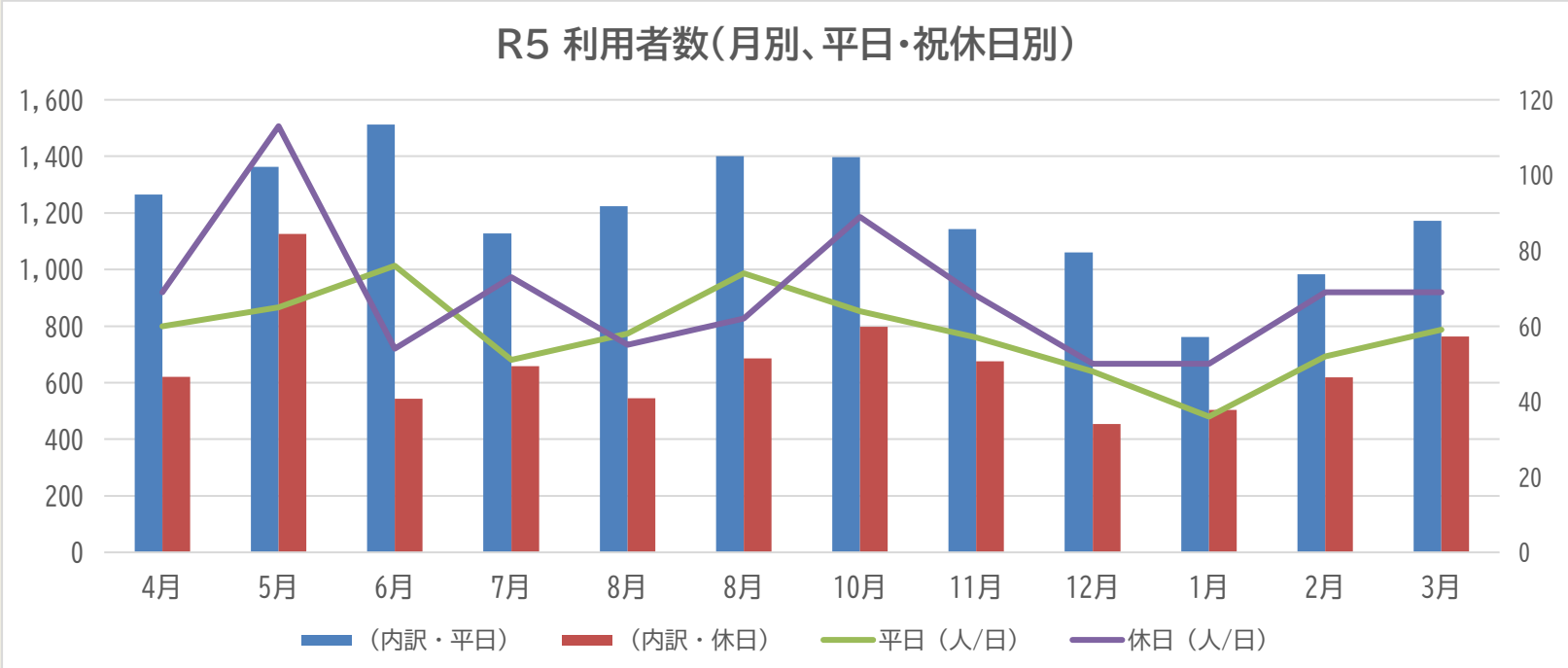
1	施設名称	岩手県滝沢森林公園	策定年月	R3.3	最終更新	R7.12
2	所在地	滝沢市砂込1533－1	施設類型	県民利用施設	財産区分	行政財産
3	所管課	盛岡広域振興局林務部	運営形態	指定管理	防災施設等指定	非該当
4	都市計画区域	都市計画区域外	防火地域	指定なし	用途地域	指定なし
5	敷地面積	621,051.98 ㎡	建築面積	420.33 ㎡	延床面積	480.80 ㎡
6	竣工年度（建築年月）	1983年10月	経過年数（R7.4.1現在）	41 年	施設内棟数	8 棟
7	設置根拠	有　森林公園条例			年間目標利用者数	3万人
8	設置目的	森林公園条例に基づき、県民の保健、休養及び森林に対する知識の普及向上に資するとともに、青少年の森林に関する体験的学習による森林愛護思想の高揚を図るため設置された。				
9	施設の概況	滝沢森林公園は、昭和58年度に設置したもので、平成元年に野鳥観察の森ネイチャーセンターを整備した。 園内には、およそ200種類の樹木で構成される森林の中に水辺の広場、ツツジ園、林間広場、ネイチャーセンターなどがあり、幅広い年齢層の利用者が森林と親しむことができる施設となっている。 ネイチャーセンターにおいて、気軽に野鳥観察を楽しめるほか、森の観察会やネイチャーゲーム、バード・カービング教室、野鳥を描くスケッチ教室などのイベントを毎月実施している。				
	類似施設	公共　有　盛岡市外山森林公園（盛岡市）		民間	無	
10	未利用設備	無		大規模改修	無	
10	使用許可等の有無	有　架空配電線路電柱敷地、用水路設置用地、電気通信事業の設備設置等				

社会目的適合性 ※県民利用施設等のみ	①施設の設置目的	森林公園条例に基づき、県民の保健、休養及び森林に対する知識の普及向上に資するとともに、青少年の森林に関する体験的学習による森林愛護思想の高揚を図るため設置された。
	②建物が提供する機能	ネイチャーセンターは、野鳥や森の観察を楽しむための施設として、双眼鏡やデジタルスコープ、自然環境に関する展示や図書等が整備されており、森林への理解醸成の機能を提供している
	③設置目的の適合性	幅広い年齢層の利用者が、楽しみながら岩手県の森林や林業について学んでいるほか、森林体験学習のフィールドとしても活用されていることから、設置目的に適合している。
	④施策上の必要性	「いわて県民計画（2019～2028）」第2期アクションプランにおいて、自然環境に係る今後の方向性として示している、「「第 73 回全国植樹祭いわて 2023」の開催も契機とした、本県の優れた自然環境を次世代に引き継いでいくための取組の推進」を図るため、体験活動を実施する場所等として滝沢森林公園は必要である。
	⑤建物の必要性	岩手県の森林や林業に対する知識の普及を図るためには、森林等の屋外施設のほか、屋内の展示設備や研修室等が必要であることから、建物が必要である。
	⑥類似施設への代替可能性	同一市町村内に類似施設はない。 森林公園条例に基づき県が設置し、指定管理による管理を行うこととなっているほか、これまでに滝沢市から移管に係る要望はなく、移管の可能性はないと考える。
	⑦今後の方向性	整備から40年以上が経過したことなどから施設の修繕や見直しが必要となっている。 令和3年度から岩手の森林づくり県民税を活用した森林公園機能強化事業を実施しており、令和5年度までにトイレ洋式化や遊歩道整備、ベンチ整備、案内板整備等を実施した。 令和6年度以降も引き続き、利便性の向上や利用拡大を図るため、施設の修繕及び機能強化に向けた取組を実施する。
	⑧利用者推移の分析	施設利用者数は、令和元年度までは年間3万人程度で推移していたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症流行の影響等により、年間26,854人にまで減少した。 それ以降も施設利用者数の減少が続いており、令和5年度の施設利用者数は22,401人となっている。
	⑨設置目的の達成に向けたKGI	コロナ禍以前（令和元年度）の施設利用者数（年間3万人）を目標値とし、今後も、施設の修繕、機能強化及び広報活動に取り組む。（達成率：75％）

12	主要棟	名称	野鳥観察の森ネイチャーセンター			現況写真
13		構造	W造	種目	事務所建	
14		階数	地上 2階	地下	0階	
15		建築面積	256.41 ㎡	延床面積	332.51 ㎡	
16		建築年月日	1989年3月	法定耐用年数	24 年	
17		耐震診断	不要	耐震改修	不要	
18		その他特記事項				

2 利用状況

29	R5利用状況	開館日数	365 日			開館時間		公園開放時間:24時間 野鳥観察の森ネイチャーセンター開館時間:9:00～16:30		年間利用者数		22,401 人	
		月別・利用者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
30			1,886	2,488	2,057	1,785	1,768	2,087	2,195	1,819	1,513	1,264	1,602	1,937
31		（内訳・平日）	1,265	1,363	1,513	1,127	1,223	1,401	1,398	1,143	1,060	761	983	1,173
32		（内訳・休日）	621	1,125	544	658	545	686	797	676	453	503	619	764
33		利用者数内訳・団体	データなし					利用者数内訳・個人		データなし				
		利用者数の推移（直近5年間）	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		増減率（R5/過去5年平均）
34			29,367人		31,091人		26,854人		24,432人		23,295人		▲ 17.1%
35		施設利用対象者マクロデータ ※県人口	開設当時【A】（S58年10月時点）		1,427,061人		現　在【B】（R6年4月時点）		1,150,784人		増減率（マクロデータ）		▲ 19.4%
36		令和5年度施設利用者推移											



3 維持・管理費の状況（改修、大規模修繕などに含まれるものは除く）

（単位:千円）

	行政コスト計算書	令和3年度	構成比	令和4年度	構成比	令和5年度	構成比
	経常費用	**28,324**	**100.0%**	**66,793**	**100.0%**	**24,482**	**100.0%**
	人件費	12,554	44.3%	12,554	18.8%	8,048	32.9%
	物件費等	12,948	45.7%	23,883	35.8%	15,808	64.6%
	維持修繕費	2,436	8.6%	29,971	44.9%	240	1.0%
	減価償却費	386	1.4%	386	0.6%	386	1.6%
	支払利息		0.0%		0.0%		0.0%
	臨時損失	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**
	災害復旧事業費		0.0%		0.0%		0.0%
	その他		0.0%		0.0%		0.0%
28	**支出合計**	**28,324**	**100.0%**	**66,793**	**100.0%**	**24,482**	**100.0%**
	経常収益（直接的収入）	**61**	**100.0%**	**61**	**100.0%**	**225**	**100.0%**
	使用料・手数料		0.0%		0.0%	225	100.0%
	その他	61	100.0%	61	100.0%		0.0%
	臨時利益（直接的収入）	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**
	資産売却益		0.0%		0.0%		0.0%
	その他		0.0%		0.0%		0.0%
	補助金等（間接的収入）	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**
	国庫補助金		0.0%		0.0%		0.0%
	その他		0.0%		0.0%		0.0%
	収入合計	**61**	**100.0%**	**61**	**100.0%**	**225**	**100.0%**
	年間コスト	**▲ 28,263**		**▲ 66,732**		**▲ 24,257**	

29	年間利用者数	24,432	人	23,295	人	22,401	人
30	延床面積当たりコスト	58,783	円/㎡	138,794	円/㎡	50,451	円/㎡
31	利用者1人当たりコスト	1,157	円/人	2,865	円/人	1,083	円/人
32	（参考）県民1人当たりコスト	24	円/人	57	円/人	21	円/人
33	有形固定資産減価償却率	87.8	%	88.2	%	88.6	%

（参考）岩手県の人口

（単位:人）

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

4 施設内建物の概要

		① 建 築	② 電気設備	③ 機械設備
33	主な建築・設備		電灯設備	冷暖房設備(FFｽﾄｰﾌﾞ等)
			自動火災報知設備	給水設備(水道直結方式)
			非常警報設備	給湯設備(ｶﾞｽ湯沸器)
			構内交換設備	ｶﾞｽ設備(液化石油ｶﾞｽ)
			弱電設備(拡声)	消火設備(粉末消火)
34	劣化度調査	外壁及び軒天に穴あり		ガス器具のT字のプラ接合部にヒビ
		木柵、木製手すり一部腐蝕		
		室内の一部の木柱に亀裂		
35	定期点検			
36	改修・大規模修繕等 工事履歴 【百万円】			

47	直近5年改修・大規模修繕費	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計
	国庫						0百万円
	県債						0百万円
	一般財源						0百万円
	その他						0百万円
	計	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円

5 施設評価

	1次評価(定量評価)	評価・分析結果
48	ソフト(利用状況×経費効率)	廃止(抜本的見直し)
49	ソフト×ハード(建物性能)	廃止(抜本的見直し)

2次評価(定性評価)	評価結果
施策上の必要性	低
代替の可能性	低

6 今後の方向性(たたき台)

50	施設の方向性	機能の方向性	集約化	建物の方向性	解体
51		森林公園全体については集約の方向性を基本とし、設置目的の有効性に鑑み、5つの森林公園の中で最も利用者が多い県民の森に、全ての森林公園を集約、長寿命化を図りつつ、施設・設備の規模や使用料の見直しによる適正化を図っていくことが望ましい。 また、滝沢森林公園は、県立大学及び盛岡大学に近接する好立地であり、市、民間への譲渡を含めた有効活用について検討する余地がある。		

7 長寿命化等対策の方向性等

52	長寿命化等対策の方向性	経年劣化が見られる箇所等のうち、施設管理への影響が大きく、緊急性が高い設備の更新等を優先し対策を図る。

53	主な維持修繕・改修の内容	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
		・支障木伐採	・支障木伐採	・支障木伐採 ・野外トイレ更新(設計) ・ネイチャーセンター照明LED化	・支障木伐採 ・野外トイレ更新(工事)	・支障木伐採	

54	概算費用(見込)	2 百万円	3 百万円	12 百万円	37 百万円	3 百万円	57 百万円
	国庫						0 百万円
	県債						0 百万円
	一般財源	2 百万円	3 百万円	12 百万円	37 百万円	3 百万円	57 百万円
	その他						0 百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

岩手県公共施設カルテ（個表：県民利用施設用）

No. 22

1 施設概要

1	施設名称	岩手県千貫石森林公園	策定年月	R3.3	最終更新	R7.12
2	所在地	胆沢郡金ケ崎町西根後千貫石15-1	施設類型	県民利用施設	財産区分	行政財産
3	所管課	県南広域振興局林務部	運営形態	指定管理	防災施設等指定	非該当
4	都市計画区域	都市計画区域外	防火地域	指定なし	用途地域	指定なし
5	敷地面積	9,755,259.38 ㎡	建築面積	493.16 ㎡	延床面積	500.98 ㎡
6	竣工年度（建築年月）	1994年10月	経過年数（R7.4.1現在）	30 年	施設内棟数	7 棟
7	設置根拠	有　森林公園条例			年間目標利用者数	1.2万人
8	設置目的	森林公園条例に基づき、県民の保健、休養及び森林に対する知識の普及向上に資するとともに、青少年の森林に関する体験的学習による森林愛護思想の高揚を図るため設置された。				
9	施設の概況	千貫石森林公園は、平成6年度に設置したもので、同年にもりの学び舎（森林環境学習施設）を整備した。 千貫石ため池に隣接し、豊富な水辺環境を有するほか、広大な園内を周遊する舗装車道が整備されており、森林と親しみ、木材の良さを学ぶことができる施設となっている。 定期的に木工・工作ワークショップ等のイベントを実施しているほか、令和4年度に設置した木育コーナーでは、未就学児を含む家族連れ等、幅広い年齢層の利用者が、気軽に木とふれあうことができる。				
	類似施設	公共　有　大師山森林公園（奥州市）		民間	無	
10	未利用設備	有　野鳥観察小屋、作業員宿舎、あずまや、炭焼き施設		大規模改修	無	
10	使用許可等の有無	有　架空送電線路敷地、電気通信事業設備設置、架空配電線路電柱敷地、水路用地等				

社会目的適合性 ※県民利用施設等のみ	①施設の設置目的	森林公園条例に基づき、県民の保健、休養及び森林に対する知識の普及向上に資するとともに、青少年の森林に関する体験的学習による森林愛護思想の高揚を図るため設置された。
	②建物が提供する機能	もりの学び舎は岩手の自然や森林・林業・木材利用について遊びながら学べる施設であり、令和4年度に設置した木育コーナーでは、未就学児を含む家族連れ等、多様な年齢層の利用者が、気軽に木とふれあうことができる。
	③設置目的の適合性	幅広い年齢層の利用者が、楽しみながら岩手県の森林や林業について学んでいるほか、森林体験学習のフィールドとしても活用されていることから、設置目的に適合している。
	④施策上の必要性	「いわて県民計画（2019～2028）」第2期アクションプランにおいて、自然環境に係る今後の方向性として示している、「「第 73 回全国植樹祭いわて 2023」の開催も契機とした、本県の優れた自然環境を次世代に引き継いでいくための取組の推進」を図るため、体験活動を実施する場所等として千貫石森林公園は必要である。
	⑤建物の必要性	岩手県の森林や林業に対する知識の普及を図るためには、森林等の屋外施設のほか、屋内の展示設備や研修室等が必要であることから、建物が必要である。
	⑥類似施設への代替可能性	同一市町村内に類似施設はない。 森林公園条例に基づき県が設置し、指定管理による管理を行うこととなっているほか、これまでに金ケ崎町から移管に係る要望はなく、移管の可能性はないと考える。
	⑦今後の方向性	整備から30年以上が経過したことなどから施設の修繕や見直しが必要となっている。 令和3年度から岩手の森林づくり県民税を活用した森林公園機能強化事業を実施しており、令和5年度までに木育コーナーの設置やトイレ洋式化、ベンチ整備、案内板整備等を実施した。 令和6年度以降も引き続き、利便性の向上や利用拡大を図るため、施設の修繕及び機能強化に向けた取組を実施する。
	⑧利用者推移の分析	施設利用者数は、令和元年度までは年間7千人程度で推移していたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症流行の影響等により、年間6,064人にまで減少した。 その後、感染症流行の沈静化及び機能強化事業の効果により、令和5年度の施設利用者数は12,445人まで増加しており、統計開始（平成15年）以降で最高の値となった。
	⑨設置目的の達成に向けたKGI	現状の施設利用者数（年間1.2万人）を目標値とし、今後も、施設の修繕、機能強化及び広報活動に取り組む。（達成率：104％）

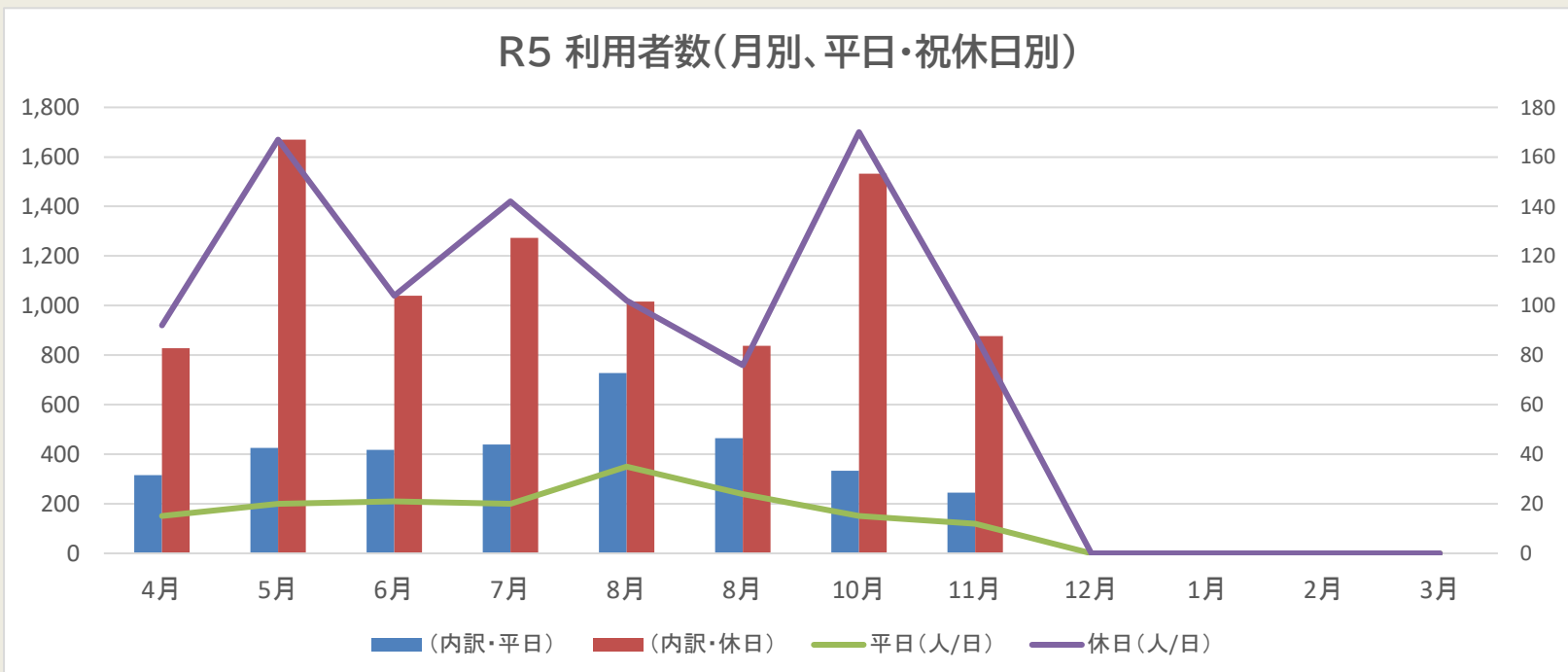
12	主要棟	名称	もりの学び舎			
13		構造	W造	種目	事務所建	
14		階数	地上 2階	地下	1階	
15		建築面積	349.27 ㎡	延床面積	364.48 ㎡	
16		建築年月日	1995年3月	法定耐用年数	24 年	
17		耐震診断	不要	耐震改修	不要	
18		その他特記事項				

現況写真

2 利用状況

29	R5利用状況	開館日数	244 日			開館時間		公園の開放時間:24時間 もりの学び舎開館時間:9:00～16:00		年間利用者数		12,445 人	
		月別・利用者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
30			1,144	2,095	1,458	1,714	1,744	1,302	1,866	1,122	0	0	0	0
31		（内訳・平日）	316	426	418	440	728	464	334	246	0	0	0	0
32		（内訳・休日）	828	1,669	1,040	1,274	1,016	838	1,532	876	0	0	0	0
33		利用者数内訳・団体	488 人					利用者数内訳・個人		11,957 人				
		利用者数の推移（直近5年間）	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		増減率（R5/過去5年平均）
34			7,032人		7,690人		6,064人		6,178人		6,018人		88.7%
35		施設利用対象者マクロデータ ※県人口	開設当時【A】（H6年10月時点）		1,416,736人		現　在【B】（R6年4月時点）		1,150,784人		増減率（マクロデータ）		▲ 18.8%

36 令和5年度 施設利用者推移



3 維持・管理費の状況（改修、大規模修繕などに含まれるものは除く）

（単位：千円）

	行政コスト計算書	令和3年度	構成比	令和4年度	構成比	令和5年度	構成比
	経常費用	**8,969**	**100.0%**	**17,535**	**100.0%**	**7,771**	**100.0%**
	人件費	5,356	59.7%	5,440	31.0%	5,089	65.5%
	物件費等	3,006	33.5%	5,369	30.6%	2,440	31.4%
	維持修繕費	524	5.8%	6,644	37.9%	160	2.1%
	減価償却費	82	0.9%	82	0.5%	82	1.1%
	支払利息		0.0%		0.0%		0.0%
	臨時損失	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**
	災害復旧事業費		0.0%		0.0%		0.0%
	その他		0.0%		0.0%		0.0%
28	**支出合計**	**8,969**	**100.0%**	**17,535**	**100.0%**	**7,771**	**100.0%**
	経常収益（直接的収入）	**37**	**100.0%**	**33**	**100.0%**	**53**	**100.0%**
	使用料・手数料	5	12.7%	0	0.0%	10	18.9%
	その他	33	87.3%	33	100.0%	43	81.1%
	臨時利益（直接的収入）	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**
	資産売却益		0.0%		0.0%		0.0%
	その他		0.0%		0.0%		0.0%
	補助金等（間接的収入）	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**
	国庫補助金		0.0%		0.0%		0.0%
	その他		0.0%		0.0%		0.0%
	収入合計	**37**	**100.0%**	**33**	**100.0%**	**53**	**100.0%**
	年間コスト	**▲ 8,932**		**▲ 17,502**		**▲ 7,718**	

29	年間利用者数	6,178	人	6,018	人	12,445	人
30	延床面積当たりコスト	17,828	円/㎡	34,936	円/㎡	15,406	円/㎡
31	利用者1人当たりコスト	1,446	円/人	2,908	円/人	620	円/人
32	（参考）県民1人当たりコスト	7	円/人	15	円/人	7	円/人
33	有形固定資産減価償却率	98.9	%	98.9	%	99.0	%

（参考）岩手県の人口

（単位：人）

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

4 施設内建物の概要

		① 建 築	② 電気設備	③ 機械設備
33	主な建築・設備	屋根：着色亜鉛鉄板、アスファルトルーフィング22kg品	電灯設備	冷暖房設備（FFストーブ等）
		外壁：F-コンクリート型枠打放・小叩仕上	非常用照明設備	給水設備（水道直結方式）
		展示室床：コンクリート金鏝下地、長尺重歩行用床材	電話設備	排水設備（浄化槽）
			テレビ共聴設備	ガス設備（液化石油ガス）
			トイレ呼び出し設備	消火設備（粉末消火）
34	劣化度調査	天窓脇から雨漏りあり（R5コーキング処理済）		
		上記雨漏りによるシミあり		
		R6：水道管の漏水の恐れあり		
35	定期点検			R6：汚水処理施設送風機故障
36	改修・大規模修繕等工事履歴【百万円】	玄関ポーチ修繕（R4）【1】		トイレ洋式化（R3）【2】

47	直近5年改修・大規模修繕費	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計
	国庫						0百万円
	県債						0百万円
	一般財源		2百万円	2百万円		2百万円	6百万円
	その他						0百万円
	計	0百万円	2百万円	2百万円	0百万円	2百万円	6百万円

5 施設評価

	1次評価（定量評価）	評価・分析結果
48	ソフト（利用状況×経費効率）	現状維持
49	ソフト×ハード（建物性能）	現状維持

2次評価（定性評価）	評価結果
施策上の必要性	低
代替の可能性	低

6 今後の方向性（たたき台）

50	施設の方向性	機能の方向性	集約化	建物の方向性	解体
51		森林公園全体については集約の方向性を基本とし、設置目的の有効性に鑑み、5つの森林公園の中で最も利用者が多い県民の森に、全ての森林公園を集約、長寿命化を図りつつ、施設・設備の規模や使用料の見直しによる適正化を図っていくことが望ましい。		

7 長寿命化等対策の方向性等

52	長寿命化等対策の方向性	経年劣化が見られる箇所等のうち、施設管理への影響が大きく、緊急性が高い設備の更新等を優先し対策を図る。

		令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
53	主な維持修繕・改修の内容		・もりの学び舎照明LED化	・炭焼き施設解体 ・もりの学び舎屋根等修繕 ・管理道法面復旧工事	・作業員宿舎解体・撤去工事	・お花見広場東屋解体	
54	概算費用（見込）	0 百万円	3 百万円	4 百万円	4 百万円	2 百万円	13 百万円
	国庫						0 百万円
	県債						0 百万円
	一般財源		3 百万円	4 百万円	4 百万円	2 百万円	13 百万円
	その他						0 百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

岩手県公共施設カルテ（個表：県民利用施設用）

No. 23

1 施設概要

1	施設名称	岩手県大窪山森林公園	策定年月	R3.3	最終更新	R7.12
2	所在地	大船渡市三陸町吉浜字平根10-3	施設類型	県民利用施設	財産区分	行政財産
3	所管課	沿岸広域振興局農林部 大船渡農林振興センター	運営形態	指定管理	防災施設等指定	非該当
4	都市計画区域	都市計画区域外	防火地域	指定なし	用途地域	指定なし
5	敷地面積	5,768,429.01 ㎡	建築面積	386.10 ㎡	延床面積	340.30 ㎡
6	竣工年度 （建築年月）	1996年10月	経過年数 （R7.4.1現在）	28 年	施設内棟数	3 棟
7	設置根拠	有　森林公園条例			年間目標利用者数	3,500人
8	設置目的	森林公園条例に基づき、県民の保健、休養及び森林に対する知識の普及向上に資するとともに、青少年の森林に関する体験的学習による森林愛護思想の高揚を図るため設置された。				
9	施設の概況	大窪山森林公園は、平成8年度に設置したもので、平成10年度にもりの学び舎（森林環境学習施設）を整備した。 園内には、もりの学び舎のほか、野鳥等観察舎、散策路、樹木展示林等があり、森林と親しみ、木材の良さを学ぶことができる施設となっている。 定期的に散策会や木工教室等のイベントを実施しているほか、令和3年度に設置した木育コーナーでは、未就学児を含む家族連れ等、幅広い年齢層の利用者が、気軽に木とふれあうことができる。				
	類似施設	公共　有　飛ヶ森森林公園（一関市）	民間	無		
10	未利用設備	無	大規模改修	無		
10	使用許可等の有無	有　市道敷地、無線中継所敷地及び同管理用道路敷地、電気通信事業の設備設置用地等				

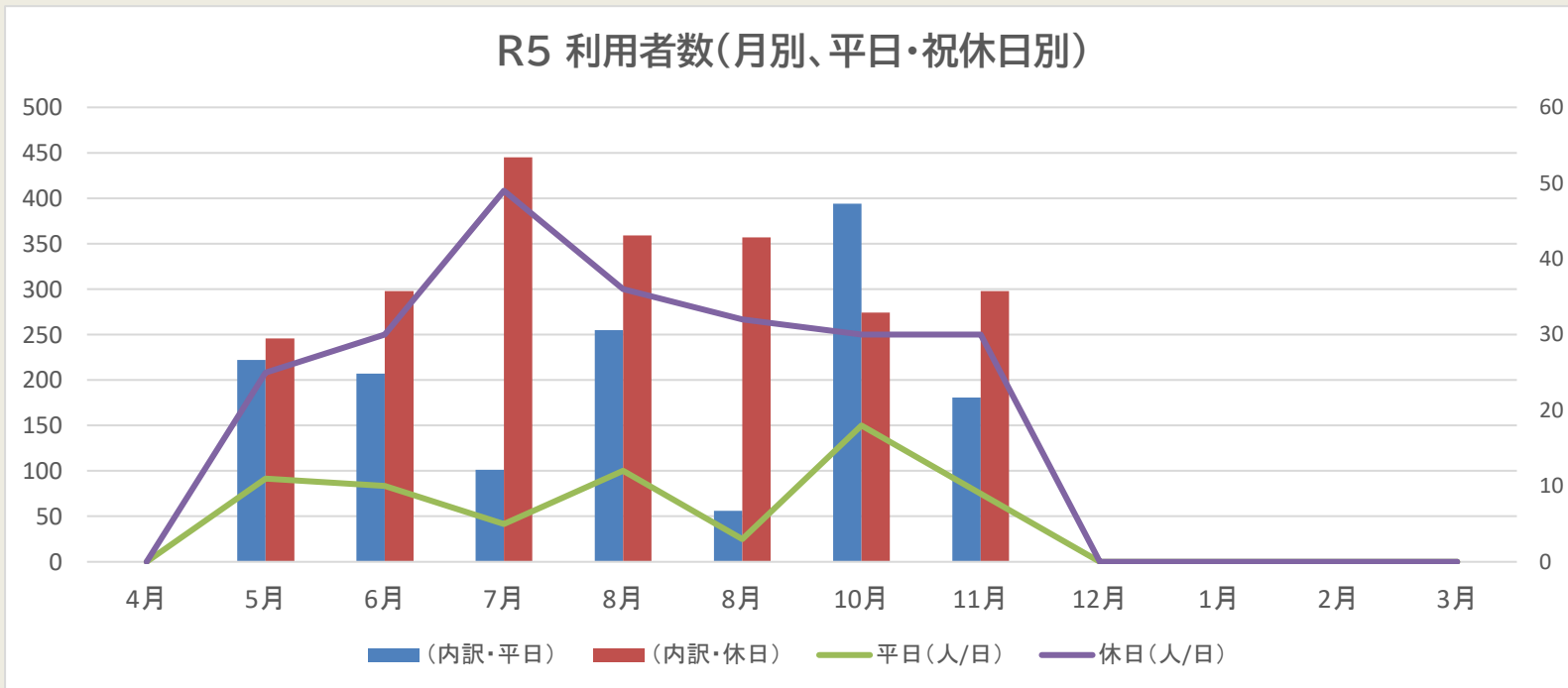
社会目的適合性 ※県民利用施設等のみ	①施設の設置目的	森林公園条例に基づき、県民の保健、休養及び森林に対する知識の普及向上に資するとともに、青少年の森林に関する体験的学習による森林愛護思想の高揚を図るため設置された。
	②建物が提供する機能	もりの学び舎は岩手の自然や森林・林業・木材利用について遊びながら学べる施設であり、令和3年度に設置した木育コーナーでは、未就学児を含む家族連れ等が気軽に木とふれあうことができる。
	③設置目的の適合性	幅広い年齢層の利用者が、楽しみながら岩手県の森林や林業について学んでいるほか、森林体験学習のフィールドとしても活用されていることから、設置目的に適合している。
	④施策上の必要性	「いわて県民計画（2019～2028）」第2期アクションプランにおいて、自然環境に係る今後の方向性として示している、「「第 73 回全国植樹祭いわて 2023」の開催も契機とした、本県の優れた自然環境を次世代に引き継いでいくための取組の推進」を図るため、体験活動を実施する場所等として大窪山森林公園は必要である。
	⑤建物の必要性	岩手県の森林や林業に対する知識の普及を図るためには、森林等の屋外施設のほか、屋内の展示設備や研修室等が必要であることから、建物が必要である。
	⑥類似施設への代替可能性	同一市町村内に類似施設はない。 森林公園条例に基づき県が設置し、指定管理による管理を行うこととなっているほか、これまでに大船渡市から移管に係る要望はなく、移管の可能性はないと考える。
	⑦今後の方向性	整備から20年以上が経過したことなどから施設の修繕や見直しが必要となっている。 令和3年度から岩手の森林づくり県民税を活用した森林公園機能強化事業を実施しており、令和5年度までに木育コーナーの設置やトイレ洋式化、遊歩道整備、案内板整備等を実施した。 令和6年度以降も引き続き、利便性の向上や利用拡大を図るため、施設の修繕及び機能強化に向けた取組を実施する。
	⑧利用者推移の分析	施設利用者数は、令和元年度までは年間2,500人程度で推移してきたが、令和2年度には新型コロナウイルス感染症流行の影響があったものの、年間3,437人まで増加した。 その後、令和3年度及び令和4年度の施設利用者は再び年間3千人以下まで減少したが、森林公園機能強化事業及びその後の広報活動により、令和5年度には年間3,693人にまで増加し、統計開始（平成15年）以降で最高の値となった。
	⑨設置目的の達成に向けたKGI	現状の施設利用者数（年間3,500人）を目標値とし、今後も、施設の修繕、機能強化及び広報活動に取り組む。（達成率：106%）

12	主要棟	名称	もりの学び舎			現況写真
13		構造	W造	種目	事務所建	
14		階数	地上　1階	地下	0階	
15		建築面積	336.42 ㎡	延床面積	290.62 ㎡	
16		建築年月日	1998年11月	法定耐用年数	24 年	
17		耐震診断	不要	耐震改修	不要	
18		その他特記事項				

2 利用状況

29	R5利用状況	開館日数	214 日			開館時間		公園の開放時間:24時間 もりの学び舎開館時間:9:00～16:00		年間利用者数		3,693 人	
		月別・利用者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
30			0	468	505	546	614	413	668	479	0	0	0	0
31		(内訳・平日)	0	222	207	101	255	56	394	181	0	0	0	0
32		(内訳・休日)	0	246	298	445	359	357	274	298	0	0	0	0
33		利用者数内訳・団体	120 人					利用者数内訳・個人		3,573 人				
		利用者数の推移 (直近5年間)	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		増減率 (R5/過去5年平均)	
34			2,507人		2,678人		3,437人		2,801人		2,353人		34.0%	
35		施設利用対象者 マクロデータ ※県人口	開設当時【A】 (H8年10月時点)		1,419,612人		現　在【B】 (R6年4月時点)		1,150,784人		増減率 (マクロデータ)		▲ 18.9%	

36 令和5年度
施設利用者推移



3 維持・管理費の状況(改修、大規模修繕などに含まれるものは除く)

(単位:千円)

	行政コスト計算書	令和3年度	構成比	令和4年度	構成比	令和5年度	構成比
	経常費用	**7,228**	**100.0%**	**14,248**	**100.0%**	**7,619**	**100.0%**
	人件費	4,199	58.1%	4,211	29.6%	4,203	55.2%
	物件費等	1,890	26.2%	3,955	27.8%	1,162	15.3%
	維持修繕費	484	6.7%	5,427	38.1%	1,599	21.0%
	減価償却費	655	9.1%	655	4.6%	655	8.6%
	支払利息		0.0%		0.0%		0.0%
	臨時損失	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**
	災害復旧事業費		0.0%		0.0%		0.0%
	その他		0.0%		0.0%		0.0%
28	**支出合計**	**7,228**	**100.0%**	**14,248**	**100.0%**	**7,619**	**100.0%**
	経常収益(直接的収入)	**37**	**100.0%**	**0**	-	**0**	-
	使用料・手数料	5	12.7%		-		-
	その他	33	87.3%		-		-
	臨時利益(直接的収入)	**0**	**0.0%**	**0**	-	**0**	-
	資産売却益		0.0%		-		-
	その他		0.0%		-		-
	補助金等(間接的収入)	**0**	**0.0%**	**0**	-	**0**	-
	国庫補助金		0.0%		-		-
	その他		0.0%		-		-
	収入合計	**37**	**100.0%**	**0**	-	**0**	-
	年間コスト	**▲ 7,191**		**▲ 14,248**		**▲ 7,619**	

29	年間利用者数	2,801	人	2,353	人	3,693	人
30	延床面積当たりコスト	21,130	円/㎡	41,870	円/㎡	22,388	円/㎡
31	利用者1人当たりコスト	2,567	円/人	6,055	円/人	2,063	円/人
32	(参考)県民1人当たりコスト	6	円/人	12	円/人	7	円/人
33	有形固定資産減価償却率	92.8	%	93.5	%	94.2	%

(参考)岩手県の人口

(単位:人)

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

4 施設内建物の概要

		① 建 築	② 電気設備	③ 機械設備
33	主な建築・設備	屋+E5:P20横葺t0.4㎜	従量電灯C	暖房(可動式)
		外壁仕上;セメント中空押出成形材、	照明(蛍光灯ほか)・非常用照明	トイレ換気・ミニキッチン換気
		赤松板合横貼	(電池内蔵型)(誘導灯なし)	上水タンク用ポンプ、上水タンク
		床仕上;化粧合板フロアー貼	非常警報(埋込型)	給水、排水
		壁仕上;赤松板貼、シナ合板目透し貼		ガス(可動式(ミニプロパンボンベ))
		天井仕上;ジプトーン貼		消化器
34	劣化度調査	駐車場舗装に亀裂・陥没、天井雨漏り、		
		スロープ及び階段の手すり損傷・劣化		
		外壁にキツツキによる穴		
35	定期点検	R4:駐車場舗装に亀裂・陥没、天井		
		雨漏り・劣化、ポーチ柱の損傷・劣化、		
		スロープ手摺の損傷・劣化		
36	改修・大規模修繕等工事履歴【百万円】	雨漏り修繕・防鳥処理(R4)【1】		トイレ洋式化(R4)【1】
				給水加圧ポンプ更新等(R5)【2】

47	直近5年改修・大規模修繕費	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計
	国庫						0百万円
	県債						0百万円
	一般財源			2百万円	2百万円		4百万円
	その他						0百万円
	計	0百万円	0百万円	2百万円	2百万円	0百万円	4百万円

5 施設評価

	1次評価(定量評価)	評価・分析結果
48	ソフト(利用状況×経費効率)	改善・見直し(経費効率)
49	ソフト×ハード(建物性能)	現状維持

2次評価(定性評価)	評価結果
施策上の必要性	低
代替の可能性	低

6 今後の方向性(たたき台)

50	施設の方向性	機能の方向性	集約化	建物の方向性	解体
51		森林公園全体については集約の方向性を基本とし、設置目的の有効性に鑑み、5つの森林公園の中で最も利用者が多い県民の森に、全ての森林公園を集約、長寿命化を図りつつ、施設・設備の規模や使用料の見直しによる適正化を図っていくことが望ましい。		

7 長寿命化等対策の方向性等

52	長寿命化等対策の方向性	経年劣化が見られる箇所等のうち、施設管理への影響が大きく、緊急性が高い設備の更新等を優先し対策を図る。

		令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
53	主な維持修繕・改修の内容	・もりの学び舎 薬液注入ポンプ更新		・もりの学び舎 スロープ手摺修繕 ・もりの学び舎 階段手摺修繕	・もりの学び舎 照明LED化	・もりの学び舎 オープンデッキ修繕	
54	概算費用(見込)	1 百万円	0 百万円	2 百万円	3 百万円	1 百万円	7 百万円
	国庫						0 百万円
	県債						0 百万円
	一般財源	1 百万円		2 百万円	3 百万円	1 百万円	7 百万円
	その他						0 百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

岩手県公共施設カルテ（個表：県民利用施設用）　　No. 24

1 施設概要

1	施設名称	岩手県折爪岳森林公園	策定年月	R3.3	最終更新	R7.12
2	所在地	二戸市福岡字織詰26-2	施設類型	県民利用施設	財産区分	行政財産
3	所管課	県北広域振興局農政部 二戸農林振興センター林務室	運営形態	指定管理	防災施設等指定	非該当
4	都市計画区域	都市計画区域外	防火地域	指定なし	用途地域	指定なし
5	敷地面積	4,615,784.81 ㎡	建築面積	343.16 ㎡	延床面積	332.13 ㎡
6	竣工年度 （建築年月）	1994年10月	経過年数 （R7.4.1現在）	30 年	施設内棟数	1 棟
7	設置根拠	有　森林公園条例			年間目標利用者数	1万人
8	設置目的	森林公園条例に基づき、県民の保健、休養及び森林に対する知識の普及向上に資するとともに、青少年の森林に関する体験的学習による森林愛護思想の高揚を図るため設置された。				
9	施設の概況	折爪岳森林公園は、平成6年度に設置したもので、平成9年度にもりの学び舎（森林環境学習施設）を整備した。 園内には、もりの学び舎のほか、自然豊かなブナやミズナラの森、野鳥、ヒメボタルなどの貴重な動植物に恵まれており、森林と親しみ、木材の良さを学ぶことができる施設となっている。 7月のヒメボタルの繁殖期には、100万匹ほどのヒメボタルが一斉に飛翔と発光を繰り返す様子を観察することができるほか、令和4年度に設置した木育コーナーでは、未就学児を含む家族連れ等、幅広い年齢層の利用者が、気軽に木とふれあうことができる。				
	類似施設	公共　有　九戸村森林公園（九戸村）		民間	無	
10	未利用設備	無		大規模改修	無	
10	使用許可等の有無	有　電気事業及び電気通信事業敷地、通信中継局及び進入路敷地、放送施設敷地等				

社会目的適合性 ※県民利用施設等のみ	①施設の設置目的	森林公園条例に基づき、県民の保健、休養及び森林に対する知識の普及向上に資するとともに、青少年の森林に関する体験的学習による森林愛護思想の高揚を図るため設置された。
	②建物が提供する機能	もりの学び舎は岩手の自然や森林・林業・木材利用について遊びながら学べる施設であり、令和4年度に設置した木育コーナーでは、未就学児を含む家族連れ等が気軽に木とふれあうことができる。
	③設置目的の適合性	幅広い年齢層の利用者が、楽しみながら岩手県の森林や林業について学んでいるほか、森林体験学習のフィールドとしても活用されていることから、設置目的に適合している。
	④施策上の必要性	「いわて県民計画（2019～2028）」第2期アクションプランにおいて、自然環境に係る今後の方向性として示している、「「第 73 回全国植樹祭いわて 2023」の開催も契機とした、本県の優れた自然環境を次世代に引き継いでいくための取組の推進」を図るため、体験活動を実施する場所等として折爪岳森林公園は必要である。
	⑤建物の必要性	岩手県の森林や林業に対する知識の普及を図るためには、森林等の屋外施設のほか、屋内の展示設備や研修室等が必要であることから、建物が必要である。
	⑥類似施設への代替可能性	同一市町村内に類似施設はない。 森林公園条例に基づき県が設置し、指定管理による管理を行うこととなっているほか、これまでに二戸市から移管に係る要望はなく、移管の可能性はないと考える。
	⑦今後の方向性	整備から30年以上が経過したことなどから施設の修繕や見直しが必要となっている。 令和3年度から岩手の森林づくり県民税を活用した森林公園機能強化事業を実施しており、令和5年度までに木育コーナーの設置やトイレ洋式化、遊歩道整備、ベンチ整備等を実施した。 令和6年度以降も引き続き、利便性の向上や利用拡大を図るため、施設の修繕及び機能強化に向けた取組を実施する。
	⑧利用者推移の分析	施設利用者数は、これまで主に年間1万人程度で推移してきたが、令和5年度は年間9,008人となり、1万人を大きく下回った。
	⑨設置目的の達成に向けたKGI	コロナ禍以前（令和元年度）の施設利用者数（年間1万人）を目標値とし、今後も、施設の修繕、機能強化及び広報活動に取り組む。（達成率：90％）

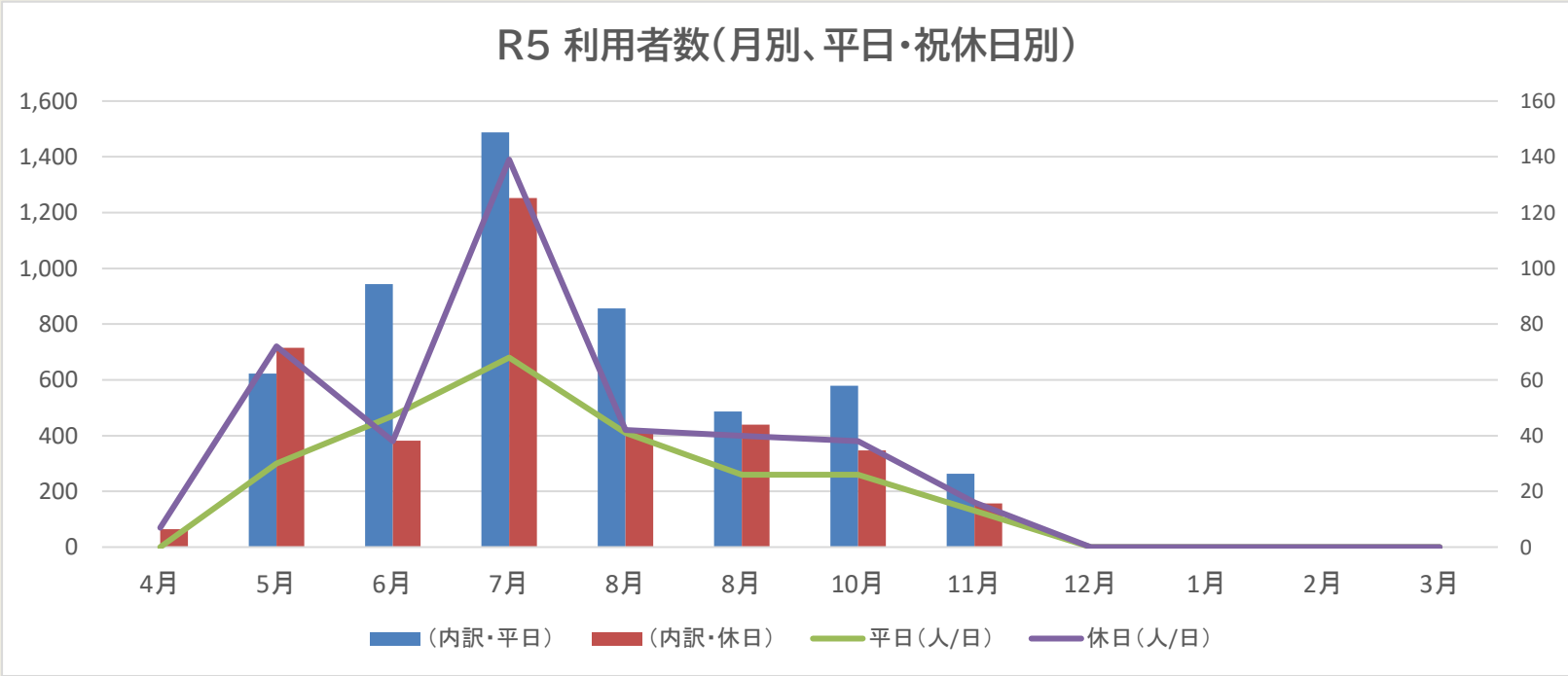
12	主要棟	名称	もりの学び舎		現況写真	
13		構造	W造	種目	事務所建	
14		階数	地上 2階	地下	0階	
15		建築面積	315.62 ㎡	延床面積	304.59 ㎡	
16		建築年月日	1997年12月	法定耐用年数	24 年	
17		耐震診断	不要	耐震改修	不要	
18		その他特記事項				

2 利用状況

29	R5利用状況	開館日数	217 日			開館時間		公園の開放時間:24時間 もりの学び舎開館時間:9:00～17:00		年間利用者数	9,008 人		
		月別・利用者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
30			64	1,338	1,324	2,740	1,274	925	924	419	0	0	0	0
31		（内訳・平日）	0	623	943	1,488	857	486	578	263	0	0	0	0
32		（内訳・休日）	64	715	381	1,252	417	439	346	156	0	0	0	0
33		利用者数内訳・団体	388 人					利用者数内訳・個人		8,620 人				

34	利用者数の推移（直近5年間）	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	増減率（R5/過去5年平均）
		11,145人	10,685人	9,612人	11,202人	9,898人	▲ 14.3%
35	施設利用対象者マクロデータ ※県内人口	開設当時【A】（S42年10月時点）	1,391,672人	現　在【B】（R6年4月時点）	1,150,784人	増減率（マクロデータ）	▲ 17.3%

36 令和5年度 施設利用者推移



3 維持・管理費の状況（改修、大規模修繕などに含まれるものは除く）

（単位：千円）

行政コスト計算書	令和3年度	構成比	令和4年度	構成比	令和5年度	構成比
経常費用	**8,528**	**100.0%**	**12,324**	**100.0%**	**5,795**	**100.0%**
人件費	1,069	12.5%	1,069	8.7%	1,069	18.5%
物件費等	4,048	47.5%	5,959	48.4%	3,397	58.6%
維持修繕費	430	5.0%	4,925	40.0%	959	16.5%
減価償却費	2,981	35.0%	370	3.0%	370	6.4%
支払利息		0.0%		0.0%		0.0%
臨時損失	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**
災害復旧事業費		0.0%		0.0%		0.0%
その他		0.0%		0.0%		0.0%
28 **支出合計**	**8,528**	**100.0%**	**12,324**	**100.0%**	**5,795**	**100.0%**
経常収益（直接的収入）	**0**	－	**0**	－	**0**	－
使用料・手数料		－		－		－
その他		－		－		－
臨時利益（直接的収入）	**0**	－	**0**	－	**0**	－
資産売却益		－		－		－
その他		－		－		－
補助金等（間接的収入）	**0**	－	**0**	－	**0**	－
国庫補助金		－		－		－
その他		－		－		－
収入合計	**0**	－	**0**	－	**0**	－
年間コスト	**▲ 8,528**		**▲ 12,324**		**▲ 5,795**	

29	年間利用者数	11,202	人	9,898	人	9,008	人
30	延床面積当たりコスト	25,677	円/㎡	37,105	円/㎡	17,449	円/㎡
31	利用者1人当たりコスト	761	円/人	1,245	円/人	643	円/人
32	（参考）県民1人当たりコスト	7	円/人	10	円/人	5	円/人
33	有形固定資産減価償却率	92.3	%	92.7	%	93.1	%

（参考）岩手県の人口

（単位：人）

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

4 施設内建物の概要

		① 建 築	② 電気設備	③ 機械設備
33	主な建築・設備	屋根仕上(長尺カラー鉄板)	従量電灯C、B動力	冷暖房設備(FFストーブ、灯油、)
		外壁仕上(セメント中空押し出し形成板、	電灯設備(蛍光灯、非常用照明器具(電池内蔵形))	オイルタンク(灯油)
		床仕上(ビニル床タイル類、木製フローリング)	自動火災報知設備(P型)	給水設備(水道直結方式)
		壁仕上(石膏ボード、クロス貼)	テレビ共同受信設備	排水設備(汚水ポンプ槽)
		天井仕上(ビニルクロス貼)		給湯設備(ガス湯沸器)
				ガス設備(液化石油ガス)
34	劣化度調査			消火設備(粉末消火)
		外壁・軒天に穴、木製てすり腐蝕、		オイルタンク(灯油)配管劣化
		柱脚プレート錆、床シート膨れ、		
35	定期点検	屋根トタン剥離、テラスコンクリート剥離		
36	改修・大規模修繕等 工事履歴 【百万円】			
		煙突修繕(R5)【1】		トイレ洋式化(R5)【3】

47	直近5年改修・大規模修繕費	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計
	国庫						0百万円
	県債						0百万円
	一般財源				4百万円	1百万円	5百万円
	その他						0百万円
	計	0百万円	0百万円	0百万円	4百万円	1百万円	5百万円

5 施設評価

	1次評価(定量評価)	評価・分析結果
48	ソフト(利用状況×経費効率)	改善・見直し(利用状況)
49	ソフト×ハード(建物性能)	改善・見直し(複合化等)

2次評価(定性評価)	評価結果
施策上の必要性	低
代替の可能性	低

6 今後の方向性(たたき台)

		機能の方向性	集約化	建物の方向性	解体
50	施設の方向性	森林公園全体については集約の方向性を基本とし、設置目的の有効性に鑑み、5つの森林公園の中で最も利用者が多い県民の森に、全ての森林公園を集約、長寿命化を図りつつ、施設・設備の規模や使用料の見直しによる適正化を図っていくことが望ましい。			
51					

7 長寿命化等対策の方向性等

52	長寿命化等対策の方向性	経年劣化が見られる箇所等のうち、施設管理への影響が大きく、緊急性が高い設備の更新等を優先し対策を図る。

		令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
53	主な維持修繕・改修の内容			・もりの学び舎屋根修繕 ・室内床修繕	・もりの学び舎照明LED化	・案内板、誘導標識設置	
54	概算費用(見込)	0 百万円	0 百万円	5 百万円	9 百万円	6 百万円	20 百万円
	国庫						0 百万円
	県債						0 百万円
	一般財源			5 百万円	9 百万円	6 百万円	20 百万円
	その他						0 百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

岩手県公共施設カルテ（個表：県民利用施設用）　No. 25

1 施設概要

1	施設名称	岩手県立緑化センター	策定年月	R3.3	最終更新	R7.12
2	所在地	奥州市江刺稲瀬字瀬谷子195番2	施設類型	県民利用施設	財産区分	行政財産
3	所管課	森林整備課	運営形態	指定管理	防災施設等指定	該当
4	都市計画区域	都市計画区域外	防火地域	指定なし	用途地域	指定なし
5	敷地面積	47,300.00 ㎡	建築面積	806.37 ㎡	延床面積	806.37 ㎡
6	竣工年度（建築年月）	1983年4月	経過年数（R7.4.1現在）	42 年	施設内棟数	3 棟
7	設置根拠	有　緑化センター条例第1条			年間目標利用者数	4,000人
8	設置目的	県民の緑化に関する知識及び技術の普及向上を図り、生活環境の緑化の推進に資するもの（緑化センター条例（昭和58年3月15日岩手県条例第16号）				
9	施設の概況	岩手県立緑化センターは、県民の緑化に関する知識及び技術の向上を図り、生活環境の緑化の推進に資するため、昭和58年に開所した施設である。 所内には見本庭園や郷土樹木園等のほか、第25回全国植樹祭（昭和49年）において天皇陛下がお手播きされたアカマツがあり、自由に散策することができる。 また、緑化木の管理等に関する相談の受付や講習会の開催などのイベントを月に数回開催している。				
	類似施設	公共　無		民間	無	
10	未利用設備	無		大規模改修	無	
10	使用許可等の有無	無				

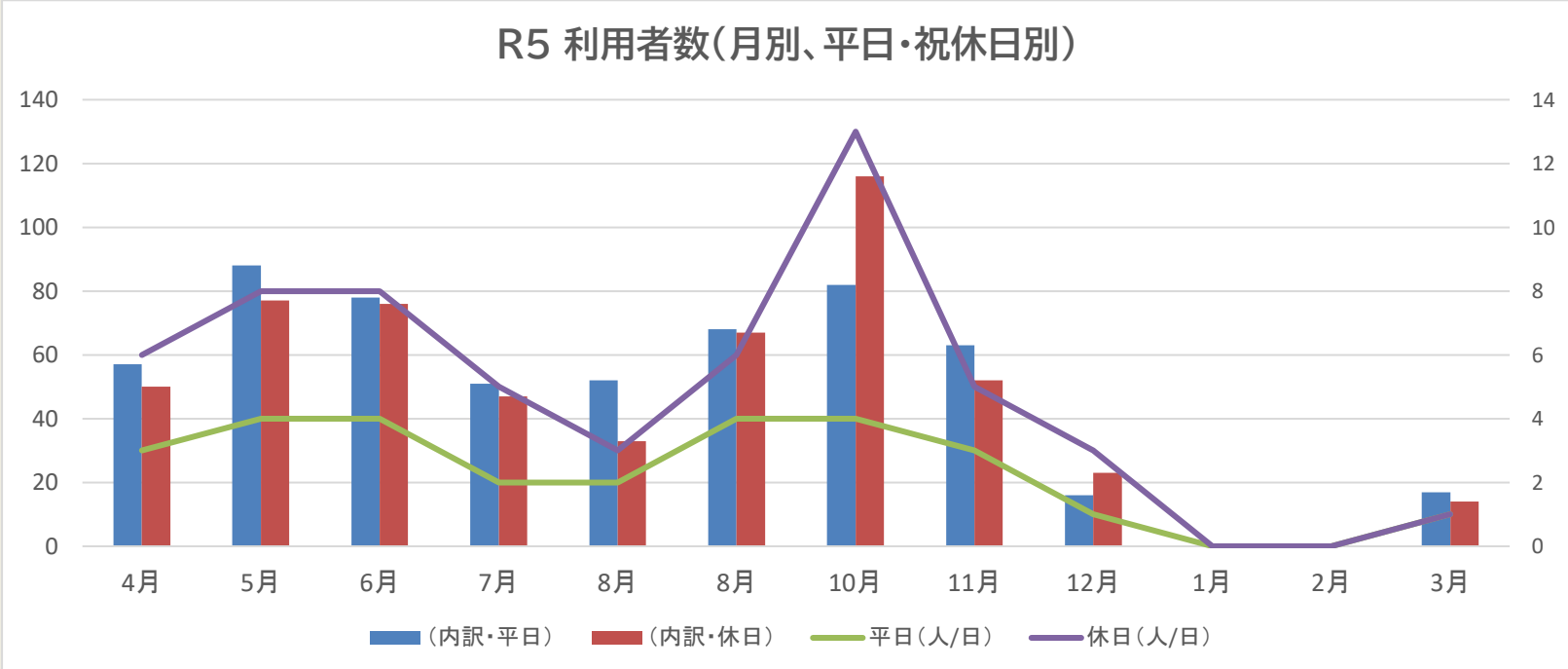
社会目的適合性 ※県民利用施設等のみ	①施設の設置目的	県民の緑化に関する知識及び技術の普及向上を図り、生活環境の緑化の推進に資するもの（緑化センター条例（昭和58年3月15日岩手県条例第16号）
	②建物が提供する機能	緑化に関する知識及び技術の習得に係る講習会等において、専門家による講義や受講者の作業スペースとして、林業展示館等の建屋を活用している。
	③設置目的の適合性	緑化に関する知識及び技術の習得のための講習会や普及イベント等を実施している。
	④施策上の必要性	森林に対して「心身の癒しや安らぎの場を提供する働き」を期待する国民が51.5%おり（総務省 森林と生活に関する世論調査：R5.10月）、生活環境に緑を欲している人が相当数いるものと推測されることから、緑化は社会的な課題の一つであると考えられる。 よって、樹木等の緑の大切さや生活環境の緑化の普及啓発等を通じて、利用者の心身が安らぐことや、心身が安らげる場所を創出することが課題の解決につながると考える。 また、そこから一段階進んで国土・県土の大部分を占める森林の有する公益的な機能の保全に着目し、令和5年に本県で開催した第73回全国植樹祭の理念を引き継いでいくことにつながると考える。
	⑤建物の必要性	講習会等において、庭園等の実地で行うカリキュラム以外にも、座学による講義や作業、天候急変時の代替会場等として必要であるもの。
	⑥類似施設への代替可能性	近隣に代替施設なし
	⑦今後の方向性	・ 令和6年度以降も引き続き緑化に関する講習会や各種イベント等を実施し、県民の緑化に関する知識及び技術の普及向上を図っていく。 ・ 竣工から50年が経過し施設や設備の老朽化が目立つため、利用者の安全や施設の保安管理等の観点から、計画的な修繕が必要である。 ・ 本施設は、第25回全国植樹祭（昭和49年）の際に昭和天皇、皇后両陛下がお手播き行事を行った場所として、お手播きのアカマツや両陛下がお立ち寄りになった部屋が現在まで保存されており、歴史・文化的な意味合いからも、今後も適切に維持管理していく必要がある。
	⑧利用者推移の分析	・ 平成18年の指定管理制度導入以降、年間4～5千人程度の利用者があったが、令和2年以降はコロナの影響で利用者が減少し、令和4年は約1,800人となっており、回復していない。 ・ コロナにより一般県民へのPR機会が減少したことや、複数年に渡りイベントを開催できなかったため、リピーターの足が遠のいたものと推定している。
	⑨設置目的の達成に向けたKGI	これまでKGIを設定していなかったことから、「施設の利用者数をコロナ前の水準4,000人で維持する」ことを目標とする。【R5実績値：1,127人、達成率28%】

12	主要棟	名称	林業展示館			現況写真
13		構造	RC造	種目	事務所建	
14		階数	地上　1階	地下	0階	
15		建築面積	540.00 ㎡	延床面積	540.00 ㎡	
16		建築年月日	1974年3月	法定耐用年数	50 年	
17		耐震診断	未	耐震改修	未	
18		その他特記事項	H27玄関ポーチ屋根修繕、H29グレーチング修繕、ほか			

2 利用状況

29	R5利用状況	開館日数	229 日			開館時間		9時～17時（10～3月は9時～16時）		年間利用者数		1,127 人	
		月別・利用者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
30			107	165	154	98	85	135	198	115	39	0	0	31
31		（内訳・平日）	57	88	78	51	52	68	82	63	16			17
32		（内訳・休日）	50	77	76	47	33	67	116	52	23			14
33		利用者数内訳・団体	153 人					利用者数内訳・個人		974 人				
		利用者数の推移（直近5年間）	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		増減率（R5/過去5年平均）
34			4,123人		4,116人		2,019人		1,644人		1,814人		▲ 58.9%
35		施設利用対象者マクロデータ ※県内人口	開設当時【A】（S42年10月時点）		1,427,061人		現　在【B】（R6年4月時点）		1,150,784人		増減率（マクロデータ）		▲ 19.4%

36 令和5年度 施設利用者推移



3 維持・管理費の状況（改修、大規模修繕などに含まれるものは除く）

（単位：千円）

行政コスト計算書	令和3年度	構成比	令和4年度	構成比	令和5年度	構成比
経常費用	**10,493**	**100.0%**	**10,640**	**100.0%**	**11,204**	**100.0%**
人件費	4,435	42.3%	4,592	43.2%	5,119	45.7%
物件費等	4,629	44.1%	4,933	46.4%	4,588	41.0%
維持修繕費	826	7.9%	512	4.8%	815	7.3%
減価償却費	603	5.7%	603	5.7%	682	6.1%
支払利息		0.0%		0.0%		0.0%
臨時損失	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**
災害復旧事業費		0.0%		0.0%		0.0%
その他		0.0%		0.0%		0.0%
28 **支出合計**	**10,493**	**100.0%**	**10,640**	**100.0%**	**11,204**	**100.0%**
経常収益（直接的収入）	**0**	－	**0**	－	**20**	**100.0%**
使用料・手数料		－		－		0.0%
その他		－		－	20	100.0%
臨時利益（直接的収入）	**0**	－	**0**	－	**0**	**0.0%**
資産売却益		－		－		0.0%
その他		－		－		0.0%
補助金等（間接的収入）	**0**	－	**0**	－	**0**	**0.0%**
国庫補助金		－		－		0.0%
その他		－		－		0.0%
収入合計	**0**	－	**0**	－	**20**	**100.0%**
年間コスト	**▲ 10,493**		**▲ 10,640**		**▲ 11,184**	

29	年間利用者数	1,644	人	1,814	人	1,127	人
30	延床面積当たりコスト	13,013	円/㎡	13,195	円/㎡	13,869	円/㎡
31	利用者1人当たりコスト	6,383	円/人	5,865	円/人	9,924	円/人
32	（参考）県民1人当たりコスト	9	円/人	9	円/人	10	円/人
33	有形固定資産減価償却率	96.5	%	96.9	%	97.3	%

（参考）岩手県の人口

（単位：人）

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

4 施設内建物の概要

		① 建 築	② 電気設備	③ 機械設備
33	主な建築・設備	給水設備(高置水槽方式)	受変電設備(キュービクル式)	非常警報設備
		排水設備(浄化槽)	電灯設備	冷暖房設備(FFストーブ、エアコン等)
		消火設備(屋内消火栓、粉末消火)		弱電設備(拡声)
34	劣化度調査	老朽化著しい	老朽化著しい	老朽化著しい
35	定期点検			
36	改修・大規模修繕等 工事履歴 【百万円】			

47	直近5年改修・大規模修繕費	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計
	国庫						0百万円
	県債						0百万円
	一般財源	0.1百万円	0.8百万円	0.7百万円	0.8百万円	0百万円	2.4百万円
	その他						0百万円
	計	0.1百万円	0.8百万円	0.7百万円	0.8百万円	0百万円	2.4百万円

5 施設評価

	1次評価(定量評価)	評価・分析結果
48	ソフト(利用状況×経費効率)	廃止(抜本的な見直し)
49	ソフト×ハード(建物性能)	廃止(抜本的な見直し)

2次評価(定性評価)	評価結果
施策上の必要性	低
代替の可能性	低

6 今後の方向性(たたき台)

50	施設の方向性	機能の方向性	廃止	建物の方向性	解体
51		緑化センター開設後、奥州市内に愛宕山自然公園が整備されるなど、目的の重複が見られる施設が近隣に存在すること、また、施設の老朽化、利用者数の低迷が著しいことから、廃止を前提に検討することが望ましい。			

7 長寿命化等対策の方向性等

52	長寿命化等対策の方向性	建築後40年以上が経過し、老朽化が著しいため、日常点検等により施設・設備の劣化状況の把握に努め、計画的な維持管理により、コスト縮減・財政負担の平準化を図る。 また、一般県民が利用する施設であるため、日常点検等で異常が確認された箇所について、利用者安全の観点から優先順位をつけて修繕等の対応を行う。

53	主な維持修繕・改修の内容	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
		維持管理 (劣化状況把握)	維持管理 (劣化状況把握)	維持管理 (劣化状況把握)	維持管理 (劣化状況把握)	維持管理 (劣化状況把握)	
54	概算費用(見込)	1 百万円	2 百万円	1 百万円	1 百万円	1 百万円	4 百万円
	国庫						0 百万円
	県債						0 百万円
	一般財源	1 百万円	2 百万円	1 百万円	1 百万円	1 百万円	4 百万円
	その他						0 百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

岩手県公共施設カルテ（個表：県民利用施設用）

No. 26

1 施設概要

1	施設名称	岩手県立水産科学館	策定年月	R3.3	最終更新	R7.12
2	所在地	宮古市日立浜町32-28	施設類型	県民利用施設	財産区分	行政財産
3	所管課	農林水産部水産振興課	運営形態	指定管理	防災施設等指定	該当
4	都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	指定なし
5	敷地面積	5,671.04 ㎡	建築面積	2,101.32 ㎡	延床面積	1,534.30 ㎡
6	竣工年度（建築年月）	1986年4月	経過年数（R7.4.1現在）	39 年	施設内棟数	1 棟
7	設置根拠	無			年間目標利用者数	11,000人
8	設置目的	水産科学館条例に基づき、水産資源、水産技術等に関する資料の収集、保管、展示等を行い、県民の水産についての知識の普及及び教養の向上を図ることを目的に設置。				
9	施設の概況	水産科学館は、全国初の水産専門の科学館として、水産資源、水産技術等に関する資料の収集、保管、展示等を行い、県民の水産についての知識の普及等の役割を担っている。 館内では、岩手のワカメ・サケ・アワビ・ウニ・ホタテの増養殖技術や岩手県の水産業の歴史や漁法と漁具の紹介の他、三陸域に生息している魚介類を巨大ジオラマと15基の水槽で展示している。常設展示のほか「磯の生物展」などの特別展示やクイズスタンプラリー、サーモンレザークラフト、魚の餌やり企画、ワカメの学習と試食会、毛ガニミニパーク展などの特別企画を開催している。体験学習として、夢入り缶やホタテ貝の絵付け、ワカメの芯抜き、海のロープリース作り、二枚貝の絵付け、カラー魚拓講習会を実施する他、岩手県立大学と共同で開発した生成AIを活用したガイドシステムを整備している。 施設としては、常設展示室、特別展示室、集会室がある。集会室は、会議室や研修室として利用できる。普通車15台分（大型バス4台駐車可能）の駐車場を整備している。				
	類似施設	公共	有	久慈地下水族科学館もぐらんぴあ、八戸市水産科学館、青森県営浅虫水族館、秋田県立男鹿水族館	民間	無
10	未利用設備	無			大規模改修	無
10	使用許可等の有無	無				

社会目的適合性 ※県民利用施設等のみ	①施設の設置目的	水産科学館条例に基づき、水産資源、水産技術等に関する資料の収集、保管、展示等を行い、県民の水産についての知識の普及及び教養の向上を図ることを目的に設置。
	②建物が提供する機能	館内には、岩手のワカメ・サケ・ホタテ・アワビ等の増養殖業の歴史や漁法と漁具の紹介のほか、三陸域に生息している魚介類を巨大ジオラマと15基の水槽で展示しており、県内外の幅広い年齢層の方が岩手の水産業についての知識を深めることができる施設となっている。
	③設置目的の適合性	・常設展示のほか「磯の生物展」などの特別展示やクイズスタンプラリー、サーモンレザークラフト、魚の餌やり企画、ワカメの学習と試食会、毛ガニミニパーク展などの特別企画を開催し、子どもから大人まで楽しめるイベントを開催している。 ・体験学習として、夢入り缶やホタテ貝の絵付け、ワカメの芯抜き、海のロープリース作り、二枚貝の絵付け、カラー魚拓講習会を実施し、県内外の小中高生の教育活動の受入を行っている。 ・岩手県立大学と共同で開発した生成AIを活用したガイドシステムを導入し、来館者の年齢や言語に対応した展示解説ガイドやクイズのコンテンツを整備している。
	④施策上の必要性	これらの施設やイベント等の管理運営により、県民の水産への理解醸成の機能を提供していることから、引き続き適切な維持管理が必要である。
	⑤建物の必要性	岩手のワカメ・サケ・ホタテ・アワビ等の増養殖業の歴史や漁法と漁具の紹介のほか、三陸域に生息している魚介類を巨大ジオラマと15基の水槽で展示していること、水産に関わる資料の収集、保管等を数多く行っていることから、県民の水産についての知識の普及及び教養の向上を図る施設となっている。
	⑥類似施設への代替可能性	沿岸地域に類似代替施設なし
	⑦今後の方向性	・開設から35年以上が経過しており、建物の老朽化や設備の故障による修繕が必要となっている。 ・令和6年度以降も引き続き、来館者の満足度向上や利用拡大を図るため、計画的な維持管理により長寿命化を図りつつ、施設の修繕及び機能強化に向けた取組を実施していく。
	⑧利用者推移の分析	・施設利用者数は、令和元年度までは年間1万人程度で推移していたが、令和2年度からは新型コロナウイルス感染症流行の影響等により、年間7,806人にまで減少した。 ・令和4年度以降の施設利用者数は、感染症対策を講じつつ中止していたイベント等を実施し、年間1万人を超えるまで回復し、以降持ち直している。
	⑨設置目的の達成に向けたKGI	・「施設利用者数をコロナ禍以前（令和元年度）の水準に維持する」ことを目標とし、KGIとして設定する。今後も、各種イベントの開催や施設の維持修繕、機能強化及び広報活動に取り組む。 【目標値】令和元年度施設利用者数：11,624人 【R5達成率】97.4%（令和5年度施設利用者数：11,322人）

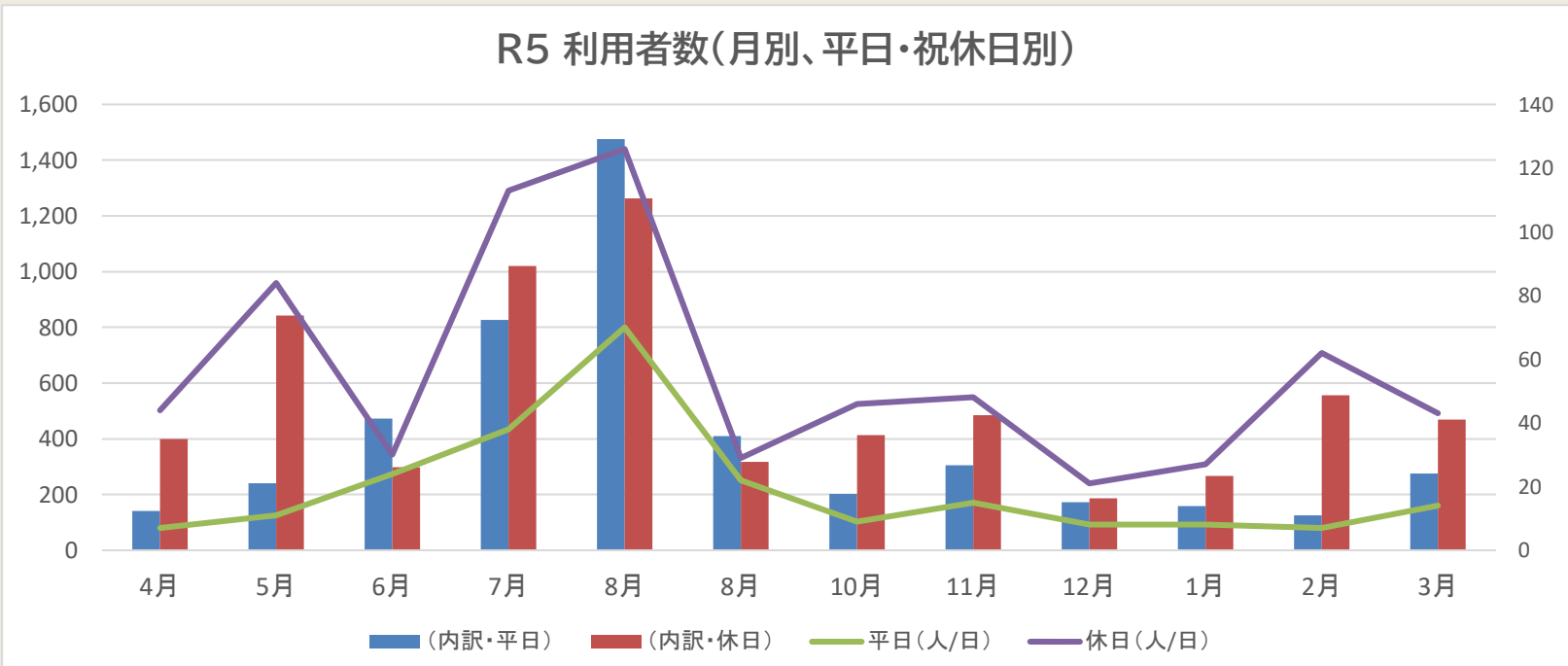
12	主要棟	名称	常設展示室、特別展示室、集会室			現況写真
13		構造	RC造	種目	事務所建	
14		階数	地上 1階	地下		
15		建築面積	2,101.32 ㎡	延床面積	1,534.30 ㎡	
16		建築年月日	1986年4月	法定耐用年数	50 年	
17		耐震診断	不要	耐震改修	不要	
18		その他特記事項				

2 利用状況

29	R5利用状況	開館日数	306 日			開館時間		9時～16時		年間利用者数		11,322 人	
		月別・利用者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
30			541	1,083	770	1,846	2,738	727	617	789	360	425	682	744
31		（内訳・平日）	141	240	472	826	1,476	410	203	305	173	158	126	275
32		（内訳・休日）	400	843	298	1,020	1,262	317	414	484	187	267	556	469
33		利用者数内訳・団体	1,477 人					利用者数内訳・個人		9,845 人				

34	利用者数の推移（直近5年間）	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	増減率（R5/過去5年平均）
		11,561人	11,624人	7,806人	9,405人	10,728人	10.7%
35	施設利用対象者マクロデータ ※県人口	開設当時【A】（S61年4月時点）	1,429,808人	現　在【B】（R6年4月時点）	1,150,784人	増減率（マクロデータ）	▲ 19.5%

36 令和5年度 施設利用者推移



3 維持・管理費の状況（改修、大規模修繕などに含まれるものは除く）

（単位：千円）

行政コスト計算書	令和3年度	構成比	令和4年度	構成比	令和5年度	構成比
経常費用	**48,561**	**100.0%**	**43,263**	**100.0%**	**46,057**	**100.0%**
人件費	19,882	40.9%	20,181	46.6%	20,924	45.4%
物件費等	13,192	27.2%	6,495	15.0%	9,774	21.2%
維持修繕費	8,400	17.3%	9,500	22.0%	8,272	18.0%
減価償却費	7,087	14.6%	7,087	16.4%	7,087	15.4%
支払利息		0.0%		0.0%		0.0%
臨時損失	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**
災害復旧事業費		0.0%		0.0%		0.0%
その他		0.0%		0.0%		0.0%
28 **支出合計**	**48,561**	**100.0%**	**43,263**	**100.0%**	**46,057**	**100.0%**
経常収益（直接的収入）	**3,375**	**100.0%**	**3,972**	**100.0%**	**4,168**	**100.0%**
使用料・手数料	3,071	91.0%	3,550	89.4%	3,699	88.7%
その他	304	9.0%	422	10.6%	469	11.3%
臨時利益（直接的収入）	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**
資産売却益		0.0%		0.0%		0.0%
その他		0.0%		0.0%		0.0%
補助金等（間接的収入）	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**
国庫補助金		0.0%		0.0%		0.0%
その他		0.0%		0.0%		0.0%
収入合計	**3,375**	**100.0%**	**3,972**	**100.0%**	**4,168**	**100.0%**
年間コスト	**▲ 45,186**		**▲ 39,291**		**▲ 41,889**	

29	年間利用者数	9,405	人	10,728	人	11,322	人
30	延床面積当たりコスト	29,451	円/㎡	25,608	円/㎡	27,302	円/㎡
31	利用者1人当たりコスト	4,804	円/人	3,662	円/人	3,700	円/人
32	（参考）県民1人当たりコスト	38	円/人	33	円/人	36	円/人
33	有形固定資産減価償却率	77.8	%	79.7	%	81.4	%

（参考）岩手県の人口

（単位：人）

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

4 施設内建物の概要

		① 建 築	② 電気設備	③ 機械設備
33	主な建築・設備		受変電：キュービクル式	冷暖房：冷温水方式、FFストーブ、エア
			発電：ディーゼル	給水：加圧送水方式
			警報：自動火災報知装置、非常警報、	排水：浄化槽設備
			ガス漏れ火災、漏電火災、誘導灯	給湯：貯湯式電気温水器
			構内交換：電子交換機	消火：屋内消火栓・粉末消火器
			拡声設備・テレビ共同受信	ガス：液化石油ガス
34	劣化度調査		非常用蓄電池・触媒栓不良	
			構内電柱高圧気中開閉器不良	
35	定期点検		R5：非常用蓄電池・触媒栓不良	
			R5：構内電柱高圧気中開閉器不良	
36	改修・大規模修繕等工事履歴【百万円】	ボーリング調査（R3）【2】	非常用発電設備修繕工事（R1）【2】	重油地下タンク通気管修繕工事（R1）【1】
			非常放送設備更新工事（R3）【5】	チラーユニット更新工事（R2）【8】
				重油地下タンク配管修繕工事（R4）【1】
				オイル地下タンク改修工事（R5）【3】
				浄化槽内設備修繕工事（R5）【3】

47	直近5年改修・大規模修繕費	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計
	国庫						0百万円
	県債						0百万円
	一般財源	8百万円	7百万円	1百万円	6百万円	0百万円	22百万円
	その他						0百万円
	計	8百万円	7百万円	1百万円	6百万円	0百万円	22百万円

5 施設評価

	1次評価（定量評価）	評価・分析結果
48	ソフト（利用状況×経費効率）	改善・見直し（経費効率）
49	ソフト×ハード（建物性能）	現状維持

2次評価（定性評価）	評価結果
施策上の必要性	低
代替の可能性	低

6 今後の方向性（たたき台）

50	施設の方向性	機能の方向性	機能移転	建物の方向性	売却・移管
51		水産科学館は、指定管理者である宮古市により効率的、効果的に運営されていることを踏まえ、宮古市への譲渡を検討すべき。 なお、常設展示のほか各種イベントを開催しているが、水産技術センターの一般公開デーにおいて同様のコンテンツを提供していることから、県としては、水産技術センターへの機能移転についても検討の余地がある。		

7 長寿命化等対策の方向性等

52	長寿命化等対策の方向性	施設竣工から35年以上が経過していることから、定期点検や日常点検により施設の劣化状況の把握に努め、計画的な維持修繕の実施により長寿命化を図る。

53	主な維持修繕・改修の内容	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
			・非常用発電設備蓄電池更新工事 ・発電機室給気ファン更新工事 ・特別展示室空調設備更新工事	・高圧気中開閉器更新工事 ・トイレ手洗器自動水栓設置工事 ・ナラ枯れ樹木等伐採処分	・常設展示室設備更新（ジオラマ、映像機器） ・排煙装置修繕工事	・電話設備更新工事 ・常設展示室自動制御機器修繕工事	

54	概算費用（見込）	0 百万円	4 百万円	3 百万円	4 百万円	2 百万円	13 百万円
	国庫						0 百万円
	県債						0 百万円
	一般財源		4 百万円	3 百万円	4 百万円	2 百万円	13 百万円
	その他						0 百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

岩手県公共施設カルテ（個表：県民利用施設用）

No. 27

1 施設概要

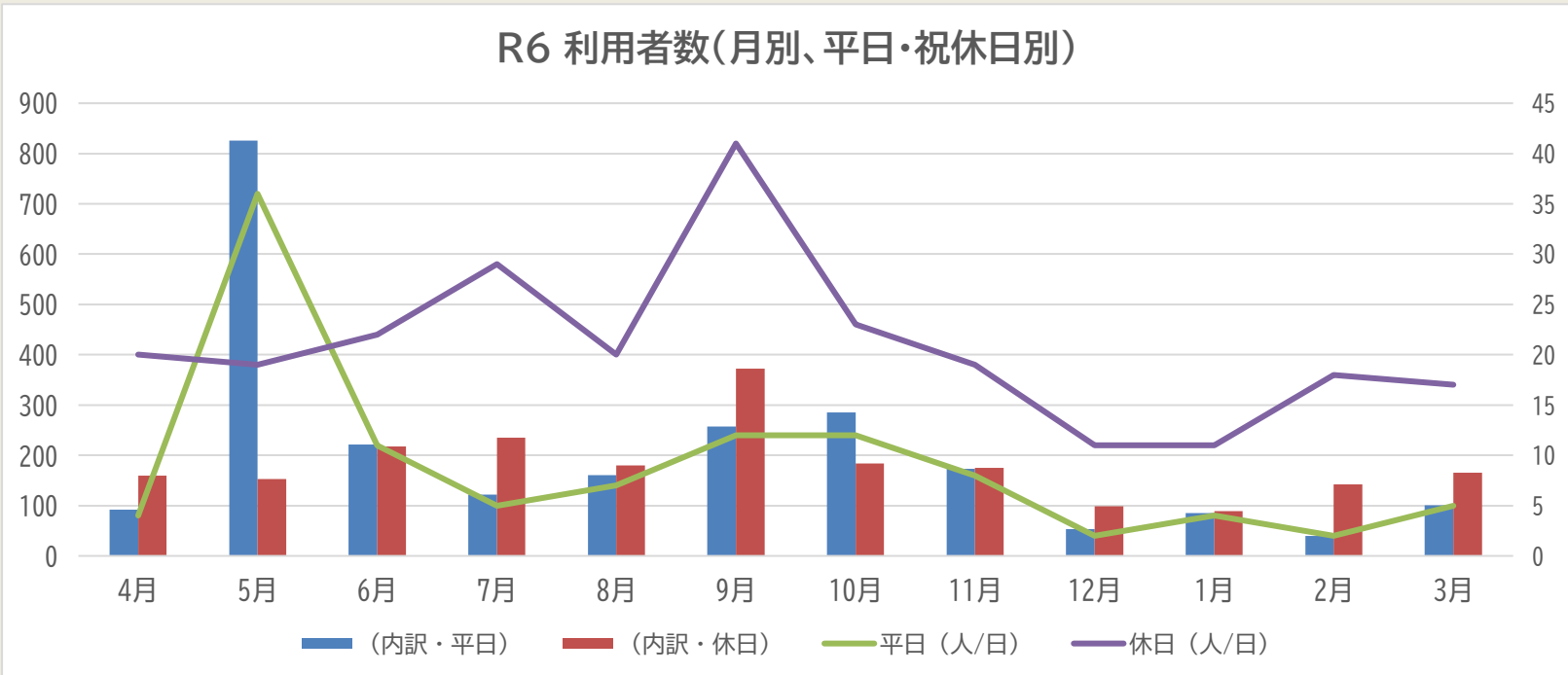
1	施設名称	農業ふれあい施設	策定年月	R3.3	最終更新	R7.12
2	所在地	岩手県北上市飯豊地内	施設類型	県民利用施設	財産区分	行政財産
3	所管課	農業普及技術課	運営形態	直営	防災施設等指定	非該当
4	都市計画区域	都市計画区域外	防火地域	指定なし	用途地域	指定なし
5	敷地面積	107,399.00 ㎡	建築面積	2,543.94 ㎡	延床面積	2,761.81 ㎡
6	竣工年度（建築年月）	1998年1月	経過年数（R7.4.1現在）	27 年	施設内棟数	3 棟
7	設置根拠	有　農業ふれあい公園条例			年間目標利用者数	5,000人
8	設置目的	農業ふれあい公園は、都市と農村との交流を育むことにより、消費者への農業理解や農村部における農業の社会的意義の再認識等を促進する場としての役割を担って整備された。 また、この公園は、周辺に点在する名所・旧跡やレクリエーション施設等のネットワークの核として、農村の豊かなライフスタイルを構築する上での拠点となることを期待して整備された。				
9	施設の概況	農業ふれあい施設は、平成10年（1998年）1月に整備された施設であり、令和7年（2025年）1月で建築から27年を迎える。				
	類似施設	公共　有　花巻広域公園、岩手県水産科学館、北上市立博物館	民間	無		
10	未利用設備	無	大規模改修	無		
10	使用許可等の有無	有　加工工房使用許可、農業ふれあい公園内行為許可				

社会目的適合性 ※県民利用施設等のみ	①施設の設置目的	農業ふれあい公園は、都市と農村との交流を育むことにより、消費者への農業理解や農村部における農業の社会的意義の再認識等を促進する場としての役割を担って整備された。 また、この公園は、周辺に点在する名所・旧跡やレクリエーション施設等のネットワークの核として、農村の豊かなライフスタイルを構築する上での拠点となることを期待して整備された。
	②建物が提供する機能	公園内の主要施設である農業科学博物館は、昭和44年に開館した岩手県立農業博物館の活動を引き継ぎ、岩手の農業の過去・現在・未来を楽しく体感できることを目指した新しい施設であった。
	③設置目的の適合性	平成10年6月に開館当初は、年間1万6千人を超える入館者があったが、開館時をピークに入館者は減少傾向にあり、現在は年間4千人ほどとなっている。 農業科学博物館は、農業に関する展示、研修及び体験学習の場を提供し、農業に対する親しみ理解を深めてもらう趣旨から、特別展示、一般公開デー、児童を対象とした工作体験等を行っているが、（広く県民を対象としたものではなく）活動が限定的なものとならざるを得ず、利用者の範囲、施設の特性等から増収拡大策はあまり馴染まない。 現状では、学校教育現場との連携を図りながら、農業研究センターの一施設として、広く県民にPRし、利用促進に努めている。
	④施策上の必要性	ふれあい公園は、都市と農村との交流を育むことにより、消費者への農業理解や農村部における農業の社会的意義の再認識等を促進する場としての役割を担って整備されたものであり、農業科学博物館は、本県農業の魅力などを発信する拠点施設となっている。
	⑤建物の必要性	ふれあい公園内の農業科学博物館は、昭和44年に開館した県立農業博物館の活動を引継ぎ、岩手の農業の過去・現在・未来を体感できることを目指した施設である。農業の歴史と人々の生活と文化を探る農業歴史館には農具などの収蔵品（岩手県有形民俗文化財）が数多く展示され、また、本県の農業の現状と役割、作物の様子などを体感できる農業科学館では多くの体験型コンテンツを有しており、内外の来場者に本県農業の魅力を発信する拠点施設となっている。
	⑥類似施設への代替可能性	農業ふれあい公園の施設管理は、同規模の類似・近隣施設の4～6割とかなり低コストで運営している。 指定管理委託にする場合、サービス維持のための設備修繕・更新の費用がフルで必要になる他、維持管理に必要な職員数の増も見込まれることから、現在より予算規模が大きくなることが想定される。
	⑦今後の方向性	農業ふれあい公園の利用者は、年間2万人前後（博物館利用者は5千人程度）と、一定数の利用があることから、利用者の確保に努めるとともに、維持管理経費等の節減を図りながら施設・設備を計画的に更新し、県直営で運営を継続する。
	⑧利用者推移の分析	コロナの影響により令和2～3年度は来館者数が減少したものの、令和4年度以降は徐々に回復している。
	⑨設置目的の達成に向けたKGI	規定KGIの設定がないことから、「施設利用者数をコロナ前の水準に維持する」こと及び「施設利用した児童（6歳から12歳）の減少率を、施設利用対象者（マクロ）の減少率以上とする」を、KGIとして設定する。 （1） 施設利用者数をコロナ前の水準に維持 【現状値】 R5　3,746人 【目標値】 R6以降　5,000人 【達成率】 0.74% （2） 施設利用した児童の減少率を施設対象利用者（マクロ）減少率以上に維持 【現状値】 ▲21.8%（H10　2,845人　→　R6　2,092人） 【目標値】 ▲42.5%（H10　92,120人　→　R6　51,546人）

12	主要棟	名称	農業科学博物館			現況写真
13		構造	S造	種目	事務所建	
14		階数	地上　1階	地下		
15		建築面積	1,746.37 ㎡	延床面積	1,554.01 ㎡	
16		建築年月日	1998年1月	法定耐用年数	38 年	
17		耐震診断	不要	耐震改修	不要	
18		その他特記事項				

2 利用状況

29	R5利用状況	開館日数	235 日			開館時間		4～11月 9:00～16:30 12～3月 9:00～15:30		年間利用者数		4,588 人	
		月別・利用者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
30			252	979	439	357	341	629	469	348	152	174	182	266
31		（内訳・平日）	92	826	221	122	161	257	285	173	53	85	40	101
32		（内訳・休日）	160	153	218	235	180	372	184	175	99	89	142	165
33		利用者数内訳・団体	308 人					利用者数内訳・個人		4,280 人				
		利用者数の推移（直近5年間）	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		増減率（R6/過去5年平均）
34			6,713人		5,166人		3,210人		2,615人		3,746人		6.9%
35		施設利用対象者マクロデータ ※県内児童数（学校基本調査より）	開設当時【A】（H10年6月時点）		92,120人		現　在【B】（R6年4月時点）		51,546人		増減率（マクロデータ）		▲ 44.0%
36		令和5年度施設利用者推移											



3 維持・管理費の状況（改修、大規模修繕などに含まれるものは除く）

（単位：千円）

	行政コスト計算書	令和3年度	構成比	令和4年度	構成比	令和5年度	構成比
	経常費用	**43,150**	**100.0%**	**37,857**	**100.0%**	**40,104**	**100.0%**
	人件費	6,385	14.8%	6,338	16.7%	6,841	17.1%
	物件費等	8,315	19.3%	6,453	17.0%	8,197	20.4%
	維持修繕費	3,687	8.5%	304	0.8%	304	0.8%
	減価償却費	24,763	57.4%	24,762	65.4%	24,762	61.7%
	支払利息		0.0%		0.0%		0.0%
	臨時損失	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**
	災害復旧事業費		0.0%		0.0%		0.0%
	その他		0.0%		0.0%		0.0%
28	**支出合計**	**43,150**	**100.0%**	**37,857**	**100.0%**	**40,104**	**100.0%**
	経常収益（直接的収入）	**302**	**100.0%**	**438**	**100.0%**	**534**	**100.0%**
	使用料・手数料	246	81.5%	355	81.1%	463	86.7%
	その他	56	18.5%	83	18.9%	71	13.3%
	臨時利益（直接的収入）	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**
	資産売却益		0.0%		0.0%		0.0%
	その他		0.0%		0.0%		0.0%
	補助金等（間接的収入）	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**
	国庫補助金		0.0%		0.0%		0.0%
	その他		0.0%		0.0%		0.0%
	収入合計	**302**	**100.0%**	**438**	**100.0%**	**534**	**100.0%**
	年間コスト	**▲ 42,848**		**▲ 37,419**		**▲ 39,570**	

29	年間利用者数	2,615	人	3,746	人	4,588	人
30	延床面積当たりコスト	15,515	円/㎡	13,549	円/㎡	14,328	円/㎡
31	利用者1人当たりコスト	16,386	円/人	9,989	円/人	8,625	円/人
32	（参考）県民1人当たりコスト	36	円/人	32	円/人	34	円/人
33	有形固定資産減価償却率	85.4	%	86.5	%	87.6	%

（参考）岩手県の人口

（単位：人）

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

4 施設内建物の概要

34	番号:建物名称		1:農業資料館				2:加工工房				3:旧博物館		
35	構 造 / 種 目		S造		工場建		S造		工場建		RC造		事務所建
36	階 数		地上	1 階	地下	−	地上	1 階	地下	−	地上	2 階	地下	−
37	建築面積		1,746.37 ㎡				320.00 ㎡				477.57 ㎡		
38	延床面積		1,554.01 ㎡				312.00 ㎡				895.80 ㎡		
39	建築年月		1998年1月		耐用年数	31年	1998年9月		耐用年数	31年	1969年10月		耐用年数	50年
40	耐震診断 / 耐震改修		不要		不要		不要		不要		不要		不要
41	その他特記事項												
42	主な建築・設備	建 築	屋根(ｶﾗｰ木毛板・ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鉄板)				屋根(ｶﾗｰ鉄板)				不明		
			外壁(弾性ｳﾚﾀﾝ吹付)				外壁(防水ﾎﾞｰﾄﾞ・ｸﾞﾗｻﾙ板)						
		電気設備	屋外受変電設備				屋外受変電設備				不明		
			自動火災報知設備										
			構内放送設備										
		機械設備	給水:公共水道				給水:公共水道				不明		
			排水:浄化槽				排水:浄化槽						
			給湯:冷温水発生機										
			消火:屋内消火栓、粉末消火				消火:粉末消火						
43	劣化度調査	建 築	屋根の老朽化が進行、更新が必要				経年劣化により機能低下が進行						
							している。現在使用していない。						
		電気設備	経年劣化による機能低下が進行				経年劣化により機能低下が進行						
			しており、総合的な改修が必要				している。現在使用していない。						
		機械設備	経年劣化による機能低下が進行				経年劣化により機能低下が進行						
			しており、総合的な改修が必要				しているが。現在使用していない。						
44	定期点検	建 築									一部アスベストあり		
		電気設備									変圧器に低濃度PCBが含まれている		
		機械設備											
45	修繕等 工事履歴	建 築											
		電気設備											
		機械設備											

46	直近5年の維持修繕・改修費	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計
	国庫						0百万円
	県債						0百万円
	一般財源	1百万円	1百万円	1百万円	1百万円	1百万円	5百万円
	その他						0百万円
	計	1百万円	1百万円	1百万円	1百万円	1百万円	5百万円

5 施設評価

	1次評価(定量評価)	評価・分析結果
47		
48	ソフト(利用状況×経費効率)	改善・見直し(経費効率)
49	ソフト×ハード(建物性能)	現状維持

2次評価(定性評価)	評価結果
施策上の必要性	低
代替の可能性	低

6 今後の方向性(たたき台)

54 施設全体の方針	機能の方向性	複合化	建物の方向性	解体
	設置目的と現状との乖離は否めず、実質的に利用者が限定され利用者数も低迷しているところ。このため、社会環境の変化に合わせた施設の機能の効果的な発現に向け、機能の異なる施設と合築する複合化を図る必要があり、複合化・解体が適当と考えられる。			

7 長寿命化等対策の方向性等

56	長寿命化等対策の方向性	農業資料館・・・・農業大学校への移管までは小修繕で対応していく。 加工工房・・・・・・現在使用していないことから、使用状況の見直し等が必要である。 博物館(滝沢)・・現在は、資料の保管場所としてのみ使用していることから、別の保管場所が確保できれば、用途廃止可能である。					
57	主な維持修繕・改修の内容	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
58	概算費用(見込)	1 百万円	1 百万円	1 百万円	1 百万円	1 百万円	5 百万円
	国庫						0 百万円
	県債						0 百万円
	一般財源	1 百万円	1 百万円	1 百万円	1 百万円	1 百万円	5 百万円
	その他						0 百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

岩手県公共施設カルテ（個表：県民利用施設用）

No. 28

1 施設概要

1	施設名称	岩手県立農業大学校	策定年月	R3.3	最終更新	R7.12
2	所在地	胆沢郡金ケ崎町六原蟹子沢14	施設類型	県民利用施設	財産区分	行政財産
3	所管課	農業普及技術課	運営形態	直営	防災施設等指定	非該当
4	都市計画区域	都市計画区域外	防火地域	指定なし	用途地域	指定なし
5	敷地面積	3,039,990.00 ㎡	建築面積	31,424.37 ㎡	延床面積	38,968.18 ㎡
6	竣工年度（建築年月）	1980年3月	経過年数（R7.4.1現在）	45 年	施設内棟数	77 棟
7	設置根拠	有　農業改良助長法			年間目標利用者数	31,394人
8	設置目的	農業改良助長法第7条第1項第5号に規定された農業者研修教育施設であり、同法に基づき県が定める「協同農業普及事業の実施に関する方針」において、地域をリードする農業者を養成するための中核的な機関と位置図けて設置している。なお、専修学校になると、高等学校教諭、保護者、生徒から進学先として選択されやすくなることから、平成19年度から学校教育法上の専修学校へ移行し、学生は奨学金（日本学生支援機構等）の受給・貸付対象となっている他、卒業者には専門士（農業）が称号付与され、また4年制大学への3年次編入学が可能となっている。					
9	施設の概況	主要教育施設は開校当時に建築された施設であるが、一部は既存の旧六原営農大学校施設を継承したため、昭和40～50年代に建築されたものが多くを占めており、老朽化が顕著となっている。 これまで、平成11年3月に策定した「農業大学校再編整備基本計画」に基づき、平成13～14年度に園芸施設等、平成15～16年度に畜産施設の整備を行ったが、県財政の悪化から農産施設の整備は、平成23年度に繰り延べられた。 平成23年度以降は、地方創生拠点整備交付金等を活用し、各実習施設等の更新や新設等を実施してきたが、本館や教室棟は更新されていない状況にある。					
	類似施設	公共　有	青森県営農大学校、宮城県農業大学校、山形県立農林大学校、福島県農業総合センター農業短期大学校	民間		
10	未利用設備	有	旧学生寮、旧体育館、水田管理実験舎、乾燥室、畜産管理実験舎、園芸管理実験舎、豚舎、ボイラー室　等	大規模改修	無	
10	使用許可等の有無	無				

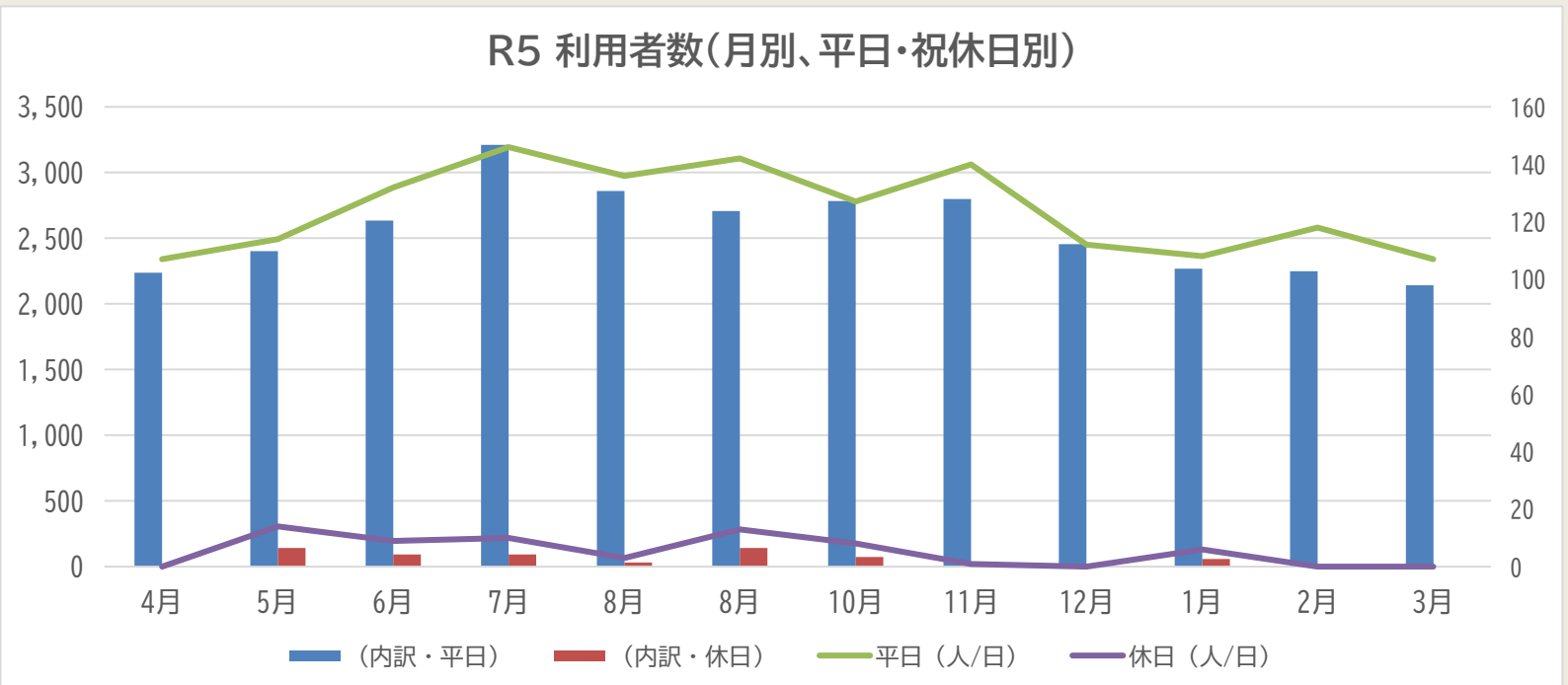
社会目的適合性 ※県民利用施設等のみ	①施設の設置目的	○　農業改良助長法第7条第1項第5号に規定された農業者研修教育施設であり、同法に基づき、県が定める「協同農業普及事業の実施に関する方針」において、地域をリードする農業者を養成するための中核的な機関と位置付けて設置しているもの。
	②建物が提供する機能	○　教室、研修施設、ほ場、学生寮等の施設を利用して、①理論と技術を一体的に学び、農業技術と経営能力を高める「実践教育」、②農業のグローバル化や経営の専門化に対応する力を育成する「先進教育」、③寮教育を通して多くの仲間との交流を深め、協調性と自律性、コミュニケーション能力を高める「全寮教育」、を実施している。
	③設置目的の適合性	○　農業大学校条例及び農業改良助長法における設置目的について、改正は行われていないことから、本施設には、引き続き、地域における農業の担い手を育成する意義がある。
	④施策上の必要性	※施策の目的（本県特有の社会課題解決など）を達成するための必要性 ○　農大では、「農業・農村が必要とする高度な専門知識と技術、幅広い教養、国際性を身につけた有能な農業の担い手となり、地域社会を発展させるうえでリーダー的役割を担いうる農業青年を輩出すること」を教育目標に掲げ、これまでに3,000 人を超える卒業生や研修修了生を輩出するなど、本県農業の担い手である青年農業者の育成に重要な役割を果たしている。
	⑤建物の必要性	※施設の目的を提供するための建物の必要性　（運用では対応できず、ハードが必要な理由） ○　地域をリードする農業者を育成するには、教室、研修施設、ほ場、学生寮等の施設が必要である。
	⑥類似施設への代替可能性	※近隣類似施設との比較分析 （市町村・民間移管の可能性、他の県有施設との集約等の可能性、近隣類似施設による代替の可能性を記載） ○　現時点で県内に類似する施設は無い。
	⑦今後の方向性	○　引き続き、岩手県農業の持続的な発展に寄与する担い手を育成する教育機関を目指し、人材育成、環境整備に努めていく。
	⑧利用者推移の分析	○　直近5年間の定員に対する充足率は減少傾向にあることから、本校の認知度向上、魅力向上に取り組んでいる。
	⑨設置目的の達成に向けたKGI	【現状値（R6）】進路状況100％（直接就農8％、農業研修2％、就職（雇用就農含む）80％、進学8％、その他2％）　うち就農率41％ 【目標値】 100％

12	主要棟	名称	管理棟（事務室・教室）			現況写真
13		構造	RC造	種目	事務所建	
14		階数	地上　2階	地下	0階	
15		建築面積	440.64 ㎡	延床面積	881.28 ㎡	
16		建築年月日	1980年3月	法定耐用年数	50 年	
17		耐震診断	未	耐震改修	未	
18		その他特記事項	令和3年度：本館・図書館（トイレの洋式化）、教育施設（トイレの洋式化、保健室の設置とエアコン整備）			

2 利用状況

29	R5利用状況	開館日数	365 日			開館時間		8:30～17:00		年間利用者数		31,394 人	
		月別・利用者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
30			2,238	2,544	2,730	3,304	2,891	2,848	2,856	2,811	2,455	2,327	2,248	2,142
31		（内訳・平日）	2,238	2,403	2,636	3,210	2,861	2,707	2,783	2,798	2,455	2,267	2,248	2,142
32		（内訳・休日）	0	141	94	94	30	141	73	13	0	60	0	0
33		利用者数内訳・団体	291 人					利用者数内訳・個人		48,389 人				
		利用者数の推移（直近5年間）	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		増減率（R5/過去5年平均）
34			27,143人		26,845人		26,633人		28,021人		29,149人		13.9%
35		施設利用対象者マクロデータ ※県内高校卒業者数	開設当時【A】（S42年10月時点）		21,371人		現　在【B】（R6年4月時点）		9,935人		増減率（マクロデータ）		▲ 53.5%

36 令和5年度 施設利用者推移



3 維持・管理費の状況（改修、大規模修繕などに含まれるものは除く）

（単位：千円）

行政コスト計算書	令和3年度	構成比	令和4年度	構成比	令和5年度	構成比
経常費用	**476,106**	**100.0%**	**477,838**	**99.8%**	**364,770**	**100.0%**
人件費	253,208	53.2%	262,950	54.9%	258,543	70.9%
物件費等	119,650	25.1%	112,890	23.6%	1,016	0.3%
維持修繕費	7,414	1.6%	6,164	1.3%	23,360	6.4%
減価償却費	95,834	20.1%	95,834	20.0%	81,851	22.4%
支払利息		0.0%		0.0%		0.0%
臨時損失	**0**	**0.0%**	**924**	**0.2%**	**0**	**0.0%**
災害復旧事業費		0.0%		0.0%		0.0%
その他		0.0%	924	0.2%		0.0%
28 **支出合計**	**476,106**	**100.0%**	**478,762**	**100.0%**	**364,770**	**100.0%**
経常収益（直接的収入）	**42,799**	**100.0%**	**55,882**	**100.0%**	**61,201**	**100.0%**
使用料・手数料	10,209	23.9%	10,542	18.9%	10,069	16.5%
その他	32,590	76.1%	45,340	81.1%	51,132	83.5%
臨時利益（直接的収入）	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**
資産売却益		0.0%		0.0%		0.0%
その他		0.0%		0.0%		0.0%
補助金等（間接的収入）	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**
国庫補助金		0.0%		0.0%		0.0%
その他		0.0%		0.0%		0.0%
収入合計	**42,799**	**100.0%**	**55,882**	**100.0%**	**61,201**	**100.0%**
年間コスト	**▲ 433,307**		**▲ 422,880**		**▲ 303,569**	

29	年間利用者数	28,021	人	29,149	人	31,394	人
30	延床面積当たりコスト	11,120	円/㎡	10,852	円/㎡	7,790	円/㎡
31	利用者1人当たりコスト	15,464	円/人	14,508	円/人	9,670	円/人
32	（参考）県民1人当たりコスト	362	円/人	358	円/人	261	円/人
33	有形固定資産減価償却率	76.6	%	77.9	%	79.3	%

（参考）岩手県の人口

（単位：人）

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

岩手県公共施設カルテ（個表：県民利用施設用）　No. 29

1 施設概要

1	施設名称	岩手県花きセンター	策定年月	R3.3	最終更新	R7.12
2	所在地	胆沢郡金ケ崎町六原頭無2-1	施設類型	県民利用施設	財産区分	行政財産
3	所管課	農産園芸課	運営形態	直営	防災施設等指定	非該当
4	都市計画区域	都市計画区域外	防火地域	指定なし	用途地域	指定なし
5	敷地面積	68,163.61 ㎡	建築面積	6,965.80 ㎡	延床面積	7,233.20 ㎡
6	竣工年度（建築年月）	1988年3月	経過年数（R7.4.1現在）	37 年	施設内棟数	28 棟
7	設置根拠	無			年間目標利用者数	16,442人
8	設置目的	花きに関する知識及び技術の普及向上を図り、花き園芸の振興に寄与するとともに、併せて県民に花と親しむ場を提供するため、花きセンターを設置する。				
9	施設の概況	花きセンターの設置にあたっては、国庫事業（昭和62年から63年、平成7年から8年の2期にわたって実施）で施設を整備。施設は建築から28～38年が経過しているが、多くは耐用年数が残っている状況である。				
	類似施設	公共：無		民間	有	能代エナジアムパーク（秋田県／民間）
10	未利用設備	有	宿泊研修棟（236.06㎡）	大規模改修	有	花の館大温室外部、研修温室棟
10	使用許可等の有無	無				

社会目的適合性 ※県民利用施設等のみ	①施設の設置目的	○　本県農業を振興の一つとして花きの生産拡大を図るため、展示栽培等を活用した効果的な担い手確保や育成が必要であり、花きに関する知識及び技術の普及向上を図り、花き園芸の振興に寄与するとともに、併せて県民に花と親しむ場を提供するため、花きセンターを設置する。
	②建物が提供する機能	○　施設を利用し、施設型花きの展示栽培等を活用した研修による生産拡大のため、花きに関する知識及び技術の普及向上を図り、花き園芸の振興に寄与する。併せて見本園や温室における、四季折々の花き展示を通し、県民に花きと親しむ場を提供する。
	③設置目的の適合性	※①設置目的と現在の利用状況との適合性 ○　設置目的を達成するための花きを効率的に栽培するためには施設が必要であり、花きセンター条例における設置目的について、改正は行われていないことから、本施設には、引き続き、花きに関する知識及び技術の普及向上を図り、花き園芸の振興に寄与するとともに、併せて県民に花と親しむ場を提供する意義がある。
	④施策上の必要性	※施策の目的（本県特有の社会課題解決など）を達成するための必要性 ○　就農希望者を対象とした研修は定員を上回る応募があり、温室での熱帯植物などの常設展示や花きセンターまつり等の企画行事、消費者を対象とした研修、児童生徒を対象とした体験研修には一定数の参加があることから、引き続き維持管理経費等の節減を図りながら、運営していく。
	⑤建物の必要性	※施設の目的を提供するための建物の必要性　（運用では対応できず、ハードが必要な理由） ○　研修や展示の実施においては、温室等の施設が必要である。
	⑥類似施設への代替可能性	※近隣類似施設との比較分析 （市町村・民間移管の可能性、他の県有施設との集約等の可能性、近隣類似施設による代替の可能性を記載） ○　現時点で県内に類似する施設は無い。
	⑦今後の方向性	○　整備から35年が経過し、施設・設備の不具合が生じる箇所が増えてきている。消費者研修の充実と県民サービス向上のため、施設の修繕及び機能強化に受けた取組を実施する。
	⑧利用者推移の分析	○　令和2～3年度の利用者数は、新型コロナウイルス感染症のため、大幅に減少した。令和4年度以降、展示内容の充実や新規イベントの開催などの取組みを行い、花きと親しむ場としての賑わいが戻ってきている。 令和5年度の利用者は、研修279人、児童生徒農業体験337人、イベント7,878人、研修279人、一般団体見学859人、一般見学7、089人
	⑨設置目的の達成に向けたKGI	花きセンター来場者数 【現状値（R5）】 16,442名（年間）　達成率109.6％ 【目標値（R6）】 17,000名

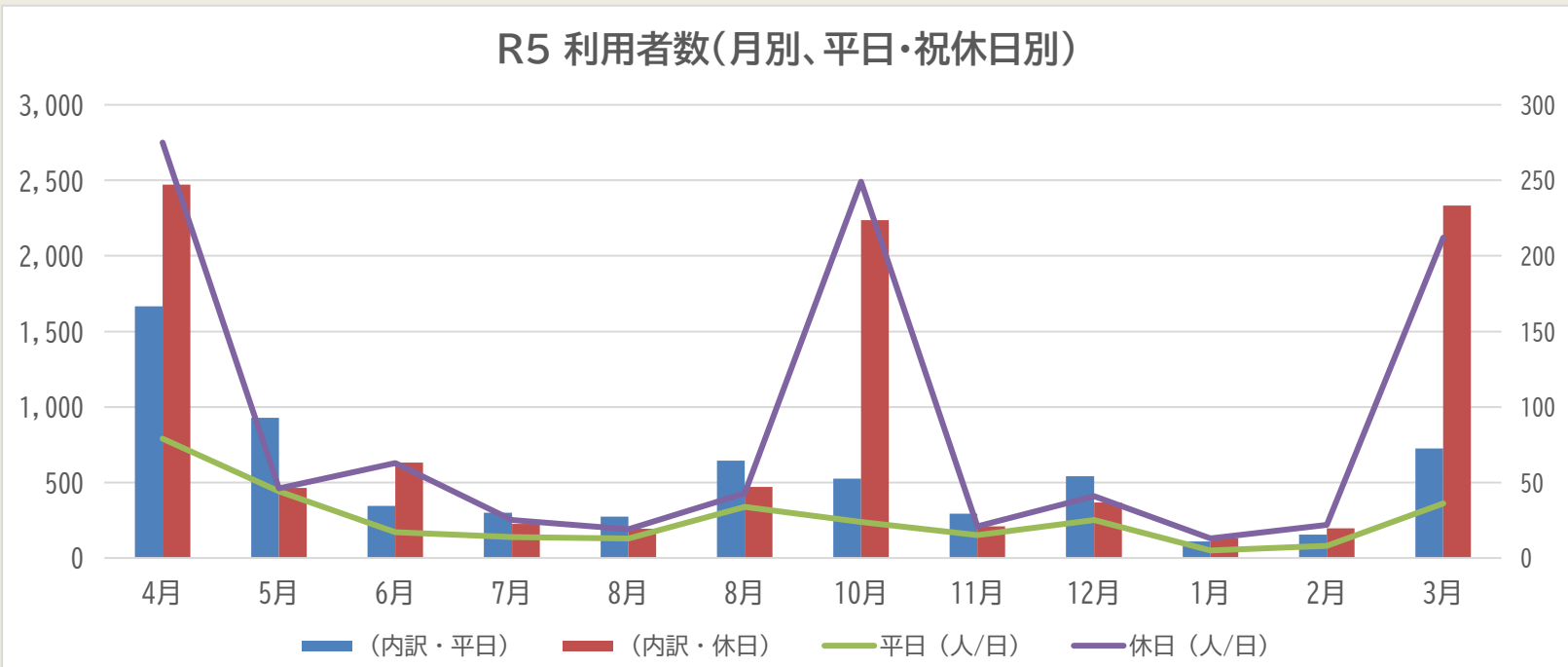
12	主要棟	名称	管理棟			現況写真
13		構造	S造	種目	事務所建	
14		階数	地上：2階	地下	0階	
15		建築面積	425.50 ㎡	延床面積	425.50 ㎡	
16		建築年月日	1988年3月	法定耐用年数	38 年	
17		耐震診断	不要	耐震改修	不要	
18		その他特記事項				

2 利用状況

29	R5利用状況	開館日数	294 日			開館時間		8:30～17:00		年間利用者数		16,442 人	
		月別・利用者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
30			4,140	1,391	976	525	466	1,117	2,763	503	909	243	350	3,059
31		（内訳・平日）	1,667	927	345	300	273	646	525	292	543	111	154	725
32		（内訳・休日）	2,473	464	631	225	193	471	2,238	211	366	132	196	2,334
33		利用者数内訳・団体	859 人					利用者数内訳・個人		15,583 人				

	利用者数の推移（直近5年間）	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	増減率（R5/過去5年平均）
34		15,037人	13,816人	7,718人	7,430人	10,588人	50.6%
35	施設利用対象者マクロデータ ※県人口	開設当時【A】（H10年10月時点）	1,415,554人	現　在【B】（R6年4月時点）	1,150,784人	増減率（マクロデータ）	▲ 18.7%

36 令和5年度 施設利用者推移



3 維持・管理費の状況（改修、大規模修繕などに含まれるものは除く）

（単位：千円）

行政コスト計算書	令和3年度	構成比	令和4年度	構成比	令和5年度	構成比
経常費用	**99,323**	**100.0%**	**89,185**	**98.2%**	**77,979**	**100.0%**
人件費	31,450	31.7%	28,770	31.7%	30,182	38.7%
物件費等	19,307	19.4%	16,281	17.9%	29	0.0%
維持修繕費	6,447	6.5%	2,015	2.2%	5,649	7.2%
減価償却費	42,119	42.4%	42,119	46.4%	42,119	54.0%
支払利息		0.0%		0.0%		0.0%
臨時損失	**0**	**0.0%**	**1,650**	**1.8%**	**0**	**0.0%**
災害復旧事業費		0.0%		0.0%		0.0%
その他		0.0%	1,650	1.8%		0.0%
28 **支出合計**	**99,323**	**100.0%**	**90,835**	**100.0%**	**77,979**	**100.0%**
経常収益（直接的収入）	**2,245**	**100.0%**	**2,718**	**100.0%**	**3,083**	**100.0%**
使用料・手数料		0.0%		0.0%		0.0%
その他	2,245	100.0%	2,718	100.0%	3,083	100.0%
臨時利益（直接的収入）	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**
資産売却益		0.0%		0.0%		0.0%
その他		0.0%		0.0%		0.0%
補助金等（間接的収入）	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**
国庫補助金		0.0%		0.0%		0.0%
その他		0.0%		0.0%		0.0%
収入合計	**2,245**	**100.0%**	**2,718**	**100.0%**	**3,083**	**100.0%**
年間コスト	**▲ 97,078**		**▲ 88,117**		**▲ 74,896**	

29	年間利用者数	7,430	人	10,588	人	16,442	人
30	延床面積当たりコスト	13,421	円/㎡	12,182	円/㎡	10,354	円/㎡
31	利用者1人当たりコスト	13,066	円/人	8,322	円/人	4,555	円/人
32	（参考）県民1人当たりコスト	81	円/人	75	円/人	64	円/人
33	有形固定資産減価償却率	87.1	%	89.4	%	91.6	%

（参考）岩手県の人口　（単位：人）

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

4 施設内建物の概要

34	番号:建物名称		1:管理棟				2:増殖網室				3:研修温室			
35	構 造 / 種 目		S造		事務所建		S造		雑屋建		S造		雑屋建	
36	階 数		地上	2 階	地下	0 階	地上	1 階	地下	0 階	地上	1 階	地下	0 階
37	建築面積		425.50 ㎡				203.20 ㎡				458.40 ㎡			
38	延床面積		425.50 ㎡				203.20 ㎡				458.40 ㎡			
39	建築年月		1988年3月		耐用年数	38年	1988年3月		耐用年数	31年	1988年3月		耐用年数	31年
40	耐震診断 / 耐震改修		不要		不要		不要		不要		不要		不要	
41	その他特記事項													
42	主な建築・設備	建 築	屋根 金属仕上				屋根 金属仕上				屋根 金属仕上			
			外壁 金属板貼				外壁 金属板貼				外壁 金属板貼			
			床 コンクリート直均し				床 コンクリート直均し				床 コンクリート直均し			
			天井 石こうボード				天井 石こうボード				天井 石こうボード			
		電気設備	受変電設備(屋外型)				受変電設備(屋外型)				電灯設備(一般形)			
			発電設備(ディーゼル)				電灯設備(一般形)							
			弱電設備(拡声、テレビ共同受信)											
		機械設備	冷暖房設備(FFストーブ、ｴｱｺﾝ等)											
			空調機器(ユニット形)											
			給水設備(加圧送水方式)											
			排水設備(浄化槽)											
43	劣化度調査	建 築												
		電気設備												
		機械設備												
44	定期点検	建 築	R4外壁割れ、屋根腐食											
		電気設備	R4スピーカー取付部劣化											
		機械設備	R4排煙窓不作動											
45	改修・大規模修繕等工事履歴【百万円】	建 築	裏玄関改修(H8)【2】								屋根張替(H13)【2】			
			トイレ洋式改修(H9)【1】								強風災害アクリル複層版修繕(H16)【2】			
											屋根交換修理(R3)【5】			
		電気設備												
		機械設備									暖房機交換(H20)【2】			

34	番号:建物名称		4:宿泊研修棟				5:ガラス温室				6:大温室		
35	構 造 / 種 目		W造		事務所建		S造		雑屋建		S造		雑屋建
36	階 数		地上	1 階	地下	0 階	地上	1 階	地下	0 階	地上	1 階	地下	0 階
37	建築面積		269.01 ㎡				236.25 ㎡				1,040.36 ㎡		
38	延床面積		236.06 ㎡				236.25 ㎡				1,013.57 ㎡		
39	建築年月		1996年3月		耐用年数	24年	1996年3月		耐用年数	31年	1996年3月		耐用年数	31年
40	耐震診断 / 耐震改修		不要		不要		不要		不要		不要		不要
41	その他特記事項												
42	主な建築・設備	建 築	屋根 金属仕上				屋根 金属仕上				屋根 金属仕上		
			外壁 ALC板				外壁 金属板貼				外壁 コンクリート打放(+吹付)		
			床 ビニル床タイル				床 コンクリート直均し				床 コンクリート直均し		
			天井 石こうボード、壁紙				天井 石こうボード				天井 システム天井		
		電気設備	電灯設備(一般形)				電灯設備(一般形)				電灯設備(省エネ型)		
			構内交換設備(PBX)								受変電設備(屋外型)		
			弱電設備(拡声、テレビ共同受信)								発電設備(ディーゼル)		
											弱電設備(拡声)		
		機械設備	冷暖房設備(FFストーブ、ｴｱｺﾝ等)								空調設備(ユニット形)		
			給水設備(水道直結、加圧送水方式)								給水設備(水道直結、加圧送水方式)		
			排水設備(浄化槽)								排水設備(浄化槽)		
			給湯設備(ガス湯沸器)								給湯設備(ガス湯沸器)		
43	劣化度調査	建 築											
		電気設備											
		機械設備											
44	定期点検	建 築									R5外壁破損		
		電気設備									R5非常照明不点灯		
		機械設備											
45	改修・大規模修繕等工事履歴【百万円】	建 築											
		電気設備											
		機械設備									ボイラー交換、制御装置変更(H21)【8】		

34	番号:建物名称		7:研修施設棟				8:ハイテク鉢物温室				9:鉢花用温室		
35	構 造 / 種 目		S造		事務所建		S造		雑屋建		S造		雑屋建
36	階 数		地上	1 階	地下	0 階	地上	1 階	地下	0 階	地上	1 階	地下	0 階
37	建築面積		694.37 ㎡				486.00 ㎡				486.00 ㎡		
38	延床面積		779.58 ㎡				486.00 ㎡				486.00 ㎡		
39	建築年月		1997年3月		耐用年数	38年	1997年3月		耐用年数	31年	1997年3月		耐用年数	31年
40	耐震診断 / 耐震改修		不要		不要		不要		不要		不要		不要
41	その他特記事項												
42	主な建築・設備	建 築	屋根 金属仕上				屋根 金属仕上				屋根 金属仕上		
			外壁 金属板貼				外壁 金属板貼				外壁 金属板貼		
			床 コンクリート直均し				床 コンクリート直均し				床 コンクリート直均し		
			天井 石こうボード、岩綿吸音板				天井 石こうボード				天井 石こうボード		
		電気設備	受変電設備(屋外型:ｷｭｰﾋﾞｸﾙ式)				電灯設備(省エネ型)				電灯設備(省エネ型)		
			発電設備(ディーゼル)										
			弱電設備(拡声)										
		機械設備	冷暖房設備(ｴｱｺﾝ等)										
			空調機器(パッケージ形)										
			給水設備(加圧送水方式)										
			排水設備(浄化槽)										
43	劣化度調査	建 築											
		電気設備											
		機械設備											
44	定期点検	建 築											
		電気設備											
		機械設備											
45	改修・大規模修繕等工事履歴【百万円】	建 築					温室天窓・ガラス等修理(H25)【1】						
		電気設備											
		機械設備					自動灌水装置交換、AMI撤去(H27)【2】						

34	番号:建物名称		10:切り花用温室1号									
35	構 造 / 種 目		S造		雑屋建							
36	階 数		地上	1 階	地下	0 階	地上		地下		地上		地下	
37	建築面積		486.00 ㎡									
38	延床面積		486.00 ㎡									
39	建築年月		1997年3月		耐用年数	31年			耐用年数			耐用年数	
40	耐震診断 / 耐震改修		不要		不要							
41	その他特記事項											
42	主な建築・設備	建 築	屋根 金属仕上									
			外壁 金属板貼									
			床 コンクリート直均し									
			天井 石こうボード									
		電気設備	受変電設備(屋外型)									
			発電設備(ディーゼル)									
			電灯設備(一般形)									
			構内交換設備(PBX)									
		機械設備										
43	劣化度調査	建 築										
		電気設備										
		機械設備										
44	定期点検	建 築										
		電気設備										
		機械設備										
45	改修・大規模修繕等工事履歴【百万円】	建 築	カーテン張替(R5)【3】									
		電気設備										
		機械設備										
46	直近5年の維持修繕・改修費		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計				
	国庫							0百万円				
	県債							0百万円				
	一般財源		3百万円	7百万円	2百万円	5百万円	3百万円	20百万円				
	その他							0百万円				
	計		3百万円	7百万円	2百万円	5百万円	3百万円	20百万円				

5 施設評価

	1次評価(定量評価)	評価・分析結果
47		
48	ソフト(利用状況×経費効率)	現状維持
49	ソフト×ハード(建物性能)	改善・見直し(長寿命化)

2次評価(定性評価)	評価結果
施策上の必要性	高
代替の可能性	高

6 今後の方向性(たたき台)

54	施設全体の方針	機能の方向性	機能移転	建物の方向性	解体
		当該施設は、実質的に農業大学校の付属施設として運営されており、隣接し、管理を行っている農業大学校への集約化の可能性が考えられる。			

7 長寿命化等対策の方向性等

56	長寿命化等対策の方向性	広く県民に花と親しむ場を提供するために必要となる最低限の施設・温室の修繕を行い効果的に機能を維持する。					
		令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
57	主な維持修繕・改修の内容	・花の館エリア受水槽ポンプ交換 ・展示温室ボイラー更新 ・管理棟外壁修理	・花の館エリア環境制御システム改修	・花の館温室カーテン張替 ・管理棟屋根塗装	・展示温室側壁補修		
58	概算費用(見込)	11 百万円	12 百万円	9 百万円	15 百万円	0 百万円	47 百万円
	国庫						0 百万円
	県債						0 百万円
	一般財源	11 百万円	12 百万円	9 百万円	15 百万円		47 百万円
	その他						0 百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。